



# CELL Park

セルパーク

三菱立体駐車場  
セルパーク設計資料  
2022年12月作成

# 目次

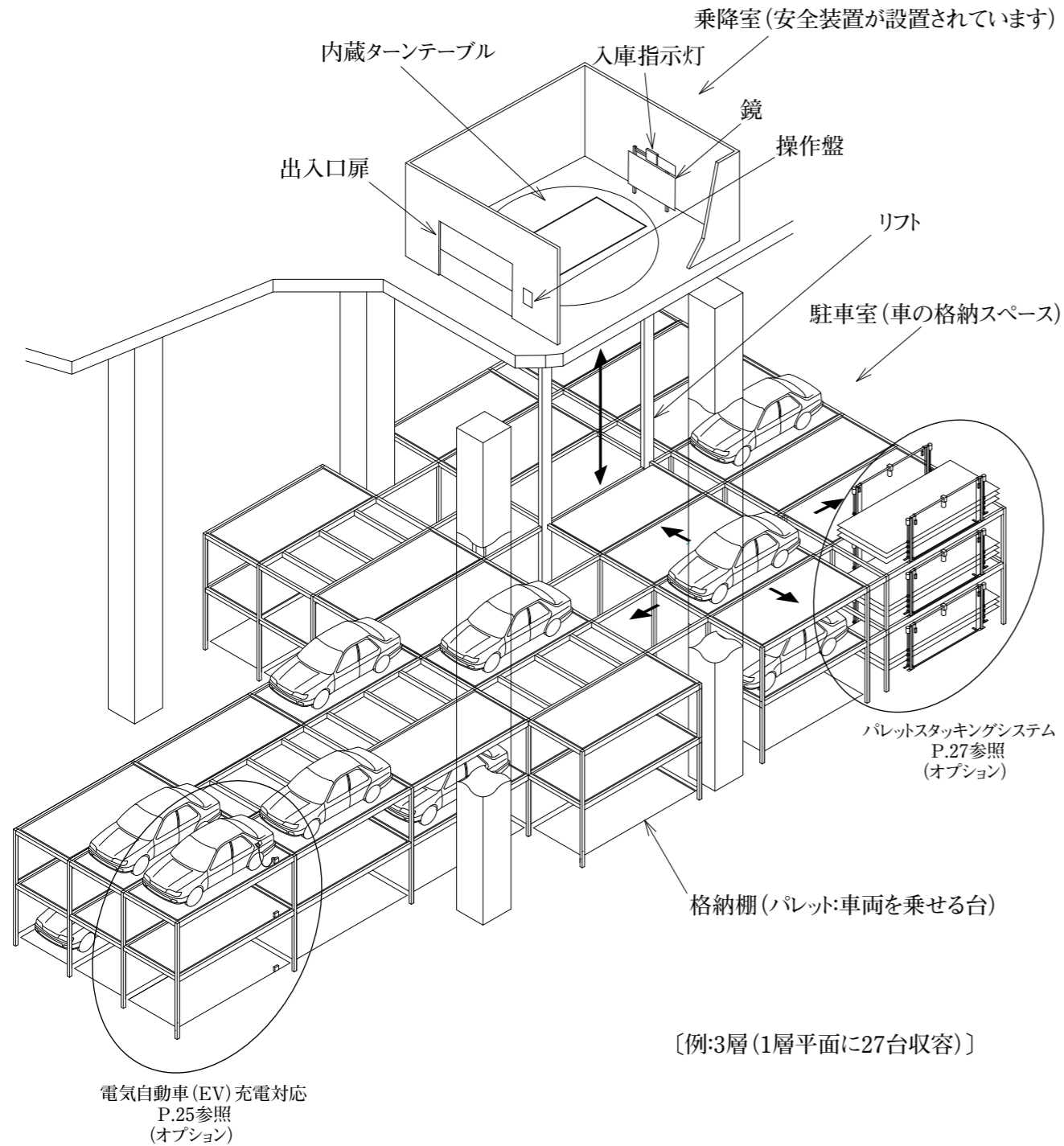
<b>1. 概要説明</b>	
構造概要	1
機器標準仕様	2
型式	3
収容車最大寸法・重量	7
収容車一覧表	9
<b>2. 基本寸法図</b>	
駐車室寸法(格納階寸法) 2本柱リフト(UK2型)	13
リフトビット詳細図 2本柱リフト(UK2型)	15
リフトまわり詳細図 2本柱リフト(UK2型)	16
駐車室基礎荷重 2本柱リフト(UK2型)	17
乗降室寸法(乗入階寸法) 2本柱リフト(UK2型)	19
駐車室アンカー配置図 2本柱リフト(UK2型)	23
<b>3. オプション</b>	
電気自動車(EV・PHV)充電対応	25
パレットスタッキングシステム	27
<b>4. 電気設備</b>	
1次側電源・電源系統	29
電気配管	30
安全装置	31
操作盤外形図	32
操作方式	33
入出庫フロー例	34
入庫指示灯	35
入庫管制灯	36
出庫警戒灯	37
照明・コンセント位置(参考)	38
<b>5. 付帯設備</b>	
扉	39
ターンテーブル	43
消火設備	47
<b>6. 関連資料</b>	
乗降室仮設用吊り金物配置図(参考)	52
施工区分表	53
建設工事標準工程表	56
標準諸条件	57
<b>7. 車椅子使用者対応</b>	
安全装置	60
乗降室 2本柱リフト(UK2型)	61
扉(上下開閉式扉)	63

# 概要説明

## 構造概要

三菱セルパークは入出庫兼用リフトを用い、建物のレイアウトに合わせ、凹凸がある駐車スペースでも設置可能な収容効率の高い駐車場です。

乗降室(リフト)は駐車室(格納階)の端部・中央部 任意に設置可能で、さまざまなレイアウトに対応いたします。



[例:3層(1層平面に27台収容)]

## 機器標準仕様

項目		仕様	
リフト	昇降	方式	チェーン巻上方式(カウンタウェイト式)
		K2型	モーター容量 15kW×1台 インバータ制御 速度 最大40m/min
駐車室	方式		フリクションローラ式
	縦横切換	モーター容量	0.4kW×1台
	移動	モーター容量	縦行横行兼用:0.75kW×2台 インバータ制御
	縦移動	速度	最大 60m/min
	横移動	速度	最大 45m/min
旋回装置	内蔵ターンテーブル	方式	フリクションローラ式
		モーター容量	7.5kW×1台 インバータ制御
	速度	最大 5rpm	
格納棚	構造	ラーメン構造(水平震度0.3)	
出入口扉	種類		鋼製電動上下開閉扉
	有効寸法	幅	2500mm、2600mm
高さ		普通車/ミッドルーフ車:1900mm ハイルーフ車:2100mm、2300mm	
操作方法		タッチパネル操作方式(暗証番号式)	
安全装置	入口部非常停止用光電装置		
	高さ制限用光電装置		
	車両確認用光電装置		
	車幅制限用光電装置		
	入庫指示灯・位置確認用鏡		
	非常停止押釦		
	乗入階放送装置・乗入階無人確認装置		
	リフト上限および下限位置検知装置 カウンタウェイト下限位置検知装置		
パレット落下防止装置			
電源	動力用	AC200/220V 3φ 50/60Hz	
	操作用	AC100V 1φ 50/60Hz	

注1) 昇降速度(モーター容量)は、駐車場規模・レイアウトにより変更することがあります。

※仕様・寸法は予告無しに変更する場合があります。

※仕様・寸法は予告無しに変更する場合があります。

# 概要説明

## 型式

### 型式表示

方式	CP	水平循環方式 三菱セルパーク
----	----	-------------------

### リフト位置

駐車室端部 (2本柱リフト UK型)				
乗降室位置	内蔵ターンテーブルの有無 (角度)		記号	前進出庫
上部乗入	旋回なし	外置きターンテーブル	UK2	×
		通り抜け	UK2P	○
	内蔵ターンテーブル	90度	UK2tR	○
		180度	UK2tT	○
		任意角	UK2tA	○
		90度・通り抜け	UK2tRP	○
	任意角・通り抜け	UK2tAP	○	

※中央部配置も可能です。

層数	1 ~ 4
----	-------

収容車種	Mシリーズ	中型車
	Lシリーズ	大型車
	LLシリーズ	大型車 (ロング)

収容台数	(普通車/ミッドルフ車/ハイルフ車) の台数
------	------------------------

空きマス数	空棚数
-------	-----

基数	
----	--

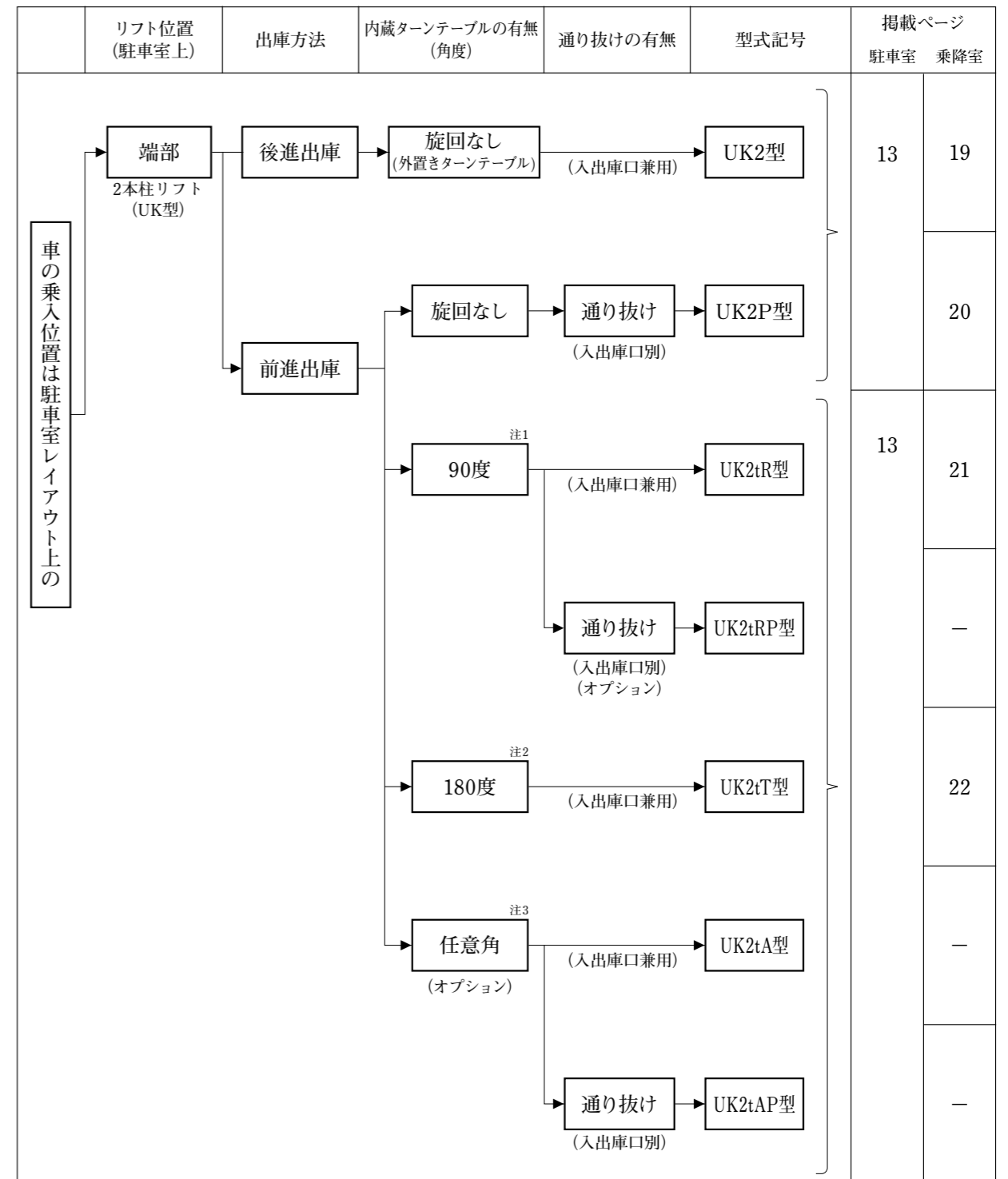
オプションは基数の後に [ ] 表示 [BF、EV \* 1、EVM \* 1、EVH \* 1、PS]

オプション (内数)	記号なし	標準
	BF	車椅子使用者対応型
	EV	電気自動車(EV・PHV)充電対応
	PS	パレットスタッキングシステム

普通車は左記の通り、ミッドルフ車は"M"、ハイルフ車は"H"を追記。  
数は"\*"の後に記載

CP - UK2P - 3 L (△/△/△) / □ x 1

## セルパーク標準タイプ 型式選択フロー



- 注1) 「90度」:乗降室の車乗入方向と駐車室の車長方向が直角となるレイアウトに適用します。  
 注2) 「180度」:乗降室の車乗入方向と駐車室の車長方向が同一となるレイアウトに適用します。  
 注3) 「任意角」:90度、180度以外の角度となるレイアウトに適用します。

※仕様・寸法は予告無しに変更する場合があります。

※仕様・寸法は予告無しに変更する場合があります。



# 概要説明

## 収容車最大寸法・重量

収容車シリーズ	最大寸法 (mm)	最大重量 (kg)
Mシリーズ		2000 ハイルーフ車 2300
Lシリーズ		2300
LLシリーズ オプション		2500

### 備考

- 【 】内寸法:標準寸法を示します。  
〈 〉内寸法:計画基準寸法を示します。
- 最大重量は全車種2500kg迄オプション対応可能です。
- ドアミラーは必ずたたんで入庫してください。
- 後部スペアタイヤ、リアミラー、アンテナなどの突起物がある車は、入庫できない場合があります。
- タイヤ外幅の最大寸法は車幅の最大寸法と同じになります。

※仕様・寸法は予告無しに変更する場合があります。

## 注意事項

- 前ページ記載の収容車最大寸法・重量に適合しない車は絶対に入庫させないで下さい。入庫可能寸法以外の車を入庫させると車の破損や機械の故障・事故が起こる可能性があります。
- 収容車最大寸法・重量に寸法公差(注)は含まれておりません。  
車検証・メーカーカタログ等に記載の車体寸法が収容可能寸法内であっても、実車寸法が収容可能寸法を超える車は入庫できません。  
例) 車検証に車高1550mmと記載されている場合、実車寸法は、1510mm～1590mmとなります。
- 最大重量は実車重量としております。車検証の車両重量には燃料は全量含んでおりますが、スペアタイヤ・簡易備付工具類・荷物は含んでおりません。荷物を積んだまま入庫する場合は、最大重量を超えないようにして下さい。
- 同一車名でもタイプや年式により車体寸法や重量が異なり、入庫できない場合があります。入庫前に入庫可否の確認を実施して下さい。
- 駐車装置は収容車最大寸法・重量記載の乗用車を対象としております。記載寸法を下回る場合でもトラック、二輪車等は入庫できません。
- 自動車の全幅はドアミラーを閉じた状態の車体寸法を表しております。ドアミラー及びアンテナは閉じた状態で入庫して下さい。ドアミラーをたためない車種は入庫できない可能性があります。
- 改造車やキャリア付車、後部スペアタイヤ取付車、各部スポイラー、リアアンダーミラー等の突起物がある車は入庫出来ない場合があります。

(注) 道路運送車両法(第75条第1項)の規定による「自動車型式認証実施要領」内の「附則1:自動車等の同一型式判定要領」に別表の製作誤差の範囲(実測寸法と諸元値の差)が定められております。

### 別表

自動車の種別	項目	長さ (mm)	幅 (mm)	高さ (mm)	車両重量 (kg)
普通自動車		± 30	± 20	± 40	± 60
小型自動車		± 30	± 20	± 40	± 50
軽自動車		± 30	± 20	± 40	± 40

※道路運送車両法(第75条第1項)の規定による「自動車型式認証実施要領」内の「附則1:自動車等の同一型式判定要領」に別表の製作誤差の範囲(実測寸法と諸元値の差)が定められております。

# 概要説明

## 収容車一覧表

①国産車 1,550mm 以下

(2020年6月現在)

■：収容不可車要因 □：公差による要因

メーカー	車種	発売年度	諸元					収容可否			
			全長 (mm)	全幅 (mm)	全高 (mm)	車体重量 (kg)	タイヤ外幅 (mm)	最低地上高 (mm)	M シリーズ 普通車	L シリーズ 普通車	LL シリーズ 普通車
三菱自動車	ディグニティ VIP	2012	5095	1845	1510	1950	1815	155	×	○	○
	ブラウディア 370 4WD	2012	4945	1845	1515	1820	1820	145	○	○	○
トヨタ	C-HR ハイブリッド G 2WD	2016	4360	1795	1550	1440	1765	140	○	○	○
	カムリ G レザーパッケージ	2017	4885	1840	1445	1600	1820	145	○	○	○
	カローラスポーツ ハイブリッド G Z 2WD	2018	4375	1790	1460	1400	1755	135	○	○	○
	クラウン 2.0 RS アドバンス	2018	4910	1800	1455	1730	1775	135	○	○	○
	クラウン ハイブリッド 3.5 G-エグゼ	2018	4910	1800	1455	1900	1775	135	○	○	○
	スーブラ SZ	2019	4380	1865	1295	1410	1870	118	×	○	○
	センチュリー	2018	5335	1930	1505	2370	1840	135	×	×	○
	パッソ MODA 2WD	2016	3660	1665	1525	910	1640	150	○	○	○
	ピクシエポック G SA III 4WD	2017	3395	1475	1510	740	1455	160	○	○	○
	プリウス アプレミアム ツーリングC 4WD	2015	4540	1760	1475	1460	1735	135	○	○	○
レクサス	プリウスPHV S ナビパッケージ GR スポーツ	2017	4685	1760	1470	1550	1745	125	○	○	○
	ES300h バージョンL	2018	4975	1865	1445	1730	1835	145	×	○	○
	GS F	2015	4915	1855	1440	1830	1835	130	×	○	○
	LC500 Lパッケージ	2017	4770	1920	1345	1960	1910	135	×	○	○
	LC500h Lパッケージ	2017	4770	1920	1345	2020	1910	140	×	○	○
	LS500 エグゼクティブ AWD	2017	5235	1900	1460	2350	1880	130	×	×	○
	LS500h エグゼクティブ AWD	2017	5235	1900	1460	2390	1880	140	×	×	○
	RC300 バージョンL 2WD	2017	4700	1840	1395	1680	1835	125	○	○	○
	UX200 バージョンL	2018	4495	1840	1540	1500	1775	160	○	○	○
	UX250h バージョンL AWD	2018	4495	1840	1540	1640	1775	160	○	○	○
日産	ノート e-パワー メダリスト	2016	4100	1695	1520	1220	1670	130	○	○	○
	ノート メダリスト X FOUR	2016	4100	1695	1535	1110	1670	155	○	○	○
	リーフ ニスモ	2019	4510	1790	1550	1520	1770	165	○	○	○
マツダ	CX-3 XD ツーリング Lパッケージ 4WD AT	2015	4275	1765	1550	1330	1740	160	○	○	○
	MAZDA3 セダン XD プロアクティブ 4WD	2019	4660	1795	1445	1460	1795	140	○	○	○
	MAZDA3 ファストバック XD プロアクティブ 4WD	2019	4460	1795	1440	1470	1795	140	○	○	○
	キャロル GX 2WD	2015	3395	1475	1500	650	1465	155	○	○	○
	ロードスター S レザーパッケージ AT	2015	3915	1735	1235	1060	1700	140	○	○	○
ホンダ	ロードスターRF S AT	2016	3915	1735	1245	1130	1710	145	○	○	○
	NSX	2017	4490	1940	1215	1800	1920	110	×	○	○
	S660 α AT	2015	3395	1475	1180	850	1470	125	○	○	○
	インサイト EX・ブラックススタイル	2018	4675	1820	1410	1390	1780	130	○	○	○
	クラリティPHEV EX	2018	4915	1875	1480	1850	1820	135	×	○	○
	ジェイド RS	2015	4650	1775	1530	1510	1750	140	○	○	○
	ジェイド ハイブリッド	2015	4650	1775	1530	1510	1750	140	○	○	○
	シビック セダン	2017	4650	1800	1415	1300	1780	135	○	○	○
	シビック タイプR	2017	4560	1875	1435	1390	1845	125	×	○	○
	シビック ハッチバック AT	2017	4520	1800	1435	1350	1790	135	○	○	○
富士重工	レジェンド ハイブリッド EX	2015	4995	1890	1480	1980	1875	145	×	○	○
	XVハイブリッド アドバンス	2018	4465	1800	1550	1550	1790	200	○	○	○
	インプレッサG4 2.0i-S アイサイト 4WD	2016	4625	1775	1455	1400	1770	130	○	○	○
	インプレッサXV 2.0i-S アイサイト	2017	4465	1800	1550	1440	1790	200	○	○	○
	インプレッサスポーツ 2.0i-S アイサイト 4WD	2016	4460	1775	1480	1400	1770	130	○	○	○
ダイハツ	インプレッサスポーツ ハイブリッド 2.0i-S アイサイト	2015	4420	1755	1490	1500	1730	130	○	○	○
	プレオプラス L スマートアシスト 4WD	2017	3395	1475	1510	740	1455	160	○	○	○
	アルティス G	2017	4885	1840	1445	1570	1810	145	○	○	○
	ブーン CILQ 2WD	2016	3660	1665	1525	910	1640	150	○	○	○
スズキ	ミライース G SA III 4WD	2017	3395	1475	1510	740	1455	160	○	○	○
	ミラコット G SA III 4WD	2018	3395	1475	1540	790	1455	160	○	○	○
	アルト ターボRS 4WD	2015	3395	1475	1500	720	1460	155	○	○	○
	アルトラパン X 4WD	2015	3395	1475	1525	730	1450	155	○	○	○
	アルトワークス AT 4WD	2015	3395	1475	1500	740	1460	155	○	○	○
スズキ	スイフト ハイブリッド RS 4WD	2017	3840	1695	1525	970	1670	145	○	○	○
	スイフトスポーツ AT	2017	3890	1735	1500	990	1710	120	○	○	○
	パレノ XT	2016	3995	1745	1470	950	1705	120	○	○	○
光岡自動車	ガリユー 25DX	2015	4980	1830	1470	1520	1800	130	○	○	○
	ヒミコ S レザーパッケージ AT	2018	4580	1740	1235	1200	1700	135	○	○	○
	リュウギワゴン 15DX AT 4WD	2016	4510	1695	1500	1240	1655	135	○	○	○
ロックスター S スペシャルパッケージ AT	2018	4345	1770	1235	1140	1700	140	○	○	○	

備考：ドアミラーはたたんで入庫願います。  
○は車体寸法公差により個々に入庫可否の確認が必要となります。

○=収容可、×=収容不可

## 収容車一覧表

②国産車 1,550mm 超

(2020年6月現在)

■：収容不可車要因 □：公差による要因

メーカー	車種	発売年度	諸元					収容可否			
			全長 (mm)	全幅 (mm)	全高 (mm)	車体重量 (kg)	タイヤ外幅 (mm)	最低地上高 (mm)	M シリーズ ハイブリッド車	L シリーズ ハイブリッド車	LL シリーズ ハイブリッド車
三菱自動車	e kクロス T 4WD	2019	3395	1475	1660	920	1465	155	○	○	○
	i MiEV X	2018	3480	1475	1610	1100	1455	150	○	○	○
	アウトランダー PHEV S エディション	2016	4695	1800	1710	1900	1765	190	○	○	○
	エクリプスクロス G Pパッケージ 4WD	2018	4405	1805	1685	1550	1770	175	○	○	○
	タウンボックス Gスペシャル 4WD	2015	3395	1475	1910	1010	1465	150	○	○	○
	デリカD:2 カスタムハイブリッド MV 4WD	2015	3710	1625	1745	990	1600	140	○	○	○
トヨタ	C-HR G-T 4WD	2016	4360	1795	1565	1470	1765	140	○	○	○
	JPN TAXI 匠	2017	4400	1695	1750	1410	1670	145	○	○	○
	RAV4 ハイブリッド G	2019	4600	1855	1685	1690	1850	190	×	○	○
	アルファード 3.5エグゼクティブラウンジ 4WD	2015	4915	1850	1950	2160	1825	170	○	○	○
	アルファード ハイブリッド エグゼクティブラウンジ	2015	4915	1850	1950	2220	1825	165	○	○	○
	ヴェルファイア 3.5エグゼクティブラウンジ 4WD	2015	4930	1850	1950	2160	1825	170	○	○	○
	ヴェルファイア ハイブリッド エグゼクティブラウンジ	2015	4930	1850	1950	2220	1825	165	○	○	○
	シエンタ ハイブリッドG 2WD 7人乗り	2015	4235	1695	1675	1380	1665	145	○	○	○
	タンク カスタムG-T 2WD	2016	3715	1670	1735	1100	1640	130	○	○	○
	ハイエース コミューター Sロング GL D 2WD	2016	5380	1880	2285	2220	1850	185	×	×	×
	ハイエース バン ロング S-GL スルーフ D AT 4WD	2016	4695	1695	1980	2030	1665	185	○	○	○
	ハイエース ワゴン ロング GL 4WD	2016	4840	1880	2105	2080	1850	175	×	×	×
	ハイラックス Z	2017	5335	1855	1800	2080	1815	215	×	×	○
	ピクシス ジョイ S SA II 4WD	2016	3395	1475	1600	900	1470	150	○	○	○
ピクシス メガ G 4WD	2015	3395	1475	1835	1060	1470	140	○	○	○	
ルーミー カスタムG-T 2WD	2016	3725	1670	1735	1100	1640	130	○	○	○	
レクサス	LX570	2015	5065	1980	1910	2720	1930	225	×	×	×
	NX300 バージョンL AWD	2017	4640	1845	1645	1800	1805	165	○	○	○
	RX300 バージョンL AWD	2017	4890	1895	1710	2010	1875	200	×	○	○
	RX450hL	2017	5000	1895	1725	2240	1875	200	×	○	○
日産	NV100クリッパーリオ G ハイルーフ 4WD	2015	3395	1475	1910	1010	1465	150	○	○	○
	セレナ e-パワー オーテック	2018	4810	1740	1865	1770	1680	140	○	○	○
	セレナ ライダー 4WD	2016	4845	1755	1875	1800	1680	140	○	○	○
マツダ	デイズ ハイウェイスター-G ターボ ProP-E 4WD	2019	3395	1475	1660	940	1465	155	○	○	○
	CX-5 XD L パッケージ 4WD	2017	4545	1840	1690	1660	1820	210	○	○	○
	CX-8 XD Lパッケージ 4WD	2017	4900	1840	1730	1900	1825	200	○	○	○
	スクラムワゴン PZ ターボSP 4WD	2015	3395	1475	1910	1010	1465	150	○	○	○
	フレア ハイブリッド XS 4WD	2017	3395	1475	1650	840	1450	150	○	○	○
ホンダ	フレアワゴンタフスタイル ハイブリッド XT 2WD	2018	3395	1475	1800	890	1455	150	○	○	○
	CR-Vハイブリッド EX・マスターピース 4WD	2018	4605	1855	1690	1700	1850	200	×	○	○
	N-BOXカスタム G・EXターボ ホンダC 4WD	2017	3395	1475	1815	1020	1460	145	○	○	○
	オデッセイ ハイブリッド A・H-S 7人乗り	2016	4830	1820	1685	1880	1775	140	○	○	○
	シヤトル ハイブリッドZ 4WD	2015	4400	1695	1570	1300	1660	145	○	○	○

# 概要説明

## 収容車一覧表

③外国車 1,550mm 以下

(2020年6月現在)

■:収容不可車要因 □:公差による要因

発売年度	車名	諸元					収容可否				
		全長 (mm)	全幅 (mm)	全高 (mm)	車体重量 (kg)	タイヤ外幅 (mm)	最低地上高 (mm)	Mシリーズ 普通車	Lシリーズ 普通車	LLシリーズ 普通車	
GM	キャデラック ATS-V スペックB	2016	4700	1835	1415	1750	1815	120	○	○	○
	キャデラック CT6 ブラチナム	2016	5190	1885	1495	1920	1890	145	×	○	○
	キャデラック CTS-V スペックB	2016	5040	1870	1465	1910	1850	125	×	○	○
	シボレー カマロ SS	2017	4780	1900	1340	1710	1895	130	×	○	○
ジャガー	XF スポーツブレイク プレステージ 180PS	2017	4965	1880	1495	1820	1855	115	×	○	○
ロータスカーズ	3イレブン ロード	2017	4120	1855	1200	925	1815	140	×	○	○
フェラーリ	488 スパイダー	2015	4570	1955	1215	1420	1955	125	×	×	○
	GTC4ルッコ	2016	4925	1980	1385	1790	1965	155	×	×	○
アルファロメオ	ジュリア ヴェローチェ L	2017	4655	1865	1435	1670	1850	150	×	○	○
	ジュリア クアドリフォリオ	2017	4635	1865	1435	1710	1890	120	×	○	○
アバルト	124 スパイダー AT	2016	4060	1740	1240	1150	1710	145	○	○	○
	695C リヴァーレ	2018	3660	1625	1505	1160	1615	105	○	○	○
ボルボ	S90 T6 AWD インスク립ション	2017	4965	1890	1445	1820	1875	155	×	○	○
	V60 T6 ツインエンジン AWD インスク립ション	2018	4760	1850	1435	2075	1835	145	×	○	○
メルセデス ベンツ	A 180	2018	4420	1800	1420	1360	1775	120	○	○	○
	A 200d	2019	4420	1800	1420	1470	1775	130	○	○	○
	AMG E 43 4MATIC	2016	4950	1850	1450	1930	1875	115	×	○	○
	AMG GT63 S 4MATIC+	2019	5050	1955	1445	2150	1960	130	×	×	○
	C 350 e アバンギャルド	2016	4690	1810	1430	1830	1800	115	○	○	○
	CLA 250 シュボルト 4MATIC S-ブレーク	2015	4685	1780	1435	1580	1790	105	○	○	○
フォルクスワーゲン	CLS 53 4MATIC+	2018	5000	1895	1425	2010	1910	130	×	○	○
	E 220 d S-ワゴン アバンギャルド スポーツ	2016	4960	1850	1465	1890	1865	115	×	○	○
	E 400 4MATIC S-ワゴン エクスクルーシブ	2016	4940	1850	1465	1950	1850	120	○	○	○
	S 600 ロング	2016	5250	1900	1495	2300	1910	130	×	○	○
	SLC 200 スポーツ	2016	4145	1845	1295	1540	1800	115	○	○	○
	e-up!	2015	3545	1650	1520	1160	1595	145	○	○	○
	e-ゴルフ	2017	4265	1800	1480	1590	1750	140	○	○	○
	アルテオン Rライン 4モーション	2017	4865	1875	1435	1700	1830	110	×	○	○
アウディ	ゴルフR ヴァリアント	2015	4595	1800	1465	1560	1760	130	○	○	○
	パサートオールトラック TDI 4モーション アドバンス	2018	4780	1855	1535	1680	1825	160	×	○	○
	ポロ TSI Rライン	2019	4075	1750	1450	1210	1715	140	○	○	○
	A6 アバント 55 TFSI クワトロ Dパッケージ	2019	4950	1885	1485	1930	1875	160	×	○	○
	A7スポーツバック 55 TFSI クワトロ Sライン	2018	4975	1910	1405	1900	1900	130	×	○	○
	A8L 60 TFSI クワトロ	2018	5300	1945	1485	2180	1895	120	×	○	○
BMW	Q2 1.4 TFSI シリンダー スポーツ	2017	4200	1795	1500	1340	1760	180	○	○	○
	R8 スパイダー V10 5.2 FSI クワトロ	2017	4425	1940	1240	1770	1905	120	×	○	○
	RS 7 スポーツバック パフォーマンス	2016	5010	1910	1425	2050	1910	200	×	○	○
	RS4 アバント	2019	4780	1865	1435	1840	1870	120	×	○	○
	S5 スポーツバック	2017	4765	1845	1390	1700	1835	120	○	○	○
	S8 プラス	2016	5145	1950	1455	2110	1910	120	×	○	○
	TT RS クーペ	2017	4190	1830	1370	1490	1805	120	○	○	○
	330i Mスポーツ	2019	4715	1825	1430	1630	1825	125	○	○	○
	530e ラグジュアリー アイバパフォーマンス	2017	4945	1870	1485	1910	1870	150	×	○	○
	540i xDrive ツーリング ラグジュアリー	2017	4950	1870	1500	1900	1870	140	×	○	○
BMWアルピナ	540i xDrive ラグジュアリー	2017	4945	1870	1480	1810	1870	140	×	○	○
	750Li Mスポーツ	2015	5250	1900	1485	2140	1895	135	×	○	○
	M5	2017	4965	1905	1480	1950	1895	130	×	○	○
	M850i xDrive カプリオレ	2019	4855	1900	1345	2120	1915	125	×	○	○
	X2 xDrive 20i MスポーツX	2018	4375	1825	1535	1620	1800	180	○	○	○
BMWアルピナ	Z4 M40i	2019	4335	1865	1305	1570	1865	114	×	○	○
	B5 ビターボ ツーリング オールラッド	2017	4960	1870	1485	2080	1880	120	×	○	○
ボルシェ	718 ケイマンS AT	2016	4380	1800	1270	1385	1805	130	○	○	○
	718 ボクスターS AT	2016	4385	1825	1280	1410	1805	130	○	○	○
スマート	フォーツ-カプリオ BRABUS エクスクルーシブ	2017	2785	1665	1540	1020	1635	125	○	○	○
	フォーフォー BRABUS エクスクルーシブ	2016	3550	1665	1545	1080	1635	125	○	○	○
ルノー	アルピーヌA110 リネージュ	2018	4205	1800	1250	1130	1800	115	○	○	○
	トゥインゴ インテンス キャンバストップ	2016	3620	1650	1545	1030	1630	130	○	○	○
プジョー	メガーヌ スポーツツアラー GT	2017	4635	1815	1450	1480	1800	120	○	○	○
	508 SW GT ブルーHDi	2019	4790	1860	1420	1670	1830	140	×	○	○
シトロエン	C3 フィール	2017	3995	1750	1495	1160	1685	160	○	○	○
	DS3 クロスバック ピーシック	2019	4120	1790	1550	1270	1775	185	○	○	○

備考:ドアミラーはたただで入庫願います。○は車体寸法公差により個々に入庫可否の確認が必要となります。

○=収容可、×=収容不可

## 収容車一覧表

④外国車 1,550mm 超

(2020年6月現在)

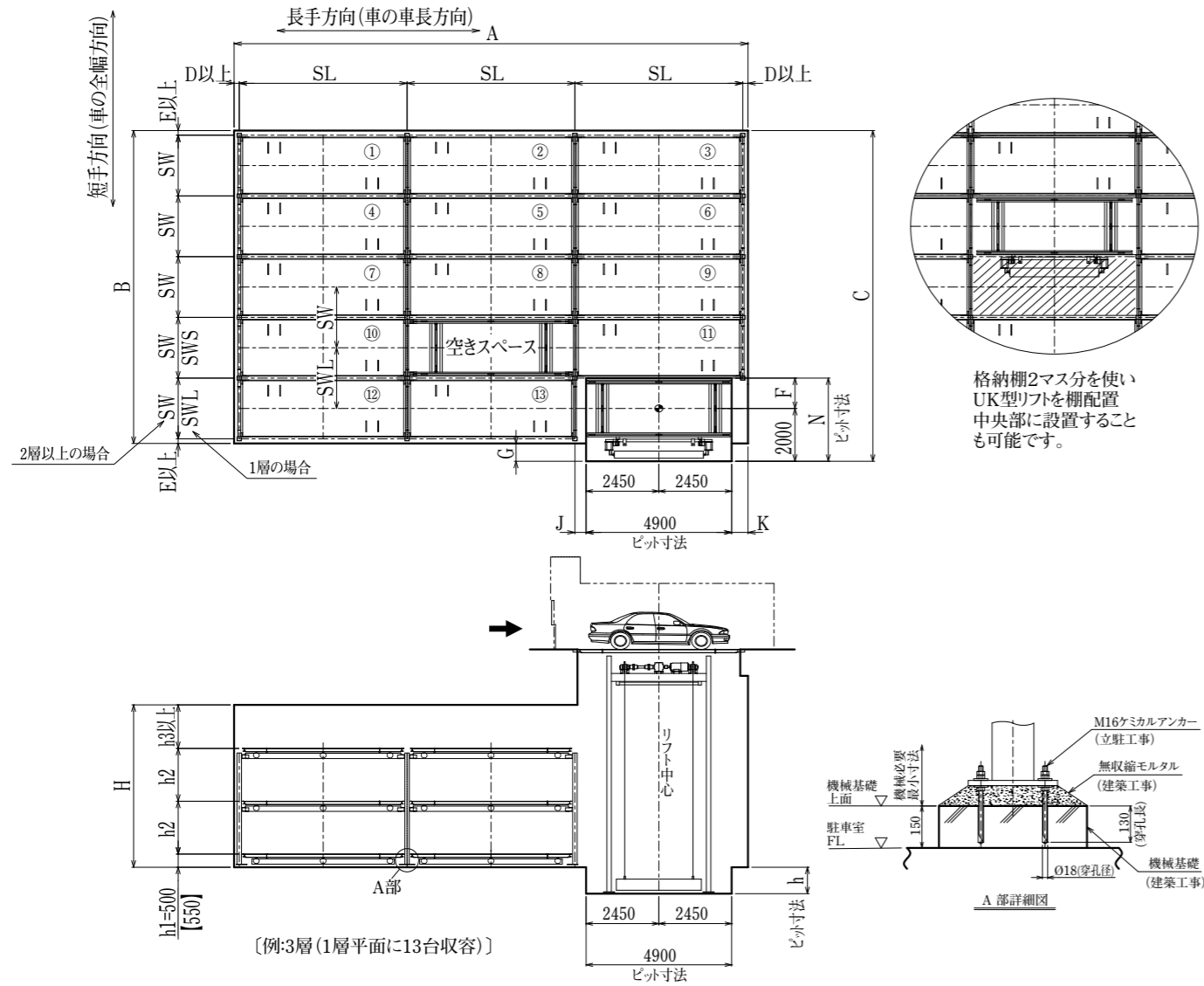
■:収容不可車要因 □:公差による要因

発売年度	車名	諸元					収容可否				
		全長 (mm)	全幅 (mm)	全高 (mm)	車体重量 (kg)	タイヤ外幅 (mm)	最低地上高 (mm)	Mシリーズ ハイブリッド車	Lシリーズ ハイブリッド車	LLシリーズ ハイブリッド車	
GM	キャデラック XT5 Xオーバー ラグジュアリー	2017	4825	1915	1700	1990	1870	190	×	○	○
	キャデラック エスカレード プレミアム	2015	5195	2065	1910	2650	2030	215	×	×	×
ジープ	ジープ・コンパス リミテッド	2017	4400	1810	1640	1600	1775	180	○	○	○
	ジープ・ラングラー スポーツ	2018	4425	1895	1825	1830	1845	200	×	○	○
	ジープ・ラングラーアンリミテッド サハラ	2018	4975	1895	1840	1980	1855	200	×	○	○
	ジープ・レネゲード トレイルホーク	2015	4260	1805	1725	1560	1755	200	○	○	○
ジャガー	Eペース D180	2018	4410	1900	1650	1920	1875	200	×	○	○
	Fペース ファーストエディション	2015	4740	1935	1665	1980	1920	215	×	○	○
ランドローバー	ディスカバリー ファーストエディション ディーゼル	2017	4970	2000	1890	2460	1965	200	×	×	○
	レンジローバーヴェラール R ダイナミック HSE 180PS	2017	4820	1930	1685	2020	1920	205	×	○	○
レンジローバー	レンジローバーヴェラール R ダイナミック HSE 380PS	2017	4820	1930	1685	2060	1920	205	×	○	○
	ベントレー	ベンティガ	2016	5150	1995	1755	2530	1980	195	×	×
フィアット	500X クロス プラス	2015	4270	1795	1625	1460	1770	165	○	○	○
マセラティ	レヴァンテS	2016	5000	1985	1680	2140	1970	225	×	×	○
アルファロメオ	ステルヴィオ 2.2ターボ ディーゼル Q4	2018	4690	1905	1680	1820	1885	245	×	○	○
	ステルヴィオ 2.9 V6 ビターボ クアドリフォリオ	2018	4700	1955	1680	1910	1960	245	×	×	○
ボルボ	XC40 T5 AWD R-デザイン	2018	4425	1875	1660	1690	1860	210	×	○	○
	XC60 D4 AWD モーメントム エアサス	2017	4690	1900	1660	1910	1890	215	×	○	○
	XC60 T6 AWD R-デザイン	2017	4690	1915	1660	1890	1915	215	×	○	○
	XC60 T8 Wエンジン AWD インスク립ション	2017	4690	1900	1660	2170	1910	215	×	○	○
	XC90 T5 AWD インスク립ション A-サス	2016	4950	1960	1760	2100	1955	180	×	×	○
	XC90 T8 ツイン エンジン AWD インスク립ション A-サス	2016	4950	1960	1760	2340	1955	180	×	×	○
メルセデス ベンツ	AMG G 63	2018	4875	1985	1975	2530	1930	240	×	×	×
	AMG GLC 43 4MATIC クーペ	2016	4735	1930	1590	1920	1935	175	×	○	○
	AMG GLE 43 S 4MATIC クーペ	2015	4890	2015	1720	2310	2035	200	×	×	○
	AMG GLE 63 S 4MATIC クーペ	2015	4920	2015	1720	2420	2030	200	×	×	○
	AMG GLS 63 4MATIC	2016	5160	1980	1850	2610	1980	200	×	×	×
	B180	2019	4425	1795	1565	1440	1775	120	○	○	○
	B 200d	2019	4425	1795	1565	1550	1775	120	○	○	○
	G 550	2018	4820	1930	1975	2450	1895	240	×	×	○
	GLC 200 クーペ スポーツ	2016	4735	1930	1605	1770	1910	180	×	○	○
	GLC 220d 4MATIC クーペ スポーツ 本華仕様	2016	4735	1930	1605	1960	1910	180	×	○	○
	GLC 250 4MATIC クーペ スポーツ 本華仕様	2016	4735	1930	1600	1870	1910	175	×	○	○
	GLC 350e 4MATIC クーペ スポーツ	2016	4735	1930	1600	2100	1940	175	×	○	○
	GLE 300d 4MATIC	2019	4930	1950	1770	2290	1950	190	×	○	○
	GLE 350d 4MATIC クーペ スポーツ	2015	4890	2015	1730	2330	2020	205	×	×	○
GLE 400d 4MATIC スポーツ	2019	4940	2020	1780	2390	2005	200	×	×	○	
GLE 450 4MATIC スポーツ	2019	4940	2020	1780	2370	2005	200	×	×	○	



## 駐車室寸法(格納階寸法)

駐車室端部(2本柱リフト)UK2型



格納棚2マス分を使いUK型リフトを棚配置中央部に設置することも可能です。

- 1層につき、1マス以上の空きスペースが必要となります。
- 駐車室深さ(H寸法)は強制換気ダクト等の納まりを考慮の上決定願います。
- 駐車室へのメンテナンス用出入口を設けて下さい。(建築工事)
- リフトピットには必ず釜場(排水用ピット)を設け排水願います。(建築工事)
- 駐車室制御盤スペースを別途確保願います。
- 【 】寸法は防振ゴムを設置した場合を示します。

h寸法:リフトピット深さ		単位:mm
	ピット深さ	
旋回なし (外置きターンテーブル)	1050	
内蔵ターンテーブル	1100	

※仕様・寸法は予告無しに変更する場合があります。

駐車室端部(2本柱リフト)UK2型における寸法

### 駐車室平面寸法

単位:mm

寸法	算出式
A	SL×長手方向棚数+(D×2)
B	1層の場合 SW×SW棚数+SWL+SWS+(E×2) 2層以上の場合 SW×SW棚数+(E×2)
C	B+G

単位:mm

収容車寸法	車長	車幅	収容車種シリーズ			車長、車幅オプション (下記式により算出)
			M	L	LL	
1層	全長	SL	5,350	5,650	5,950	車長+350
	全幅	SW	2,200	2,300	2,400	車幅+350
	リフト全幅	SWL	2,200	2,300	2,400	車幅+350
	リフト横全幅	SWS	2,200	2,300	2,400	車幅+350
	端部(長手)	D			175	
	端部(短手)	E			175	
	リフト部	F	1,100	1,150	1,200	SWL/2
		G	850	800	750	2,000-(SW/2+E)
		J	175	325	475	1)参照
		K	350	500	650	1)参照
2層 3層 4層	全長	SL	5,350	5,650	5,950	車長+350
	全幅	SW	2,200	2,300	2,400	車幅+350
	端部(長手)	D			175	
	端部(短手)	E			175	
	リフト部	F	1,100	1,150	1,200	SW/2
		G	700	650	600	2,000-(SW/2+E)
		J	225	375	525	1)参照
		K	425	575	725	1)参照
	N	3,100	3,150	3,200	F+2,000	

1) J、K寸法における算出式

単位:mm

	J	K
車長5,000~5,600	SL/2-2,450	SL/2+D-2,450

2) 本表の収容車シリーズの車長、車幅は代表となる組み合わせを示します。

### 高さ寸法

単位:mm

車高	標準			オプション
	車高1,550mm 普通車	車高1,750mm ミドルーフ車	車高2,000mm ハイルーフ車	収容車車高1,550~2,200mmまで 50mmピッチで選択可能です。
h2	2,050	2,250	2,500	車高+500
h3	1,650	1,850	2,100	車高+100

1) 格納層数と有効階高(H寸法)〈防振ありの場合は下表の数値+50mm〉

H寸法 単位:mm

段数	ミドルーフ車用の段数				
	0	1	2	3	4
普通車用の	0	2,150	4,400	6,650	8,900
	1	2,150	4,400	6,650	8,900
	2	4,200	6,450	8,700	-
	3	6,250	8,500	-	-
	4	8,300	-	-	-

H寸法 単位:mm

段数	ハイルーフ車用の段数				
	0	1	2	3	4
普通車用の	0	2,600	5,100	7,600	10,100
	1	2,150	4,650	7,150	9,650
	2	4,200	6,700	9,200	-
	3	6,250	8,750	-	-
	4	8,300	-	-	-

H寸法 単位:mm

車用の段数	ハイルーフ車用の段数				
	0	1	2	3	4
ミドルーフ	0	2,350	4,600	6,850	9,100
	1	2,350	4,600	6,850	9,100
	2	4,600	6,850	9,100	-
	3	6,850	9,100	-	-
	4	9,100	-	-	-

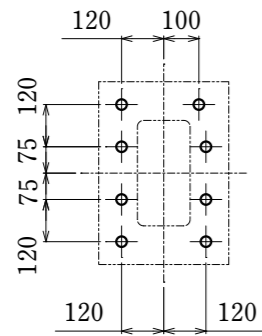
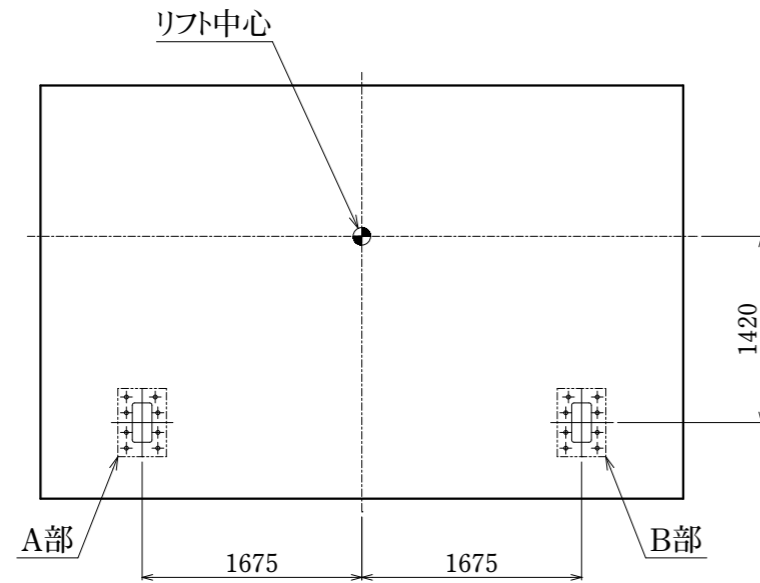
H寸法(3車種ミックスの場合) 単位:mm

車種	1	2	3	4	H寸法
(Lo)	(Mi)	(Hi)	-	-	6,900
(Lo)	(Lo)	(Mi)	(Hi)	-	8,950
(Lo)	(Mi)	(Mi)	(Hi)	-	9,150
(Lo)	(Mi)	(Hi)	(Hi)	-	9,400

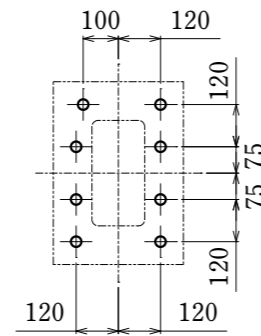
※(Lo):普通車、(Mi):ミドルーフ車、(Hi):ハイルーフ車

## リフトピット詳細図

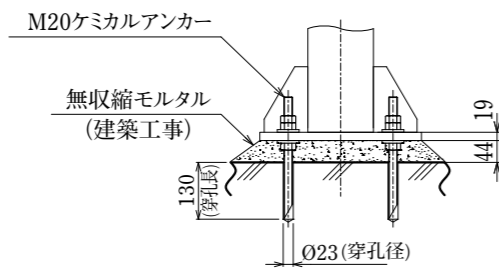
駐車室端部(2本柱リフト)UK2型ピット



A部詳細  
M20ケミカルアンカー



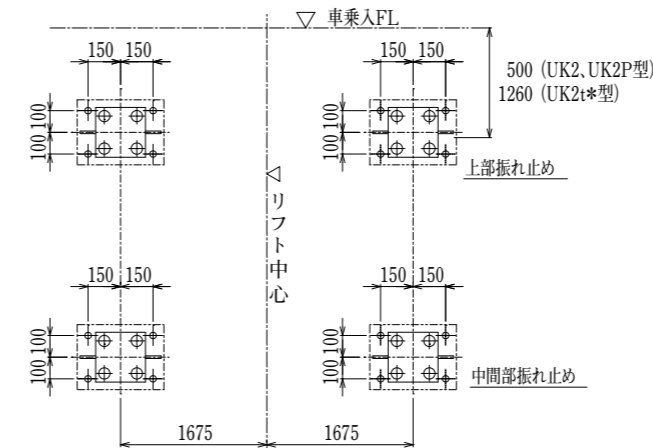
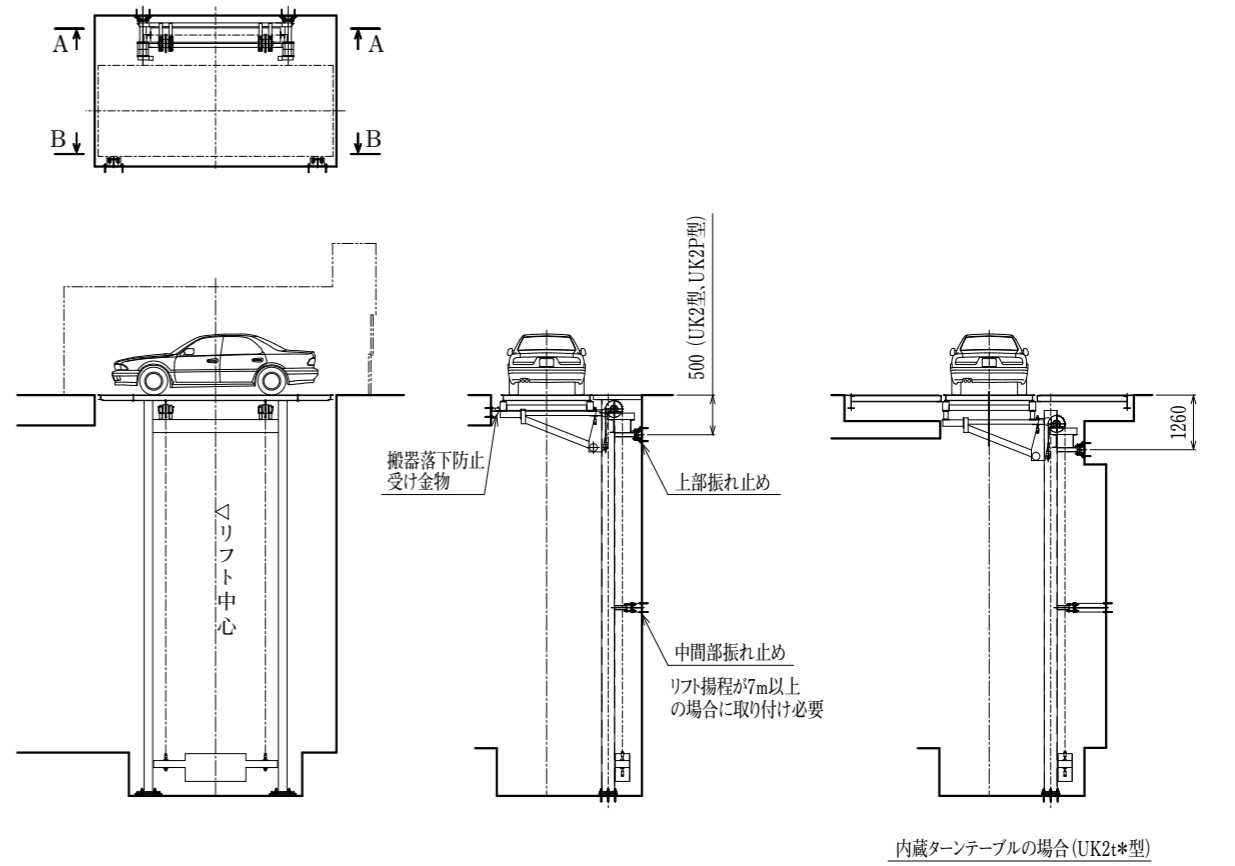
B部詳細  
M20ケミカルアンカー



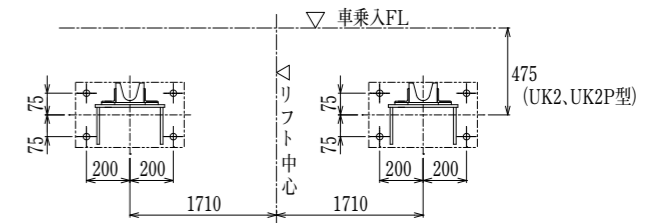
M20ケミカルアンカー詳細図

## リフトまわり詳細図

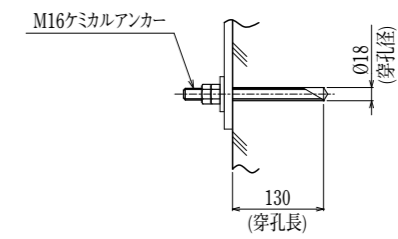
駐車室端部(2本柱リフト)UK2型



A-A 視  
M16ケミカルアンカー



B-B 視  
M16ケミカルアンカー



M16ケミカルアンカー詳細図

※仕様・寸法は予告無しに変更する場合があります。

※仕様・寸法は予告無しに変更する場合があります。

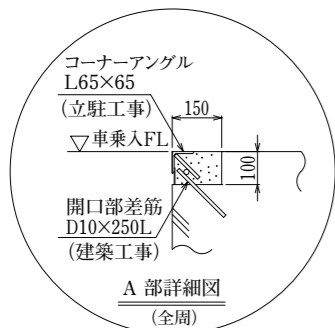
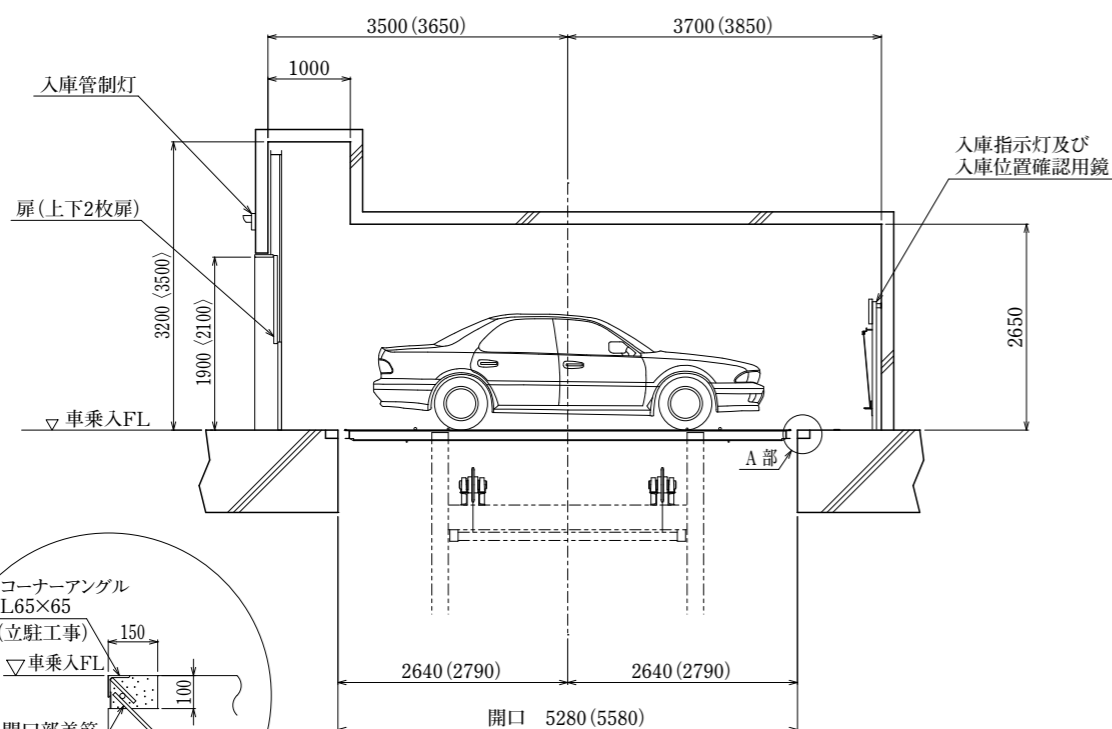
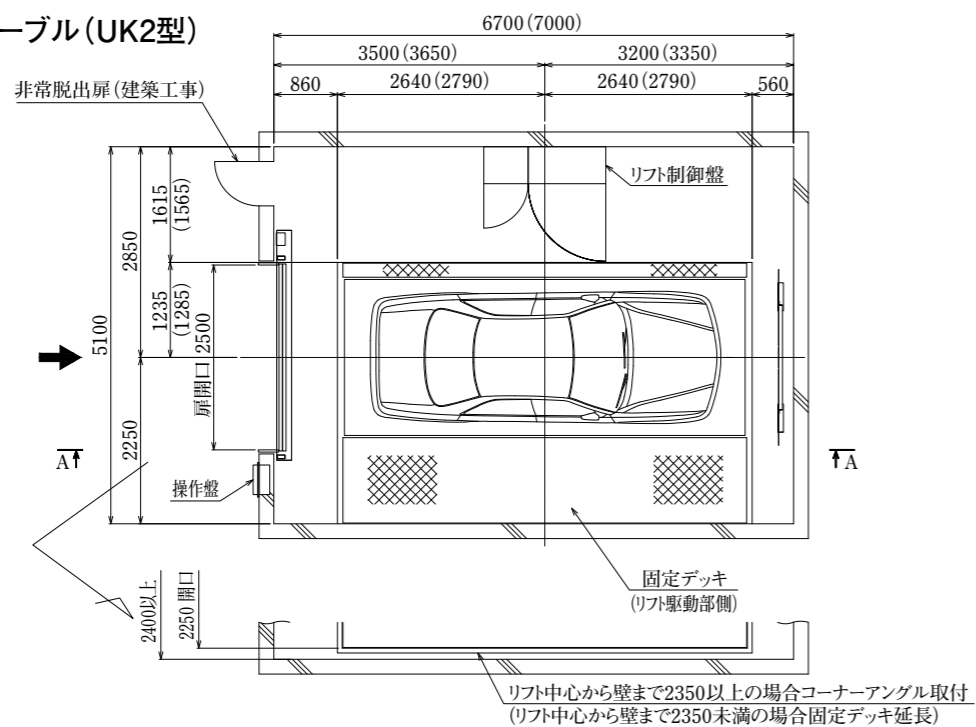
基本寸法図

基本寸法図



## 乗降室寸法

駐車室端部(2本柱リフト)乗降室  
外置きターンテーブル(UK2型)



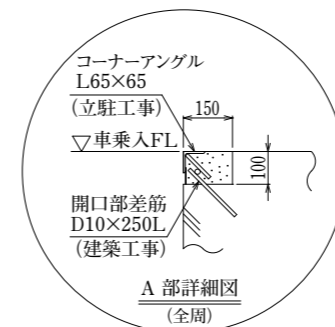
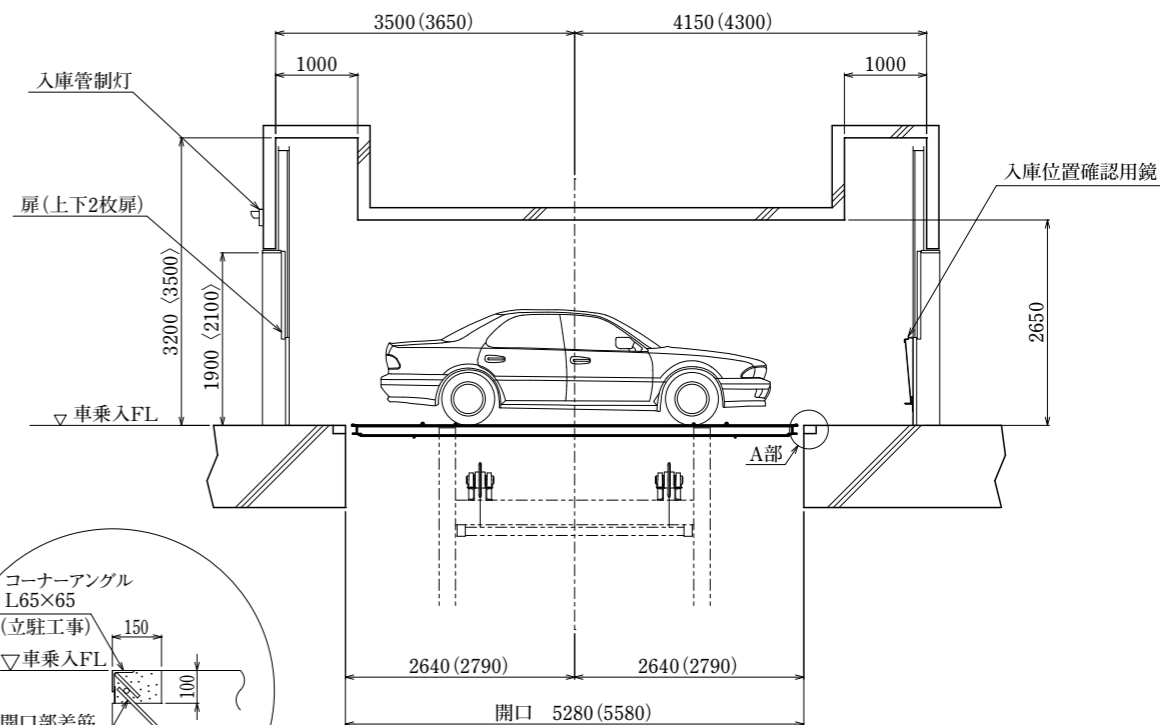
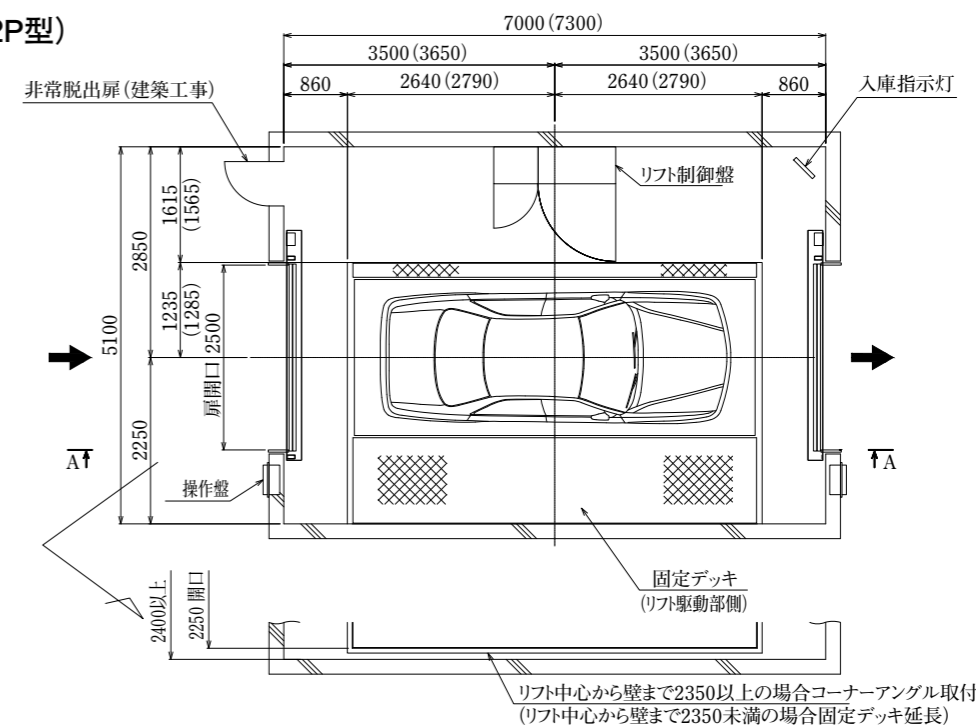
A-A 視

- 注1) 寸法表示は下記によります。  
 カッコなし:Mシリーズ及び各車種共通 ( ) :Lシリーズ  
 < > :ハイルーフ(車高2,000mm)車の場合
- 2) 本図は、上下開閉2枚扉の場合を示します。  
 扉仕様により必要寸法が異なります。  
 詳細は、付帯設備の扉を参照してください。
- 3) L、Mシリーズ以外の寸法については、お問い合わせください。

※仕様・寸法は予告無しに変更する場合があります。

## 乗降室寸法

駐車室端部(2本柱リフト)乗降室  
通り抜け(UK2P型)



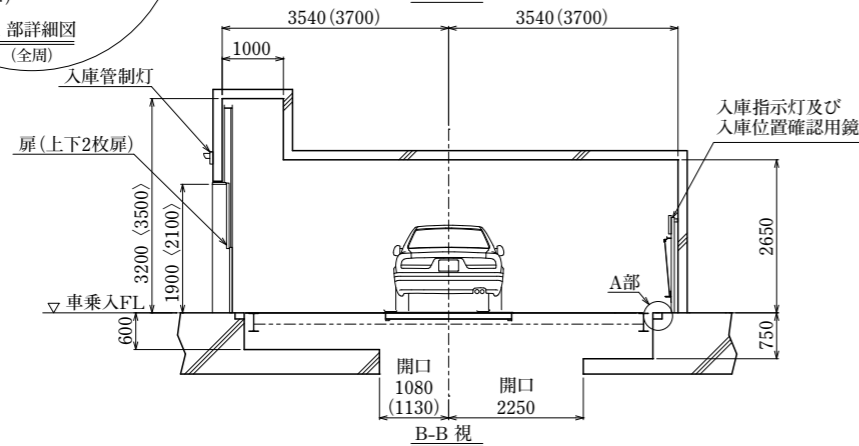
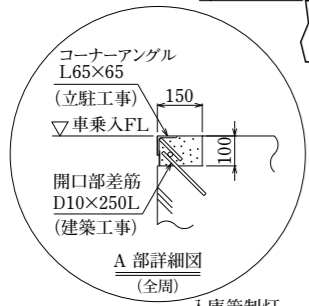
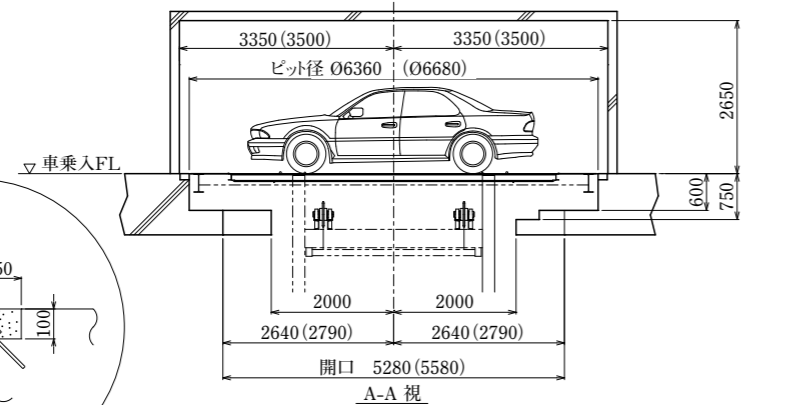
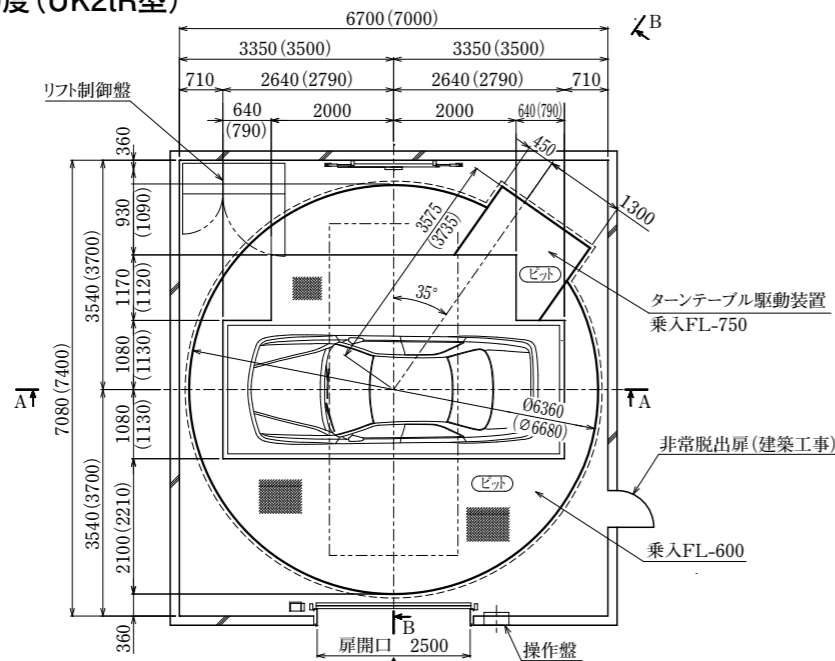
A-A 視

- 注1) 寸法表示は下記によります。  
 カッコなし:Mシリーズ及び各車種共通 ( ) :Lシリーズ  
 < > :ハイルーフ(車高2,000mm)車の場合
- 2) 本図は、上下開閉2枚扉の場合を示します。  
 扉仕様により必要寸法が異なります。  
 詳細は、付帯設備の扉を参照してください。
- 3) L、Mシリーズ以外の寸法については、お問い合わせください。
- 4) 出庫側にも操作盤を設置することができます(オプション)。

※仕様・寸法は予告無しに変更する場合があります。

## 乗降室寸法

駐車室端部(2本柱リフト)乗降室  
内蔵ターンテーブル90度(UK2tR型)

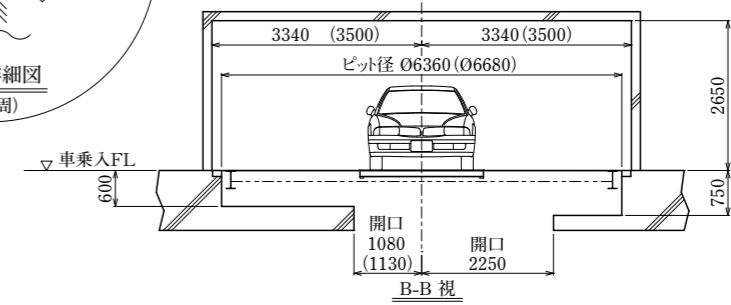
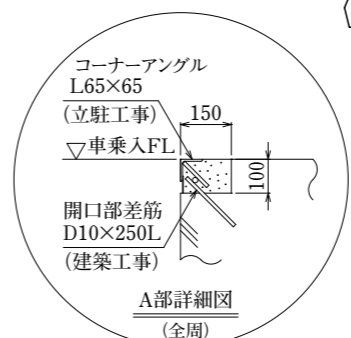
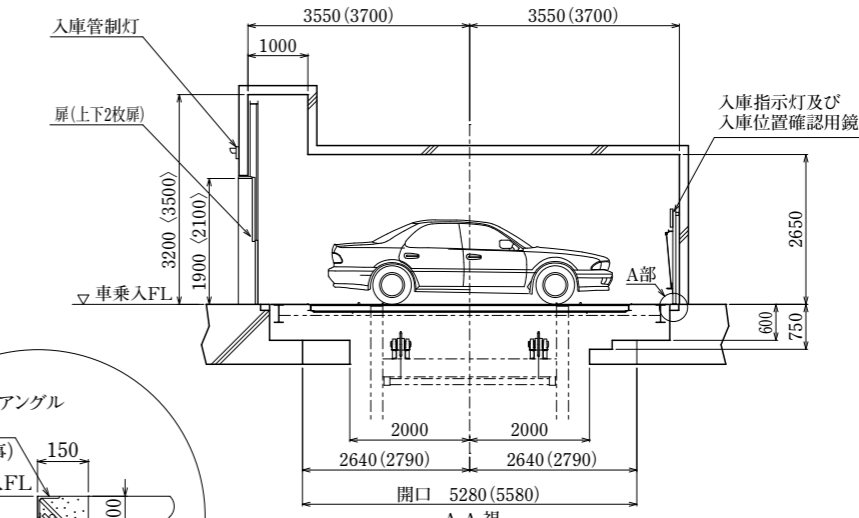
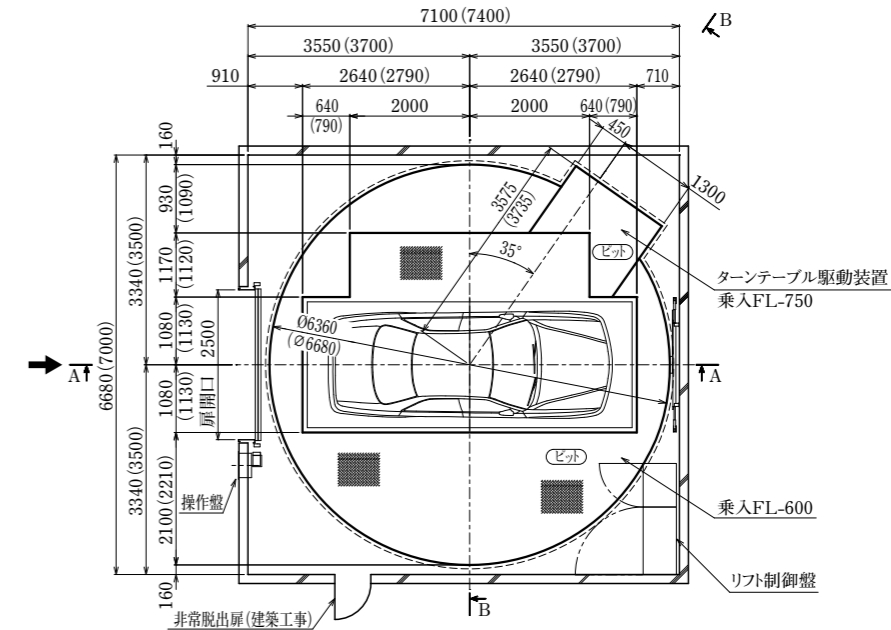


- 注1) 寸法表示は下記によります。  
カッコなし:Mシリーズ及び各車種共通 ( ) :Lシリーズ  
< > :ハイルーフ(車高2,000mm)車の場合  
2) 本図は、上下開閉2枚扉の場合を示します。  
扉仕様により必要寸法が異なります。  
詳細は、付帯設備の扉を参照してください。  
3) L、Mシリーズ以外の寸法については、お問い合わせください。

※仕様・寸法は予告無しに変更する場合があります。

## 乗降室寸法

駐車室端部(2本柱リフト)乗降室  
内蔵ターンテーブル180度(UK2tT型)

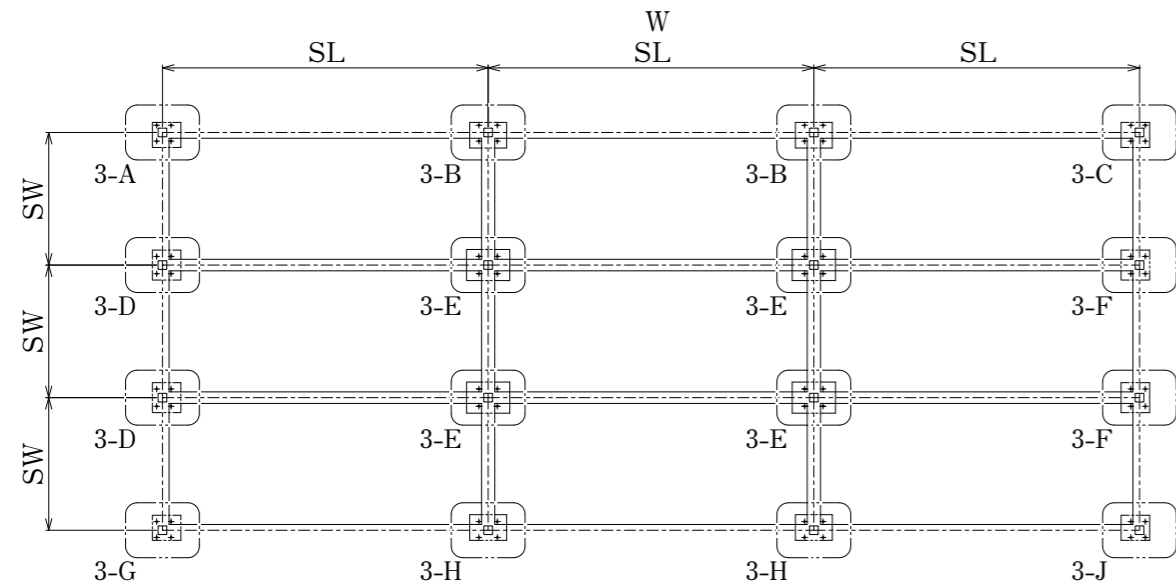


- 注1) 寸法表示は下記によります。  
カッコなし:Mシリーズ及び各車種共通 ( ) :Lシリーズ  
< > :ハイルーフ(車高2,000mm)車の場合  
2) 本図は、上下開閉2枚扉の場合を示します。  
扉仕様により必要寸法が異なります。  
詳細は、付帯設備の扉を参照してください。  
3) L、Mシリーズ以外の寸法については、お問い合わせください。

※仕様・寸法は予告無しに変更する場合があります。

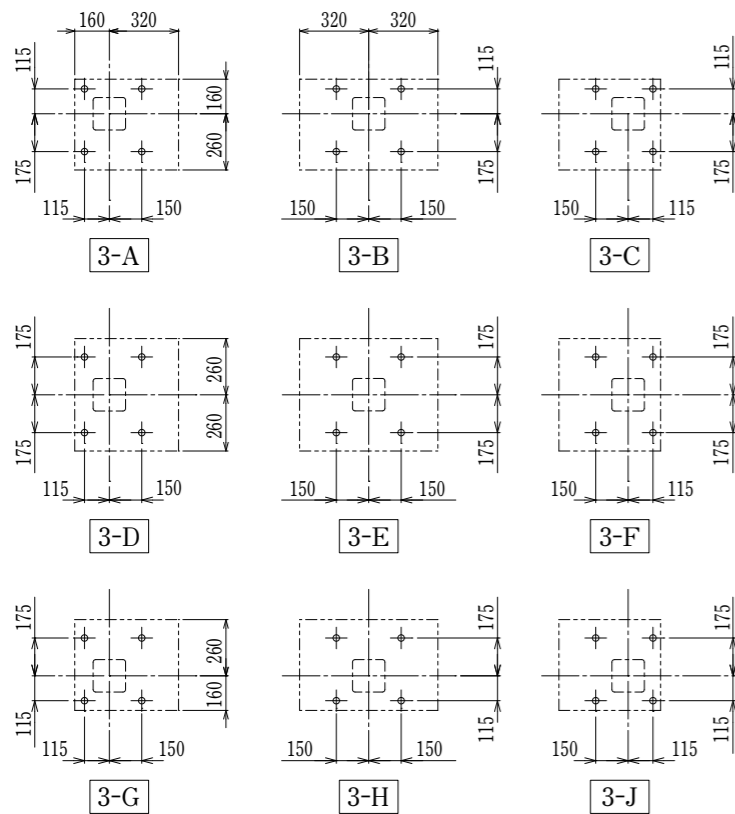
## 駐車室アンカー配置図

2,3,4層 標準(防振なし)



駐車室平面図

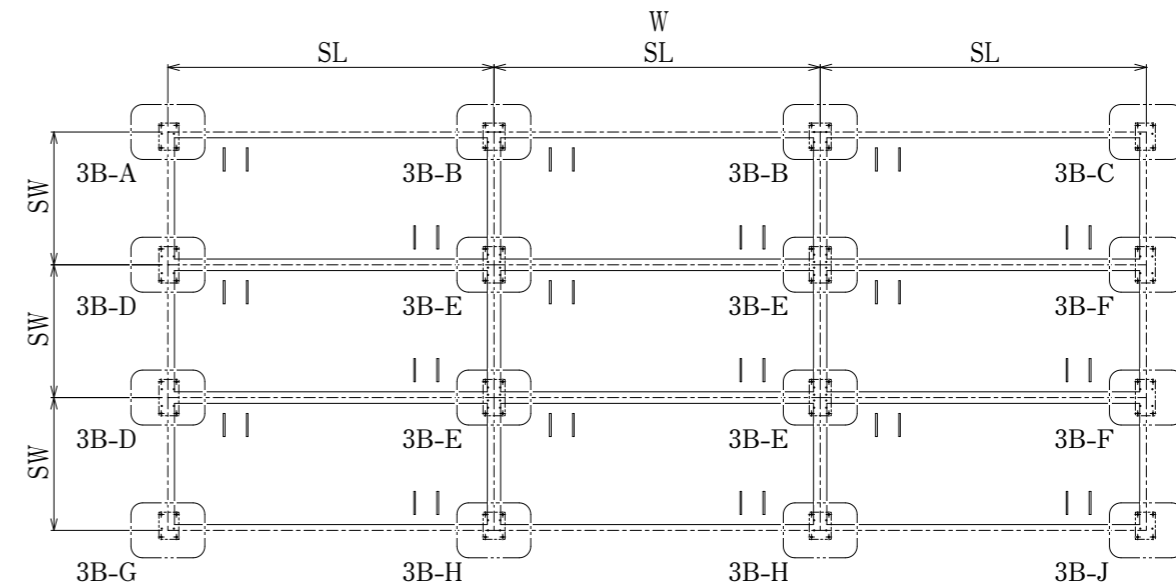
本図は、格納棚部におけるアンカー配置を示します。リフトについては「リフトピット詳細図」を参照してください。  
SL、SW、W寸法は、選定した収容車シリーズにより異なります。(駐車室寸法表参照)



アンカー配置詳細図  
M16ケミカルアンカー

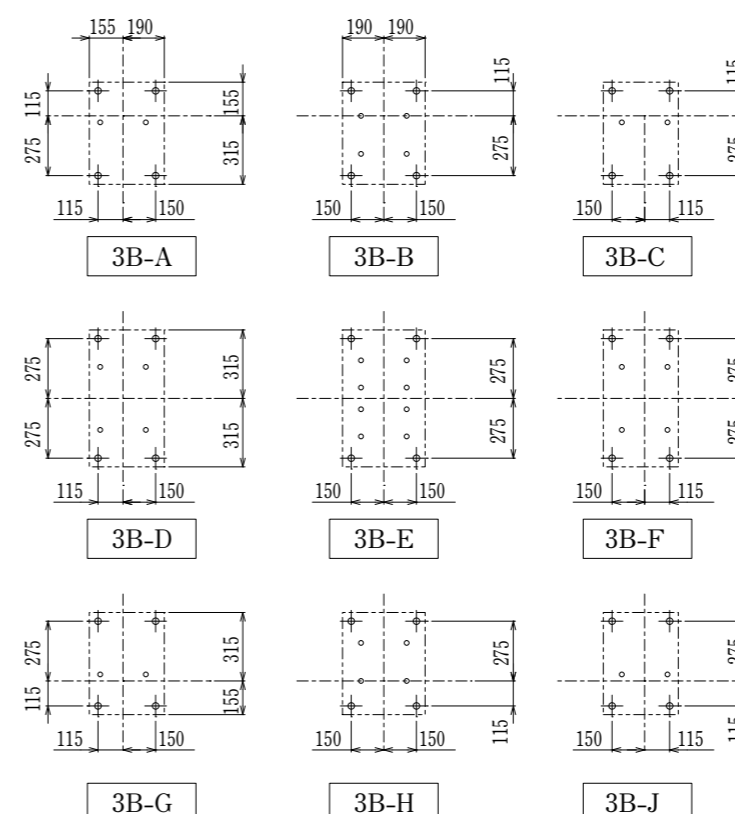
※仕様・寸法は予告無しに変更する場合があります。

2,3,4層 防振ゴム対応(防振対策あり)



駐車室平面図

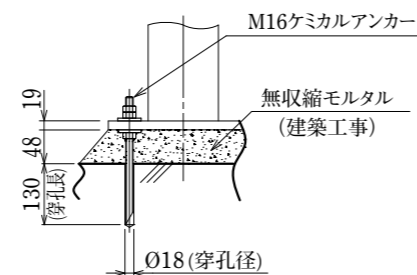
本図は、格納棚部におけるアンカー配置を示します。リフトについては「リフトピット詳細図」を参照してください。  
SL、SW、W寸法は、選定した収容車シリーズにより異なります。(駐車室寸法表参照)



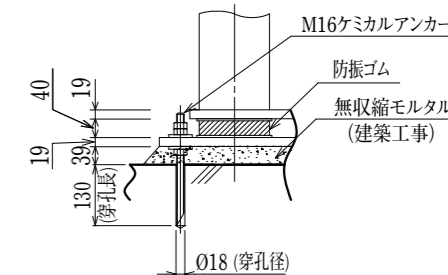
アンカー配置詳細図  
M16ケミカルアンカー

本図は、2層防振の場合を示します。  
3,4層の寸法については、お問い合わせください。

※仕様・寸法は予告無しに変更する場合があります。



M16ケミカルアンカー詳細図



M16ケミカルアンカー詳細図

基本寸法図

基本寸法図







# 電気設備

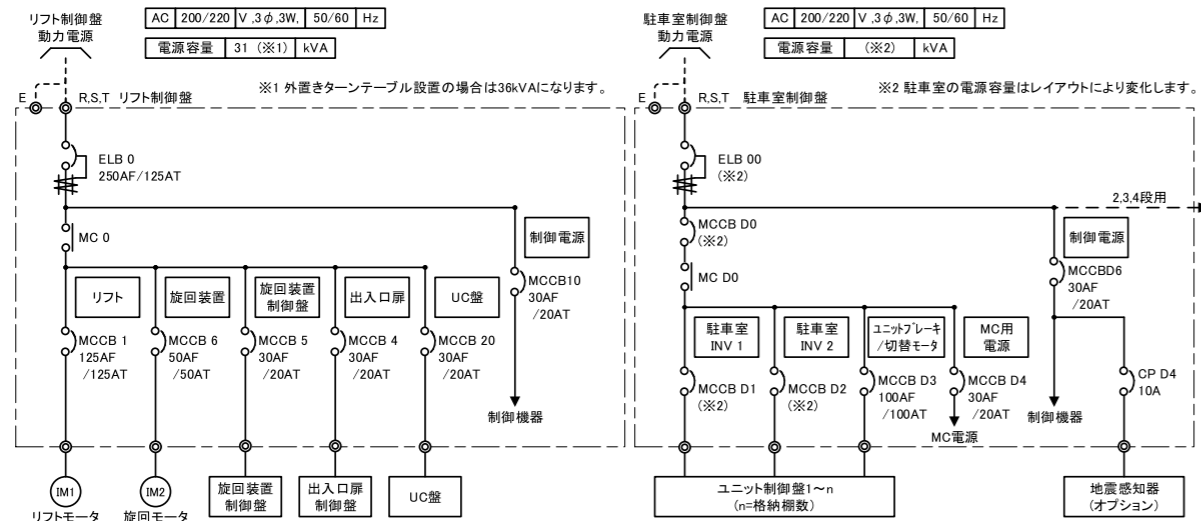
## 1次側電源・電源系統

### 一次電源

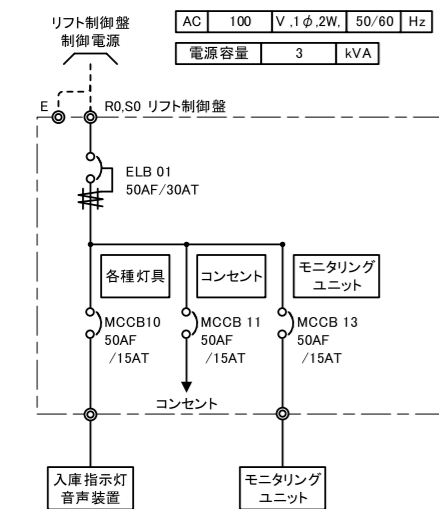
- (1) 動力電源 AC200/220V 3相3線式 50/60Hz
- (2) 操作電源 AC100V 単相2線式 50/60Hz

### 電気系統

#### (1) 動力電源



#### (2) 操作電源



・電動機はインバータ制御です。  
 ・消火装置は含まれておりません。

### 電気系統(動力電源)

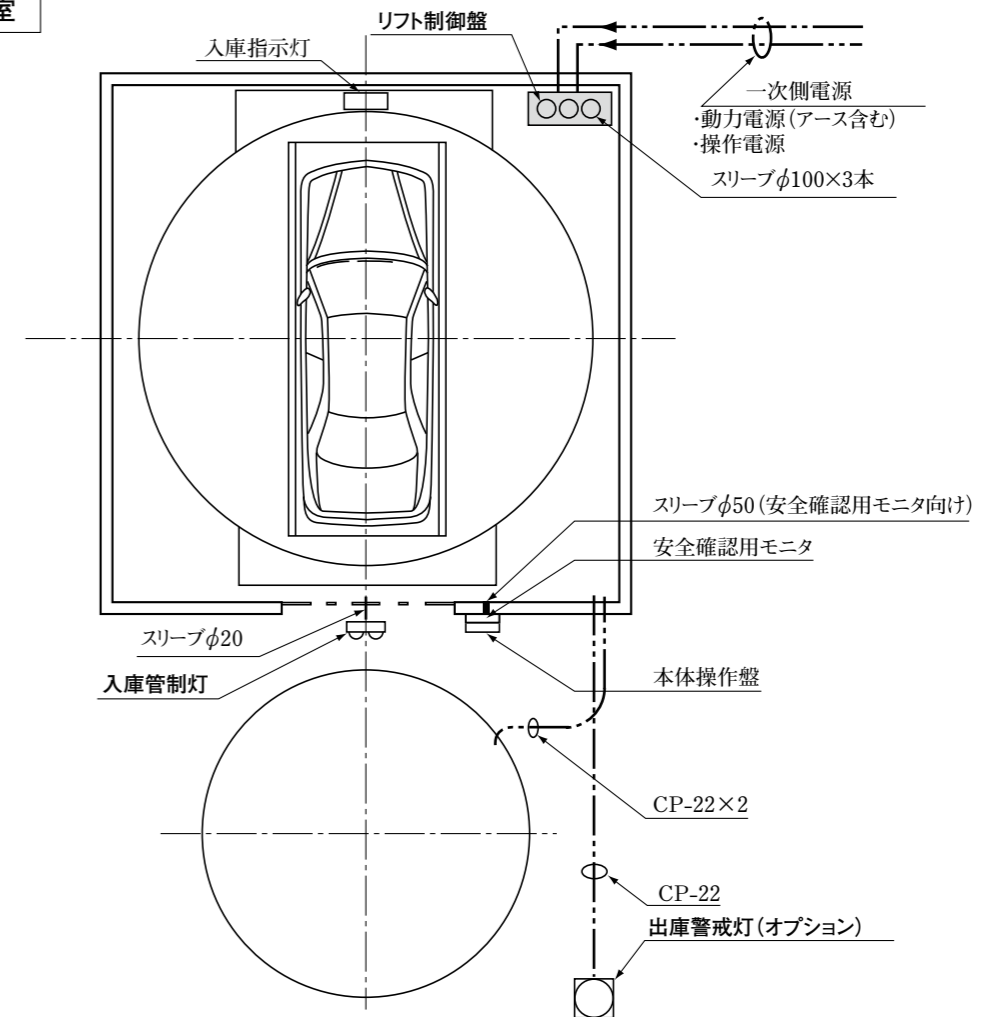
( 単位:kVA )

1列・1行あたりの 最大同時稼働棚枚数	1層	2層	3層	4層
10枚	60	75	96	117
14枚	70	91	120	149
20枚	80	107	144	181

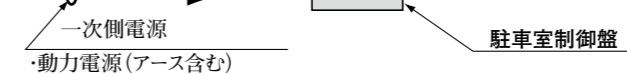
・必要な1次側トランス容量を示します。  
 ・本源電源容量は参考値であり、現地のレイアウトによって変更となる場合があります。

## 電気配管

### 乗降室



### 駐車室



### 標準施工区分

#### 1. 駐車場メーカーの施工範囲

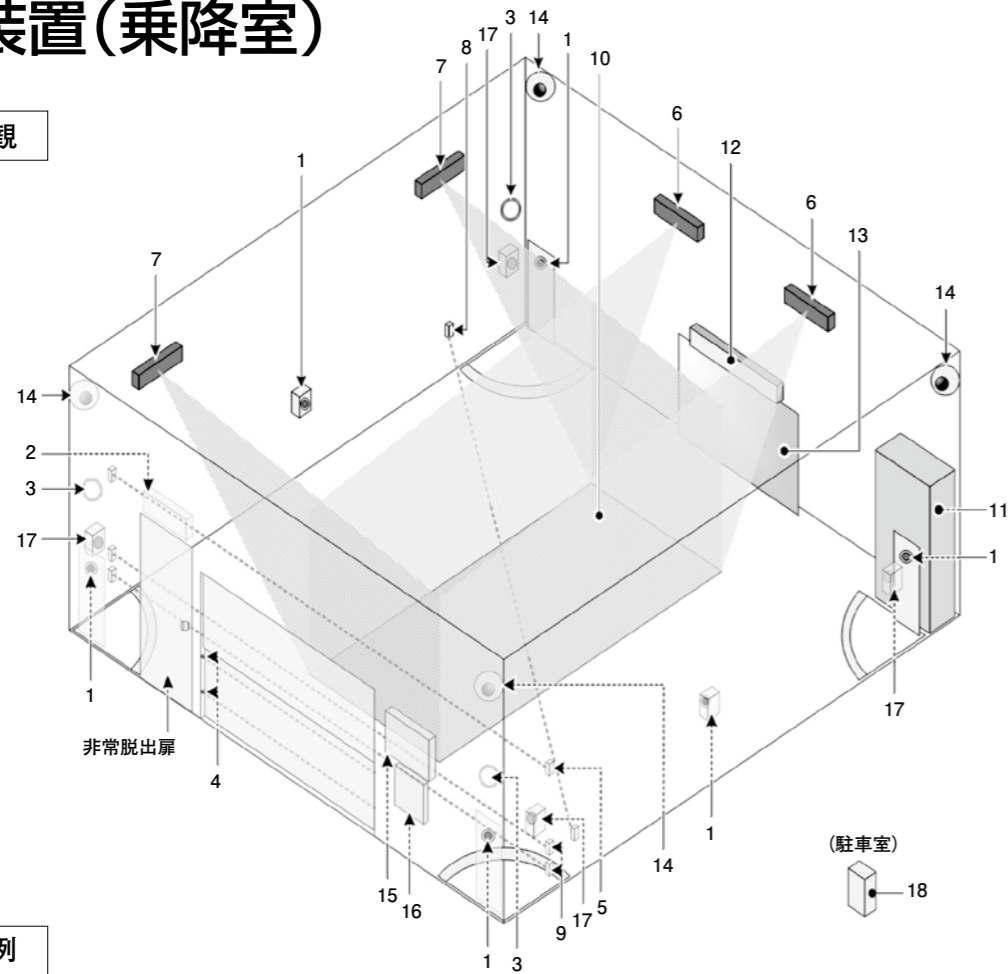
- 駐車室内の電気品取付、配管、配線工事。
- 入庫管制灯の取付。

#### 2. 駐車場メーカーの施工範囲外工事

- 以下の各制御盤までの1次側電源引き込み工事(盤内1次側端子までの配管、配線、結線工事)。  
アース線を含む。
- (1) リフト制御盤(乗降室)
- (2) 駐車室制御盤(駐車室リフトスペース横)
- (3) 消火装置制御盤(乗降室前面、又は、ボンベ室)(駐車場メーカー施工の場合)
- 消火装置制御盤からの消火装置移報信号用配管、配線、結線工事。
- 乗降室の乗降スペース外の配管工事(ターンテーブル、出庫警戒灯等)。
- 入庫管制灯及びリフト制御盤位置から駐車室へのスリーブ工事。
- 本体操作盤、消火装置操作箱用の箱技工事
- 駐車室内照明、コンセント、避難口誘導灯工事(ただし、照明点滅用の接点はリフト制御盤内に用意いたします)。

## 安全装置(乗降室)

外観

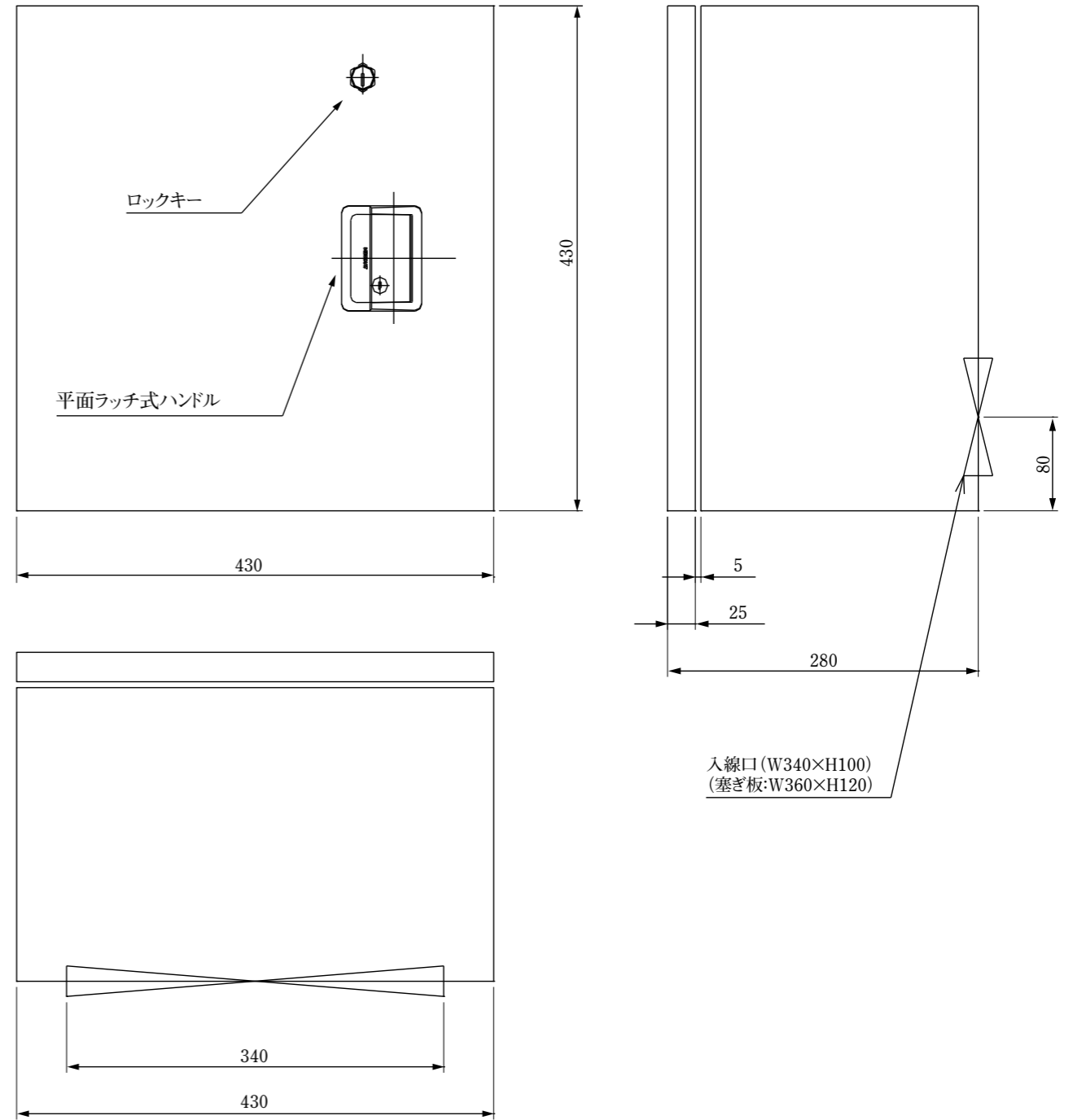


凡例

No.	名称	はたらき
1	非常停止ボタン	非常時にこのボタンを押して、機械を非常停止させます。
2	避難口誘導灯	非常脱出扉のある位置を示します。
3	パッシブセンサ	出入口扉が開いた状態のときに、乗降室内に人など動くものを検知します。
4	三方枠センサ	出入口扉を閉じるときに、出入口扉の下に人や障害物がないか検知します。
5	車高センサ	車高を検知します。
6	車幅センサ	車幅を検知します。
7	車長センサ	車長を検知します。
8	在荷センサ	自動車の有無を検知します。
9	入口部非常停止センサ	何らかの不具合で出入口扉が開いたままになってしまった場合、乗降室の入口部付近に人など動くものがないか検知します。
10	パレット	自動車を載せる台です。自動車を載せた状態で昇降し、棚に収納されます。
11	制御盤	保守員用です。保守員以外は絶対に触らないでください。
12	入庫指示灯	入庫時に自動車をパレット上の停止位置まで誘導するためのランプです。
13	停止位置確認用鏡	入庫時に自動車の停止位置を確認するための鏡です。
14	安全確認用カメラ	乗降室内の無人を確認するためのカメラです。
15	安全確認用モニタ	乗降室内の無人を確認するためのモニタです。
16	操作盤(無人確認入力機能付)	自動車の入出庫のための操作を行うタッチパネル、ボタン等があります。
17	無人確認入力ボタン	安全確認用カメラやモニタが故障したとき、無人確認を行うためのボタンです。
18	地震感知器(オプション)	震度5弱以上の地震を感知すると、機械が自動的に非常停止します。

※ 建築条件により実際と異なる場合があります。駐車室にも別途安全装置が設置されています。

## 操作盤外形図

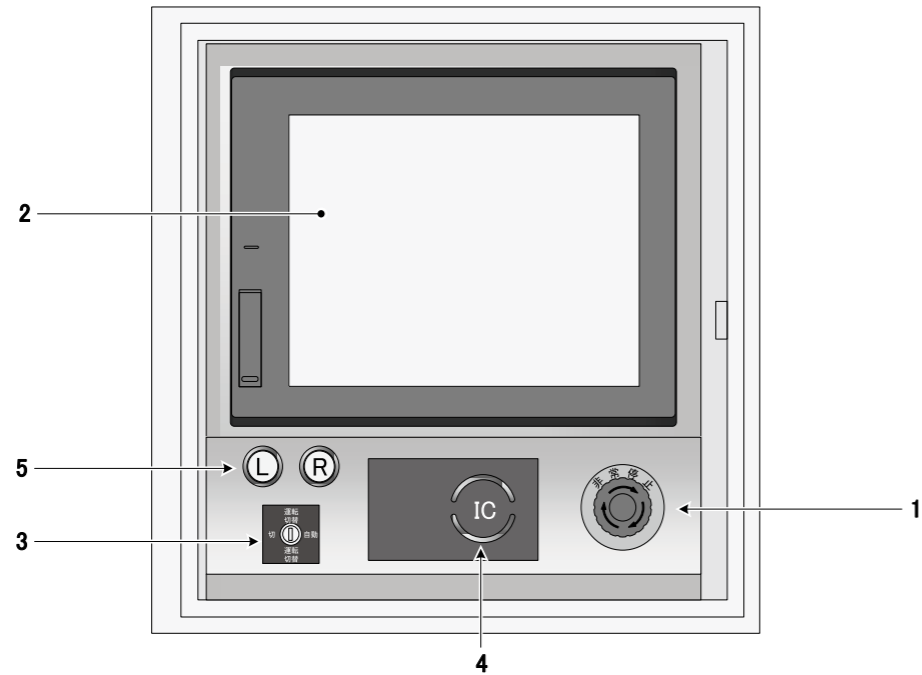


仕様

型式	屋内防滴型
材質	鋼板:t=2.3 (本体部) 鋼板:t=1.6 (扉部)
塗装色	外面:N3.0(艶消し) 内面:N3.0(艶消し)

※形状・寸法は予告無しに変更する場合があります。

## 操作方式



No.	名称	はたらき
1	非常停止ボタン	非常時にこのボタンを押して、機械を非常停止させます。
2	画面	入力操作と表示を行うタッチパネルです。
3	切替えスイッチ	管理責任者用です。 運転モードの切替時に使用します。 運転切替 : 設備の運転の開始・終了を行います。 自動 : 設備を運転します。 切 : 設備の電源を切ります。 メンテナンス : 設備のメンテナンス時に使用します。
4	IC カードリーダ(オプション)	IC カードを近づけると、カード情報を読み取ります。
5	外置ターンテーブル操作ボタン(オプション)	外置ターンテーブルを旋回するボタンです。 押している間は動作し、離すと停止します。 L:左に旋回します。 R:右に旋回します。

※配置およびデザインは予告無しに変更する場合があります。

### 認証方式

操作盤を操作するためには認証を行う必要があります。

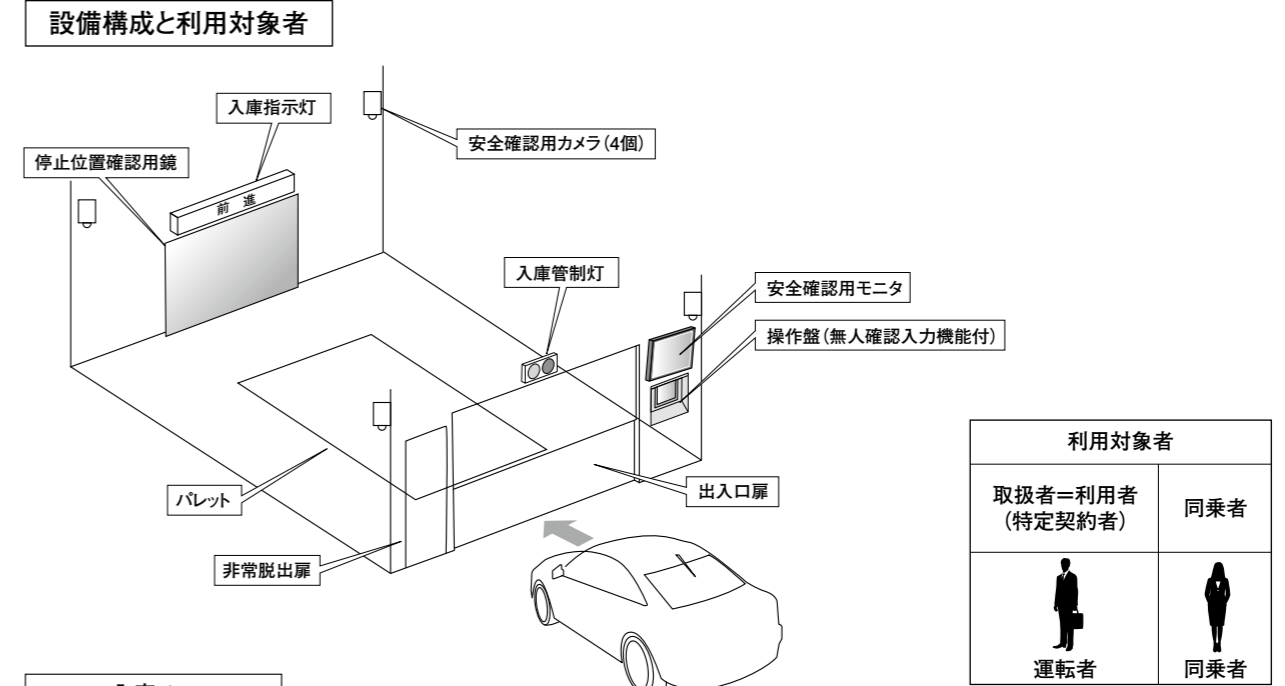
認証方法は以下の方式があります。

No.	認証方法	説明
1	暗証番号方式	4桁の暗証番号を操作盤画面に入力することで認証します。
2	ICカード方式(オプション)	ICカードをカードリーダに近づけることで認証します。
3	リモコン方式(オプション)	出入口扉前でリモコンを操作することで認証します。 予約～扉を開く操作までリモコン操作が可能で、車両から降車することなく入庫できます。 ※扉を閉じる操作は操作盤で行う必要があります。

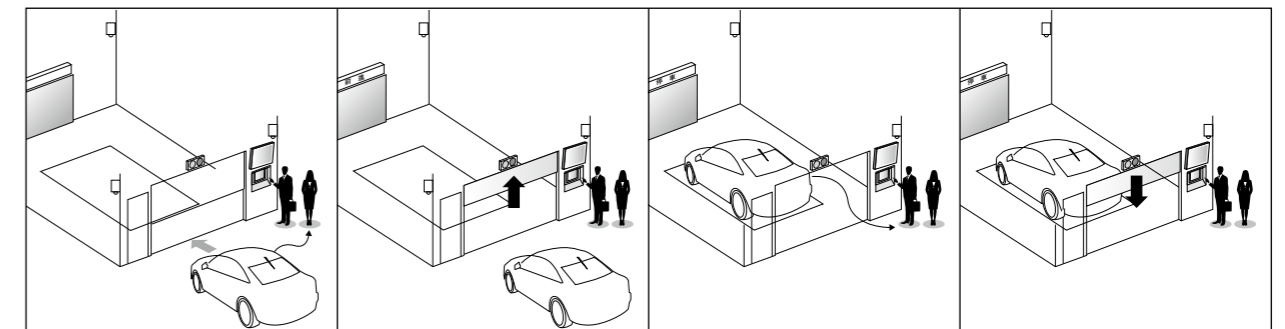
※認証方法は予告無しに変更する場合があります。

## 入出庫フロー例

ここでは一例として、利用者自身が操作を行うフローを示します。



### 入庫フロー



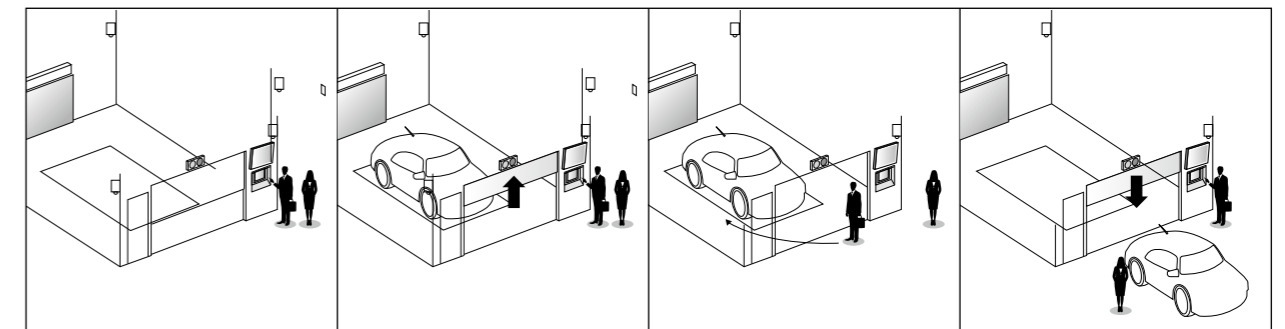
運転者は乗降室前に停車し、同乗者を降車させます。  
運転者は入庫予約を行います。

入庫バレットが乗降室に到着後、出入口扉が自動で開きます。

運転者は車両を定位置に停車させ、出入口扉から退出します。  
運転者は操作盤に表示される無人確認入力ボタンを押すことで車内および場内に人が残っていないことを入力します。

運転者は安全確認用モニターで場の安全を確認して出入口扉を閉鎖します。

### 出庫フロー



運転者は出庫予約を行います。

出庫バレットが乗降室に到着後、出入口扉が自動で開きます。

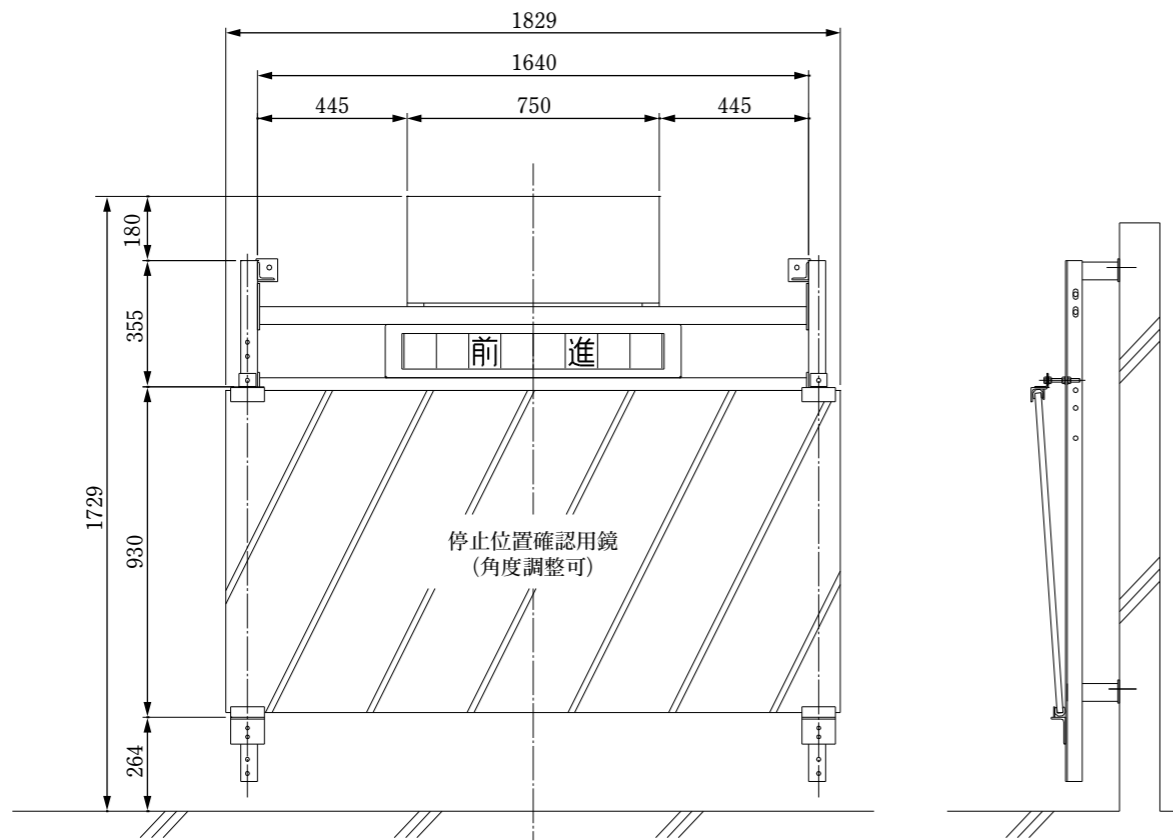
運転者は乗降室に入り、車両を退出します。

同乗者は乗降室から車両退出後、乗車します。  
運転者は安全確認用モニターで場の安全を確認して出入口扉を閉鎖します。

※上記設備構成、入出庫フローは一例です。具体的な運用方法についてはご相談ください。

## 入庫指示灯

外観



表示部	LED切り替え表示
本体	鋼材製
停止位置確認用鏡	ステンレス製

※形状・寸法は予告無しに変更する場合があります。

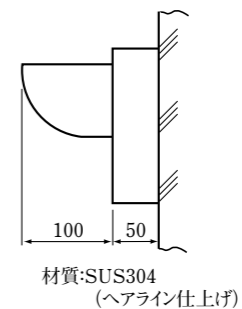
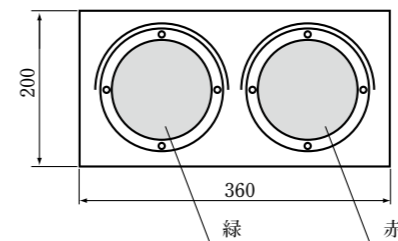
表示内容

状態	表示内容	表示色	状態	表示内容	表示色
車両進入可能時 (静止表示)	前進	緑	車両進入 右寄り時 (点滅表示→ 左スクロール表示)	←←少し左へ←← 寄ってください	橙 ↕ 緑
定位置停止時 (静止表示)	停車	赤	車両進入 左寄り時 (点滅表示→ 右スクロール表示)	→→少し右へ→→ 寄ってください	橙 ↕ 緑
定位置停止超過時 (静止表示)	後退	橙			

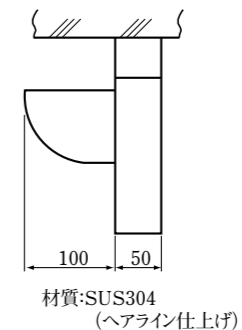
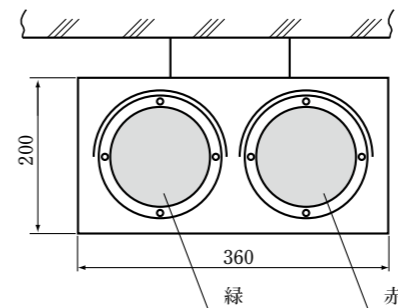
## 入庫管制灯

駐車場内へ車を誘導する表示灯です。

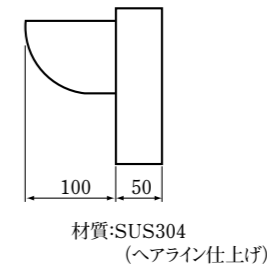
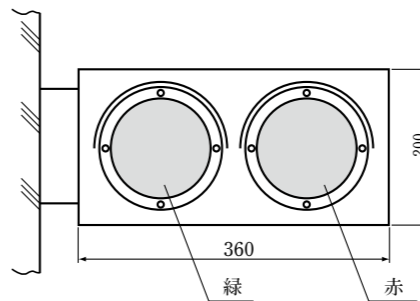
背面取付型(標準)



天井取付型(オプション)



側面取付型(オプション)



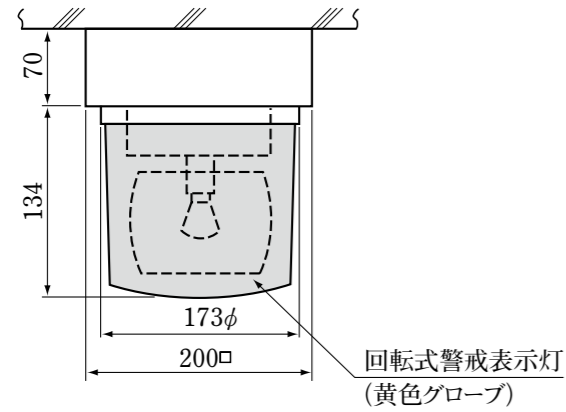
オプション仕様  
1.天井取付型、側面取付型は、両面型にも変更できます。  
2.壁埋込型も可能です。

※形状・寸法は予告無しに変更する場合があります。

## 出庫警戒灯

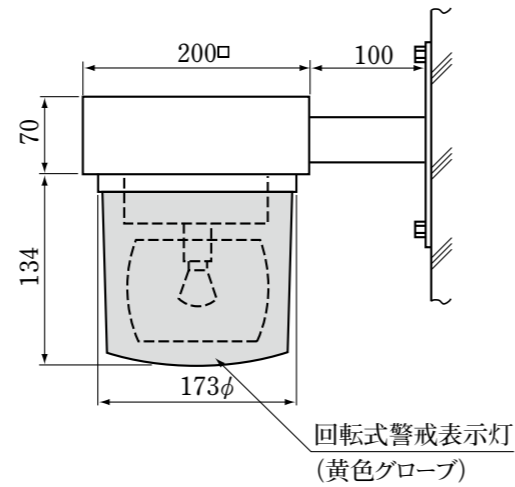
歩行者又は一般通行車両に注意を行うための表示灯です。型式により音声装置の場所が異なります。

### 天井取付型



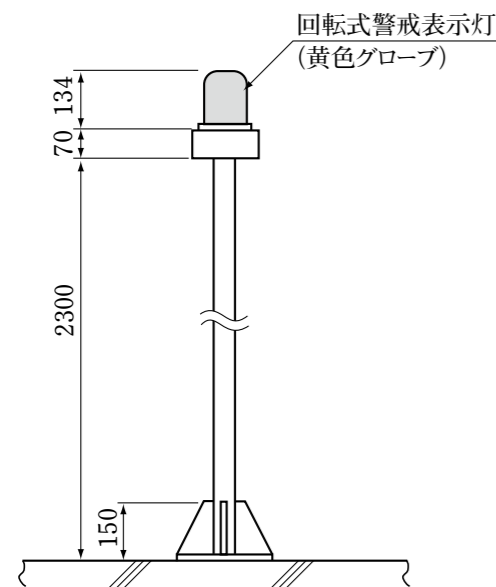
材質:SUS304(ヘアライン仕上げ)

### 壁取付型



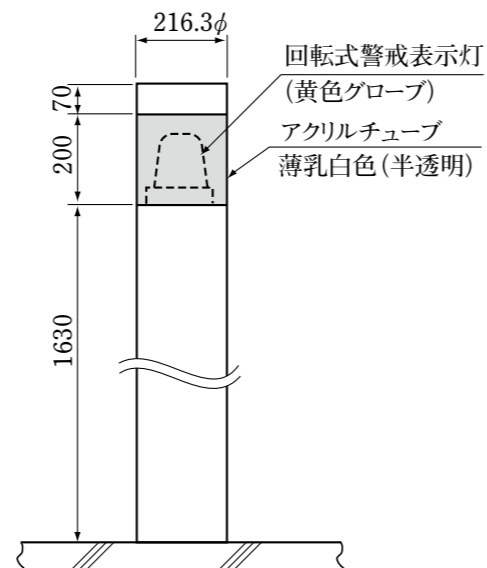
材質:SUS304(ヘアライン仕上げ)

### ポール自立型



警戒灯材質:SUS304(ヘアライン仕上げ)  
ポール材質:SGP80A(銀色塗装)

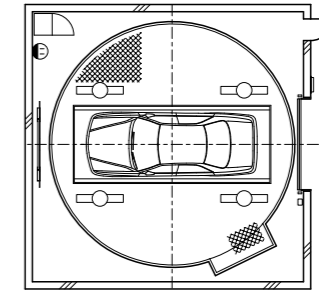
### 円筒自立型(オプション)



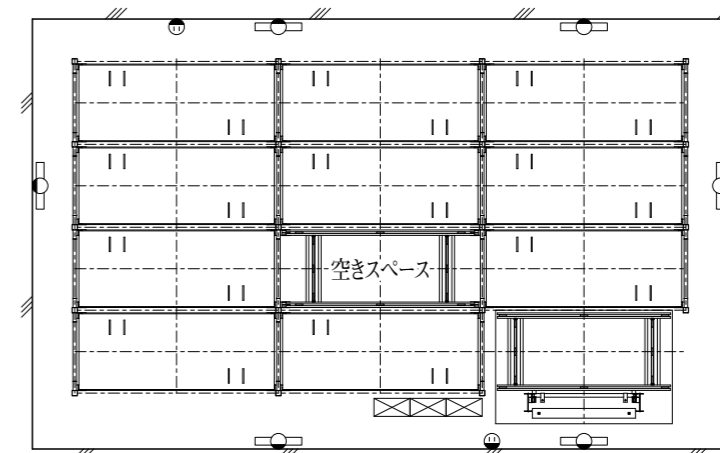
材質:SUS304(ヘアライン仕上げ)

## 照明・コンセント位置(参考)

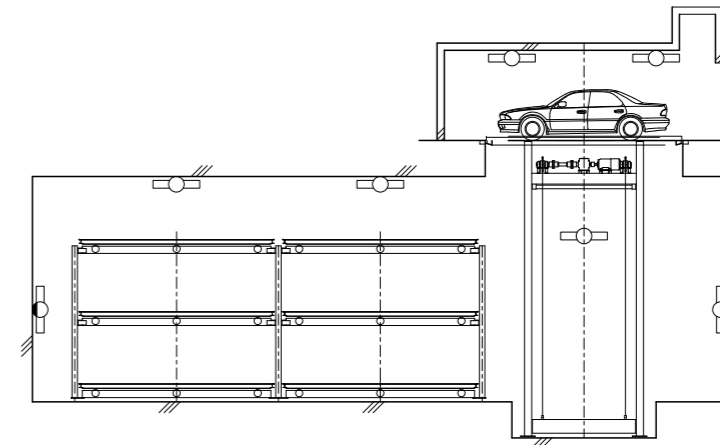
乗降室平面図



駐車室平面図



駐車室側面図



記号	名称	仕様	備考	所掌
☐	蛍光灯	LED (2-32W)	天井・壁面 取付	(電気工事)
●	コンセント	100V15A 2PE付,防滴	取付高さ H=650	(電気工事)

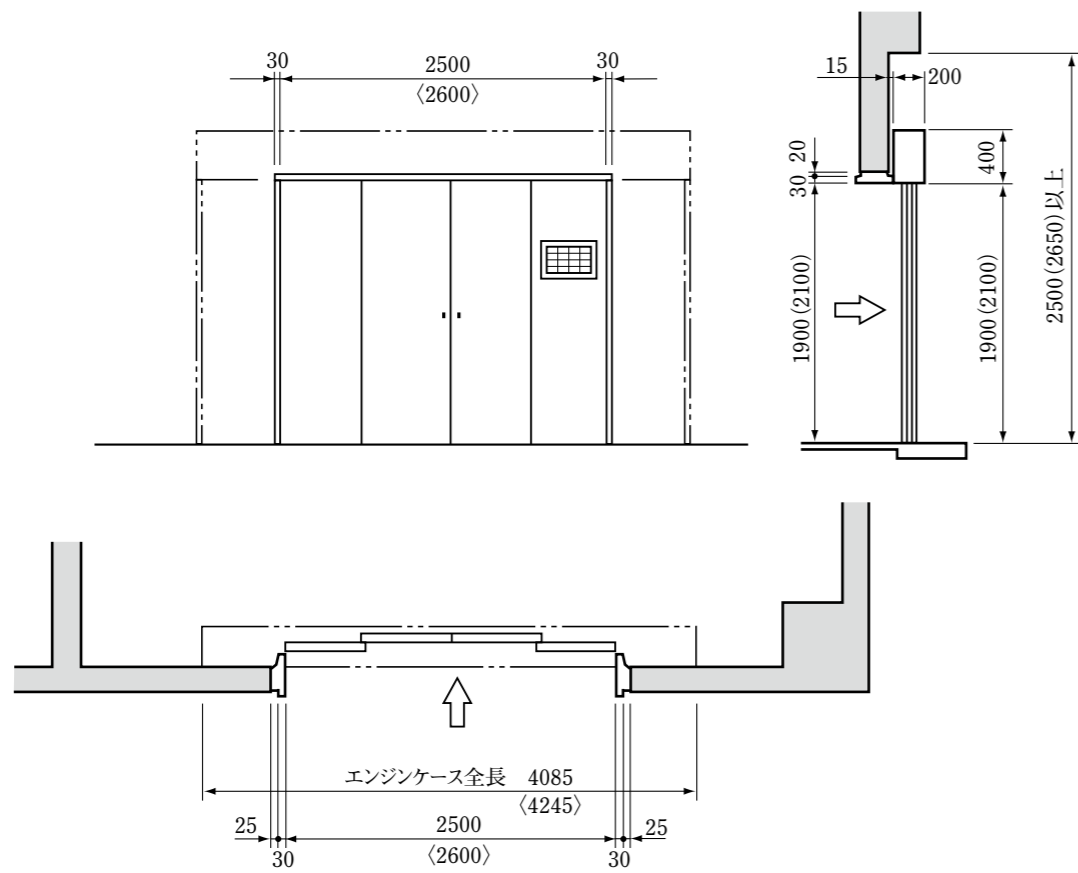
注1) 本工事は駐車場工事とは別途工事となります。  
注2) 照明・コンセント類はメンテナンス時に必要となりますので設置願います。

※仕様・寸法は予告無しに変更する場合があります。

※形状・寸法は予告無しに変更する場合があります。



## 扉(両引4枚扉)



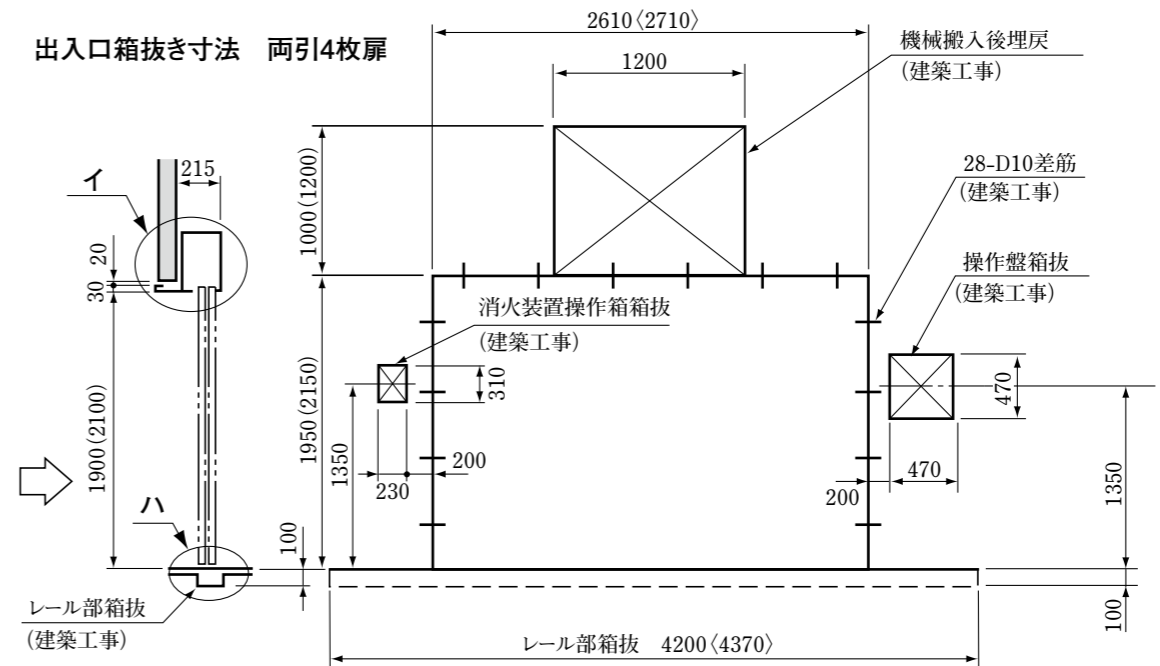
**備考**

- 1. ( )内寸法はハイルーフ車用の場合を示します。〈 〉内寸法はLLシリーズを示します。
- 2. 上下開閉扉以外に、非常脱出扉を設ける必要があります。

鋼製電動両引4枚扉	<p>鋼製電動式 オイルペイント刷毛塗</p> <p>三方枠:鋼製</p> <p>寸法 幅:2,500〈2,600〉mm 高さ:1,900mm(普通車・ミッドルーフ車)</p> <p>幅:2,500〈2,600〉mm 高さ:2,100mm(ハイルーフ車)</p> <p>注:材質をステンレスにする事もできます。(オプション)</p>
非常脱出扉	<p><b>弊社所掌外工事</b></p> <p>鋼製 オイルペイント刷毛塗</p> <p>寸法 幅:780mm 高さ:2,100mm</p> <p>乗降室に1箇所/基設置(特定防火設備)</p> <p>ドアチェック取付(常時閉)、内側からのみ開きます</p> <p>扉内側上部に避難口誘導灯を設置が必要です(電気工事)</p>

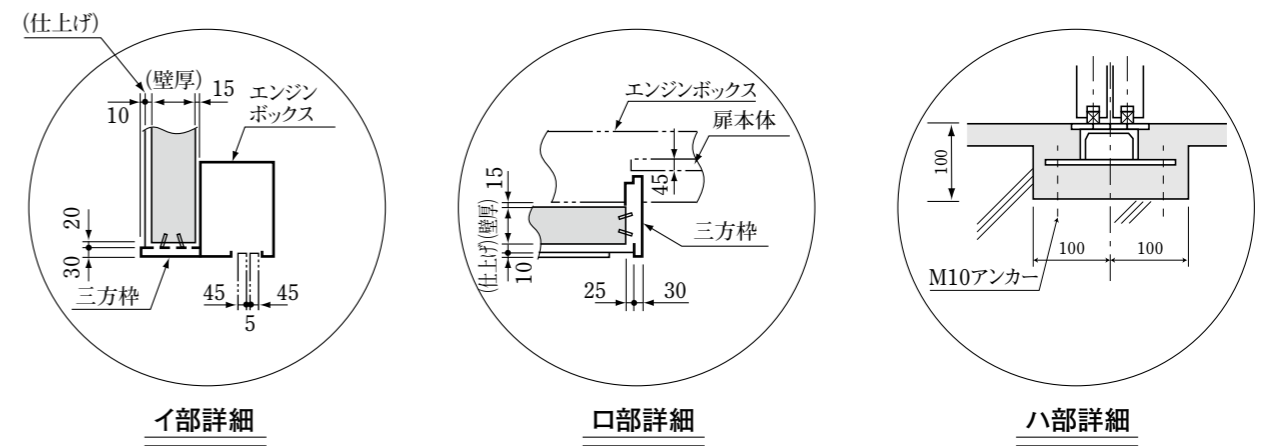
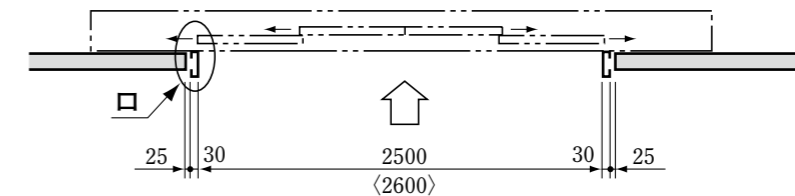
上記以外の扉や本図どおりに納まらない場合は、お問い合わせ下さい。

※仕様・寸法は予告無しに変更する場合があります。



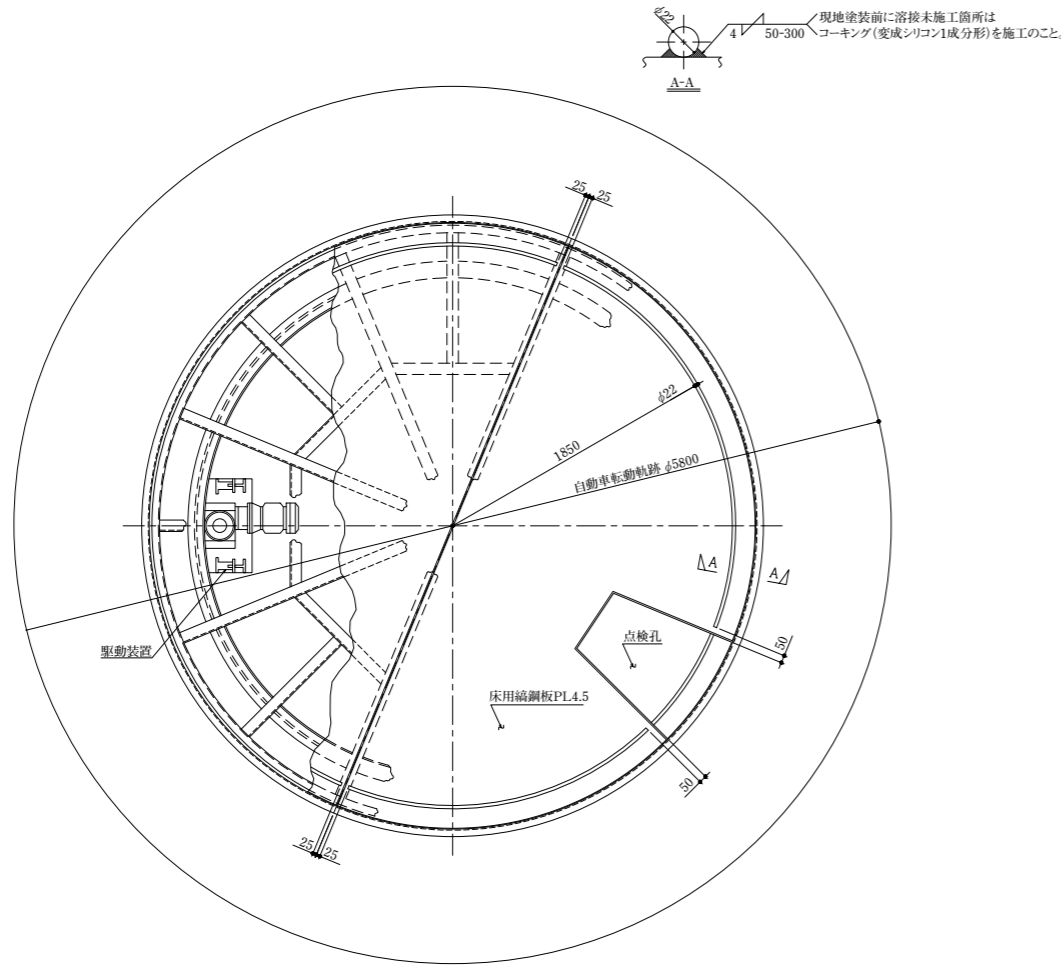
**備考**

- 1. ( )内寸法はハイルーフ車用の場合を示します。〈 〉内寸法はLLシリーズを示します。

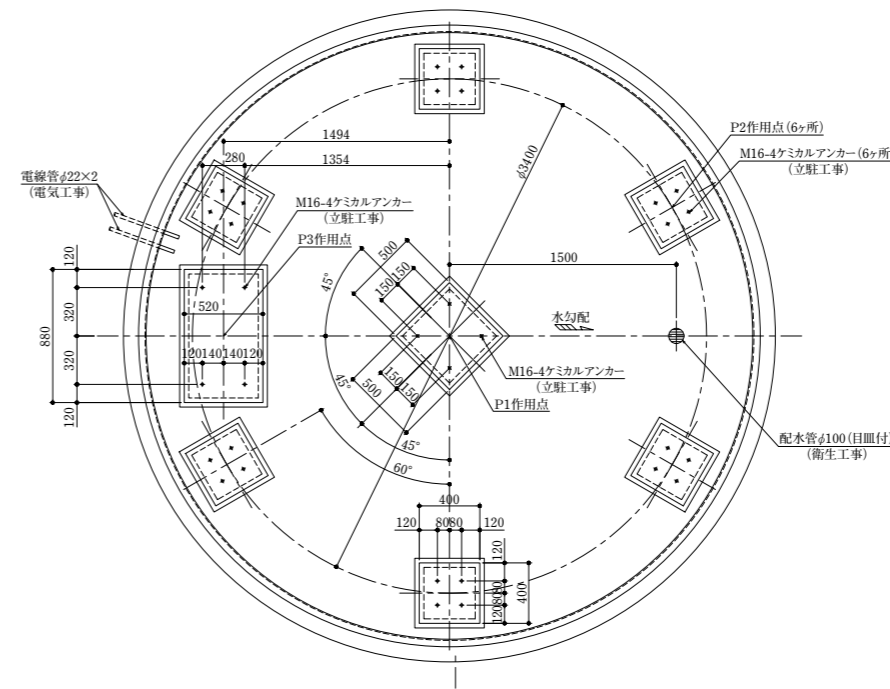


上記以外の扉や本図どおりに納まらない場合は、お問い合わせ下さい。

## ターンテーブル外形図 TT40型



## ターンテーブルピット・荷重図



仕様	
形式	特TT40型
対応車種	中型専用
積載荷重	2,500kg
旋回荷重	2,500kg
回転速度	50Hz-約1.8rpm 60Hz-約2.2rpm
駆動方式	フリクションドライブ式
電動機	0.75KW 4P 1台
操作方法	2点押釦(左回転、右回転)
電源	200V 50Hzまたは220V 60Hz

備考：1. バック車等、重量車両対応もご用意(オプション)

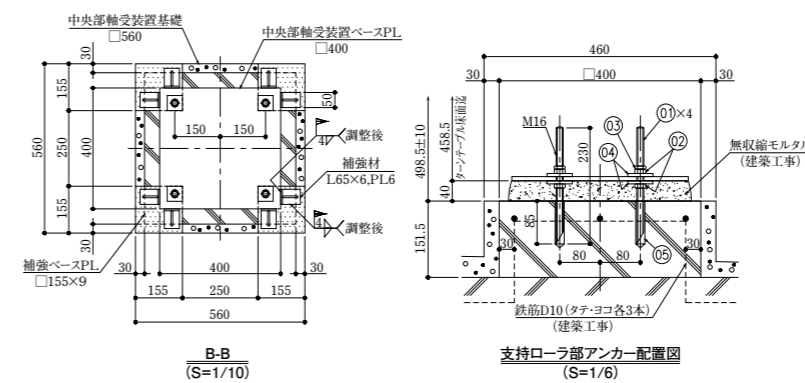
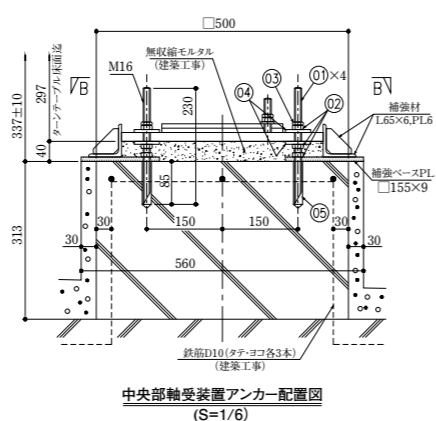
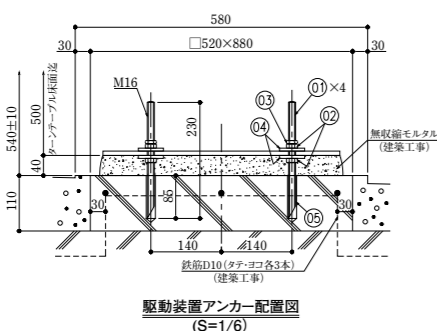
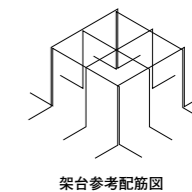
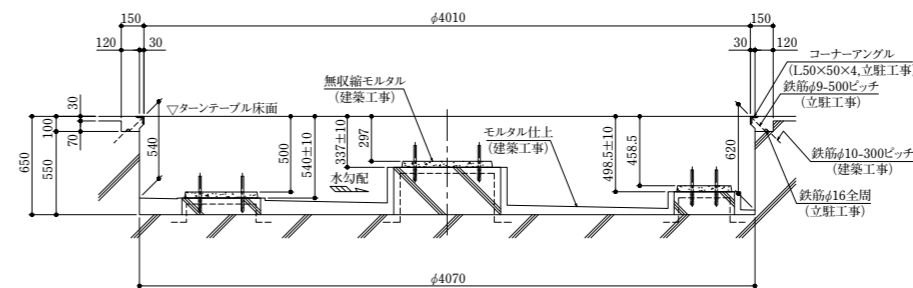
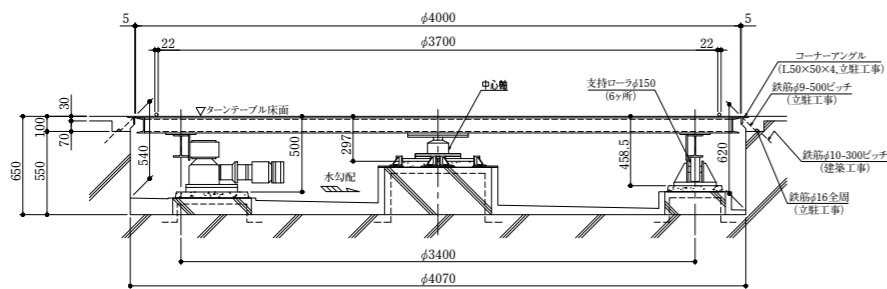
ターンテーブル荷重表 単位:KN

種類	作用点		
	P1 中央部	P2 支持ローラ部	P3 駆動装置部
鉛直	20.6	14.7	3.9
水平	4.5	—	2.5

備考：1. 支持ローラ部の荷重は1ヶ所にかかる荷重を示します

05	ケミカル材M16 AP-16S	—	32			
04	角座金 □50×6×M16	SS400	64			
03	六角ナット 3種中M16	SS400	32			
02	六角ナット 1種中M16	SS400	64			
01	アンカーボルトM16×230	SS400	32			

番号	名称	材料	常予		記事
			1個	1基個数	

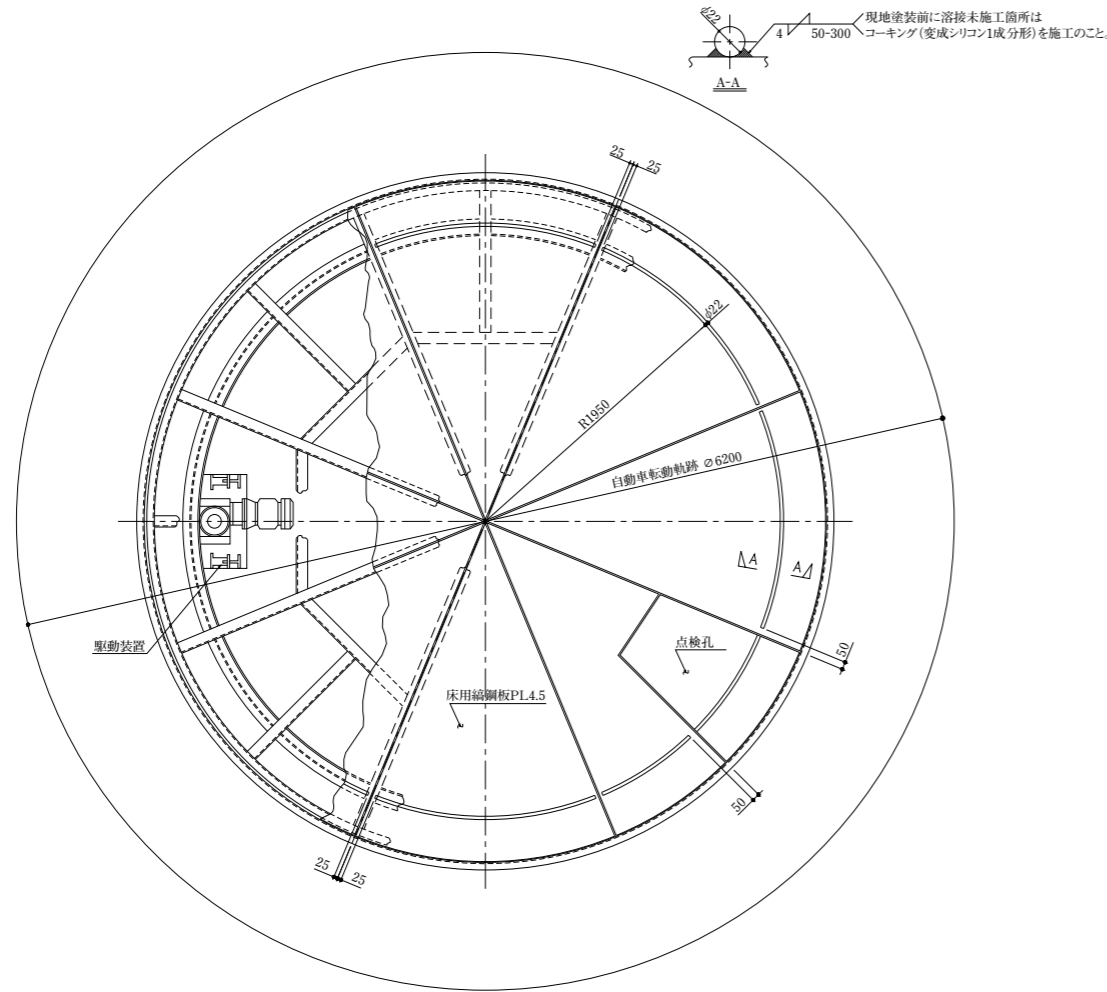


**注意事項 (建築工事)**

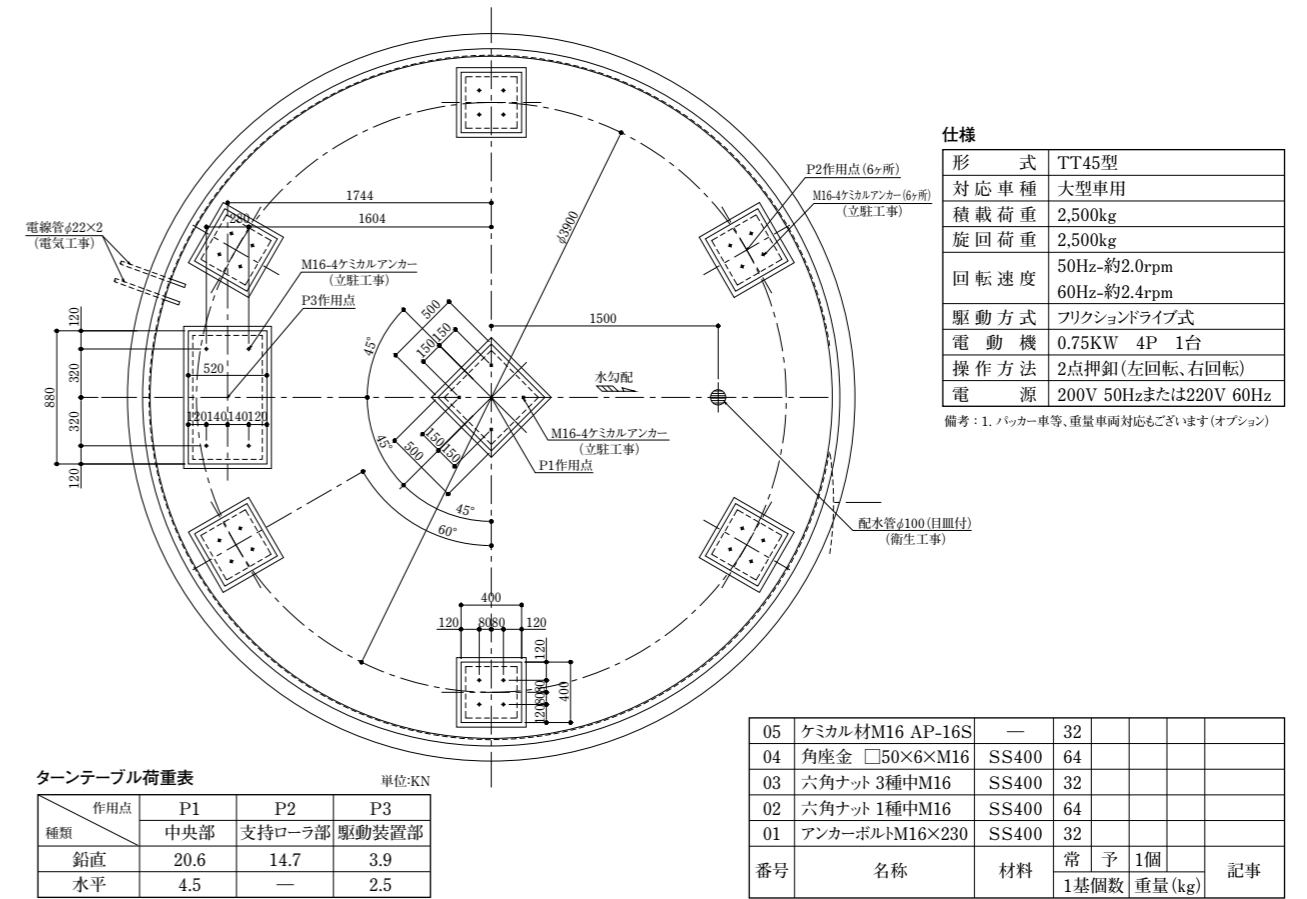
- コンクリート圧縮強度は、 $F_c = 21N/mm^2$ 以上として下さい。(後施工アンカー設計要件)
- ターンテーブル側面の躯体は、ターンテーブルとの接合を避けるため、モルタル仕上げ等にて $\pm 0$ 精度を確保願います。
- 各架台レベル精度は $\pm 10$ で施工願います。



## ターンテーブル外形図 TT45型



## ターンテーブルピット・荷重図



仕様	
形式	TT45型
対応車種	大型車用
積載荷重	2,500kg
旋回荷重	2,500kg
回転速度	50Hz-約2.0rpm 60Hz-約2.4rpm
駆動方式	フリクションドライブ式
電動機	0.75KW 4P 1台
操作方法	2点押釦(左回転、右回転)
電源	200V 50Hzまたは220V 60Hz

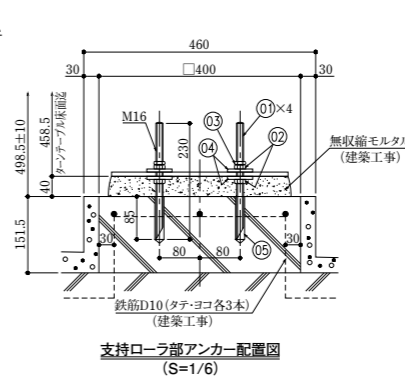
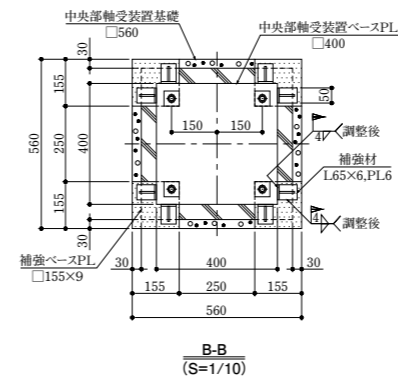
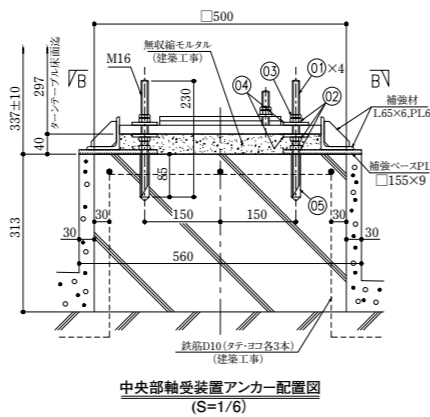
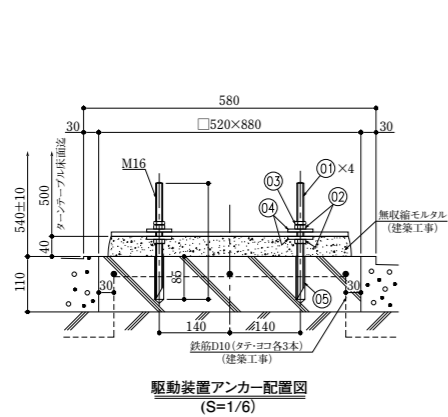
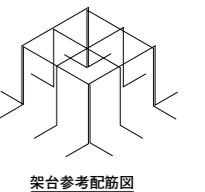
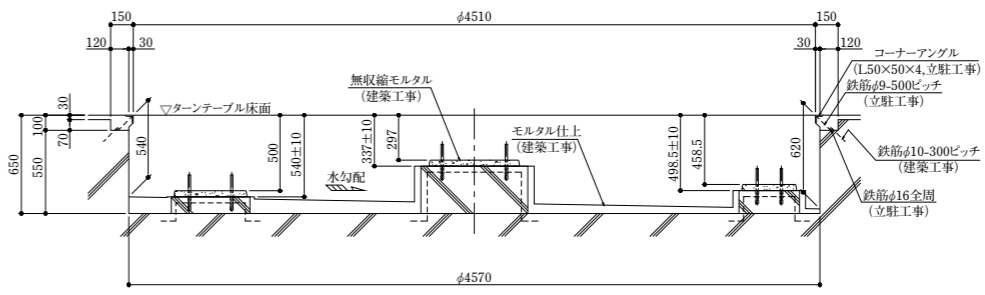
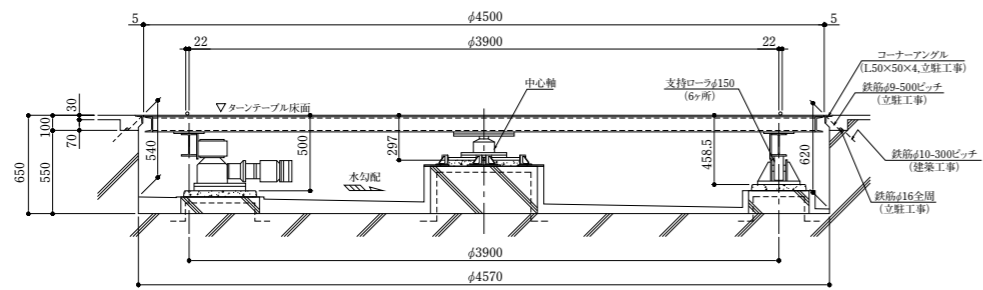
備考: 1. パッカー車等、重量車両対応もご用意します(オプション)

種類	作用点		
	中央部	支持ローラ部	駆動装置部
鉛直	20.6	14.7	3.9
水平	4.5	—	2.5

単位:KN

番号	名称	材料	1個		記事
			常予	1基個数	
05	ケミカル材M16 AP-16S	—	32		
04	角座金 □50×6×M16	SS400	64		
03	六角ナット 3種中M16	SS400	64		
02	六角ナット 1種中M16	SS400	32		
01	アンカーボルトM16×230	SS400	32		

備考: 1. 支持ローラ部の荷重は1ヶ所にかかる荷重を示します



**注意事項(建築工事)**

1. コンクリート圧縮強度は、 $F_c=21N/mm^2$ 以上として下さい。(後施工アンカー設計要件)
2. ターンテーブル側面の躯体は、ターンテーブルとの接離を避けるため、モルタル仕上げ等にて+0精度を確保願います。
3. 各架台レベル精度は±10で施工願います。

## 消火設備(二酸化炭素ガス放出方式)

### 消火設備付設の義務

立体駐車設備には、消防法施行令第13条の1の規定により消火設備の設置が義務づけられています。(ただし、収容台数10台未満は除かれます。)法定の消火設備には、水噴霧、泡、不活性ガス(二酸化炭素、窒素等)、ハロゲン化物、粉末の各消火設備があります。ここでは二酸化炭素ガス消火設備を挙げさせていただきます。原則としてこの設備は弊社の施工範囲外ですが、ご参考までに、その概要につき説明致します。

### 二酸化炭素ガス消火設備の概要

#### 1) 防護区画

乗降室と駐車室を合わせ1防護区画とします。

#### 2) 貯蔵ガス量

貯蔵ガスは高圧ガス取締法規定ボンベに封入し、駐車室外に設けられたボンベ室に格納します。貯蔵ガスの必要量は下記によります。

#### (a) 必要ガス量

$$W(\text{kg}) = K \times V$$

(開口部があるときには、上記にさらに  $K' \times A = 5.0A$  を加えて下さい。)

ここに W: 必要ガス量 (kg)

V: 防護区画容積 (m<sup>3</sup>)

駐車室部分、リフト部分および乗降室部分の容積を合計したものが防護区画容積となります。

K: 容積係数(下表参照)

A: 開口部面積 (m<sup>2</sup>)

K': 開口補償係数 (=5.0kg/m<sup>2</sup>)

#### (b) 必要ボンベ数

$$N(\text{本}) = W/w$$

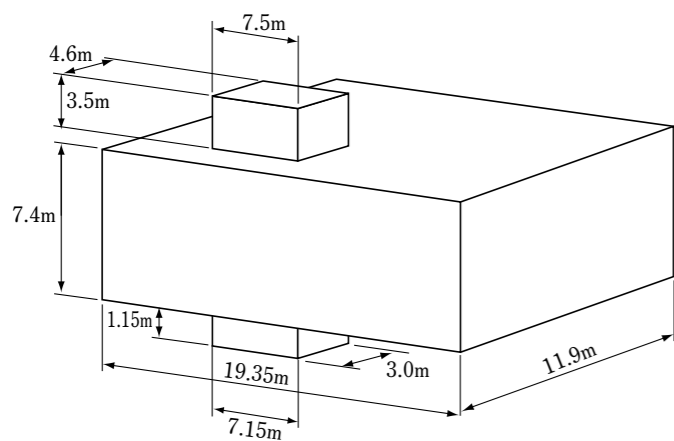
一般的な下記のボンベ (w=55kg) を使用すると w: ボンベ1本あたりのガス量 (kg)

$$N(\text{本}) = W/55 \text{ (小数以下切りあげ)}$$

V:容積 (m <sup>3</sup> )	K:容積係数 (kg/m <sup>3</sup> )	最低限量 (kg)
50未満	1.0	—
50以上150未満	0.9	50
150以上1500未満	0.8	135
1500以上	0.75	1200

#### 必要ボンベ数計算例

3層×3列×5列(UC3型)  
Lシリーズ39台収容の場合  
 $V = (19.35 \times 11.9 \times 7.4) + (7.5 \times 4.6 \times 3.5) + (7.15 \times 3.0 \times 1.15)$   
 $= 1850 \text{ m}^3$   
 $W = 1850 \times 0.75 = 1388 \text{ kg}$   
 $N = 1388 / 55 = 25.3 \text{ 本} \rightarrow 26 \text{ 本}$



#### ボンベの諸元

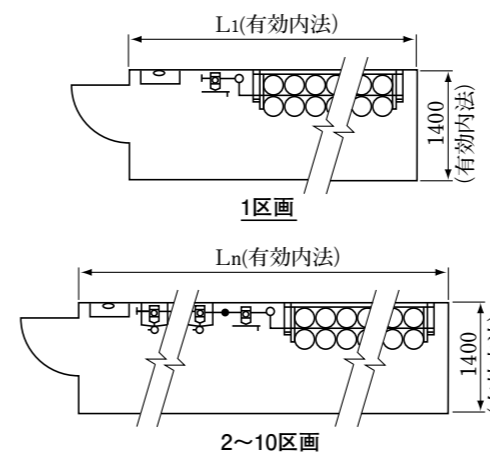
外径 (mm)	高さ (mm)	封入ガス量 (kg)	ボンベ自重 (kg)	全装備重量 (kg)
273φ	1,831	55	77	132

(注) 詳細については消火設備メーカーにお問い合わせ願います。

## 消火設備 ボンベ室(二酸化炭素ガス放出方式)

ボンベ室の寸法は貯蔵ガス量に見合うボンベ数が収納でき、定期点検や配管のためのスペース、出入口等が必要です。ボンベ室は原則として別途お客様にて準備頂きます。標準寸法は下記をご参照願います。

### 2列配置

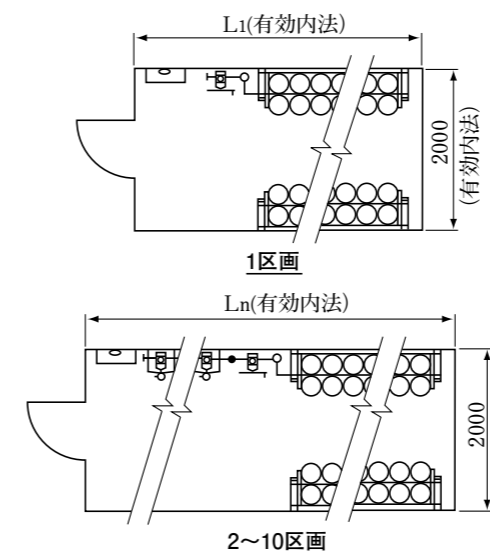


単位:mm

区画数	ボンベ室有効長さ				
	1区画	2区画	3区画	4区画	5区画
ボンベ本数	L1	L2	L3	L4	L5
17-18	3900	4800	5300	5700	6100
19-20	4200	5100	5600	6000	6400
21-22	4500	5400	5900	6300	6700
23-24	5500	6400	6900	7300	7700
25-26	5800	6700	7200	7600	8000
27-28	6100	7000	7500	7900	8300
29-30	6400	7300	7800	8200	8600
31-32	6700	7600	8100	8500	8900
33-34	7000	7900	8400	8800	9200
35-36	7300	8200	8700	9100	9500
37-38	7600	8500	9000	9400	9800
39-40	7900	8800	9300	9700	10100

備考) 名古屋市...+1000、大阪市...+600

### 4列配置



単位:mm

区画数	ボンベ室有効長さ				
	1区画	2区画	3区画	4区画	5区画
ボンベ本数	L1	L2	L3	L4	L5
17-20	2700	3100	3500	3900	4300
21-24	3000	3400	3800	4200	4600
25-28	3300	3700	4100	4500	4900
29-32	3600	4000	4400	4800	5200
33-36	3900	4300	4700	5100	5500
37-40	4200	4600	5000	5400	5800
41-44	4500	4900	5300	5700	6100
45-48	5500	5900	6300	6700	7100
49-52	5800	6200	6600	7000	7400
53-56	6100	6500	6900	7300	7700
57-60	6400	6800	7200	7600	8000
61-64	6700	7100	7500	7900	8300

備考) 名古屋市...+1000、大阪市...+600

#### 備考

- ボンベ室内法有効高さは2,600mmです。
- ボンベの前面がオープンにできる場合は有効内法幅は800mm(2列配置)以上必要です。
- ボンベ室には換気ガラリ(ヒューズ付ダンパー)が必要です。
- ボンベ室には出入口扉最小寸法600mm×1,800mm(防火戸)、照明灯FL40W×1灯以上、コンセント100V用×1口以上が必要です。

## 消火設備(窒素ガス放出方式)

### 消火設備付設の義務

立体駐車設備には、消防法施行令第13条の1の規定により消火設備の設置が義務づけられています。(ただし、収容台数10台未満は除かれます。)法定の消火設備には、水噴霧、泡、不活性ガス(二酸化炭素、窒素等)、ハロゲン化物、粉末の各消火設備があります。ここでは窒素ガス消火設備を挙げさせていただきます。原則としてこの設備は弊社の施工範囲外ですが、ご参考までに、その概要につき説明致します。

### 窒素ガス消火設備の概要

#### 1) 防護区画

乗降室と駐車室を合わせ1防護区画とします。

#### 2) 貯蔵ガス量

貯蔵ガスは高圧ガス取締法規定ボンベに封入し、駐車室外に設けられたボンベ室に格納します。貯蔵ガスの必要量は下記によります。

#### (a) 必要ガス量

$$W(m^3) = 0.52 \times V$$

ここに W: 必要ガス量 (m<sup>3</sup>)

V: 防護区画容積 (m<sup>3</sup>)

駐車室部分、リフト部分および乗降室部分の容積を合計したものが防護区画容積となります。

#### (b) 必要ボンベ数

$$N(\text{本}) = W / 20.3 + 1$$

↑ 加圧容器

#### 備考

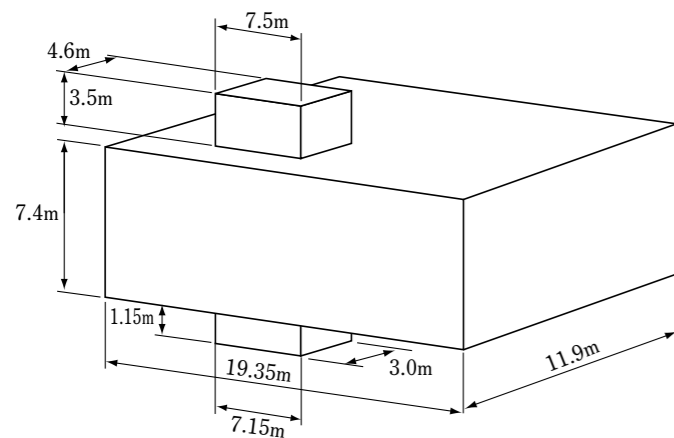
1. 小数点以下は繰上げます。
2. ボンベ1本当たり20.3m<sup>3</sup>の窒素を充填しています。
3. 貯蔵容器の他に加圧容器が必要となります。(加圧容器1本当たり貯蔵容器175本まで対応)

#### 必要ボンベ数計算例

$$V = (19.35 \times 11.9 \times 7.4) + (7.5 \times 4.6 \times 3.5) + (7.15 \times 3.0 \times 1.15) = 1850 \text{ m}^3$$

$$W = 1850 \times 0.52 = 962 \text{ m}^3$$

$$N = 962 / 20.3 + 1 = 48.4 \text{ 本} \rightarrow 49 \text{ 本}$$



### ボンベの諸元

外径 (mm)	高さ (mm)	充填量 (m <sup>3</sup> )	封入ガス量 (kg)	ボンベ自重 (kg)	全装備重量 (kg)
278φ	1,855	20.3	25.4	109	134.4

#### 備考

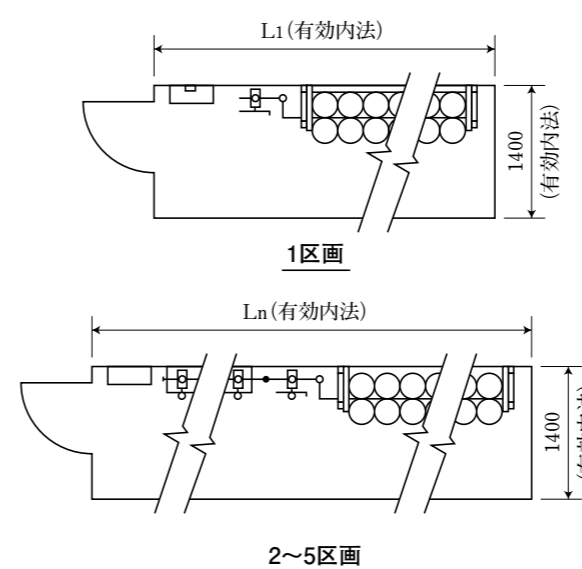
1. 全域放出方式のみで、局所放出方式には使用できません。
2. 原則的に自動起動方式です。  
※区画内に人がいる場合は手動起動方式に切換えられます。
3. 避圧装置の設置が要求されます。
4. 消火剤放出の際、ガラリ等の開口は閉鎖致します(開口補償はありません)。
5. 対象面積(1000m<sup>2</sup>未満)及び容積(3000m<sup>3</sup>未満)に制限があります。  
※用途及び面積・容積等が基準から外れる場合は、(財)日本消防設備安全センターの「評価」を受ける必要があります。
6. N2消火設備を設ける場合には、高圧ガス貯蔵所としての許可願、届出等に関し、所轄官庁との打合せが必要となりますのでご注意ください。  
特に隣地が保安物件の場合、ボンベ室から保安物件の距離(設備距離)を確認する必要があります。  
※高圧ガス貯蔵所…個々のボンベが配管に集結し、1つの系統におけるガス容量にて決まります。
7. 高圧ガス貯蔵所を避けるには、12本以下の複数ブロックに分け、別々の配管系統にする必要がありますが、次ページに示すボンベ室寸法より大きくなりますので、弊社までお問い合わせ下さい。

(注) 詳細については消火設備メーカーにお問い合わせ願います。

## 消火設備 ボンベ室(窒素ガス放出方式)

ボンベ室の寸法は貯蔵ガス量に見合うボンベ数が収納でき、定期点検や配管のためのスペース、出入口等が必要です。ボンベ室は原則として別途お客様にて準備頂きます。標準寸法は下記をご参照願います。

### 2列配置

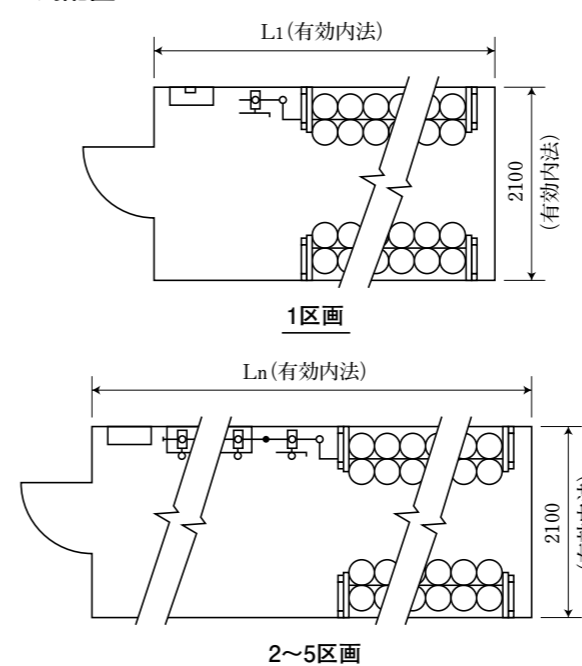


単位:mm

区画数 ボンベ本数	ボンベ室有効長さ				
	1区画 L1	2区画 L2	3区画 L3	4区画 L4	5区画 L5
17:18	3800	4300	4650	5000	5350
19:20	4100	4600	4950	5300	5650
21:22	4800	5000	5650	6000	6350
23:24	5100	5600	5950	6300	6650
25:26	5400	5900	6250	6600	6950
27:28	5700	6200	6550	6900	7250
29:30	6000	6500	6850	7200	7550
31:32	6300	6800	7150	7500	7850
33:34	6600	7100	7450	7800	8150
35:36	6900	7400	7950	8100	8450
37:38	7200	7700	8050	8400	8750
39:40	7500	8000	8350	8700	9050
41:42	8200	8700	9050	9400	9750
43:44	8500	9000	9350	9700	10050
45:46	8800	9300	9650	10000	10350
47:48	9100	9600	9950	10300	10650

備考:名古屋…+1000 大阪市…+600

### 4列配置



単位:mm

区画数 ボンベ本数	ボンベ室有効長さ				
	1区画 L1	2区画 L2	3区画 L3	4区画 L4	5区画 L5
17~20	2600	3100	3450	3800	4150
21~24	2900	3400	3750	4100	4450
25~28	3200	3700	4050	4400	4750
29~32	3500	4000	4350	4700	5050
33~36	3800	4300	4650	5000	5350
37~40	4100	4600	4950	5300	5650
41~44	4800	5300	5650	6000	6350
45~48	5100	5600	5950	6300	6650
49~52	5400	5900	6250	6600	6950
53~56	5700	6200	6550	6900	7250
57~60	6000	6500	6850	7200	7550
61~64	6300	6800	7150	7500	7850
65~68	6600	7100	7450	7800	8150
69~72	6900	7400	7750	8100	8450
73~76	7200	7700	8050	8400	8750
77~80	7500	8000	8350	8700	9050
81~84	8200	8700	9050	9400	9750
85~88	8500	9100	9350	9700	10050
89~92	8800	9300	9700	10000	10350

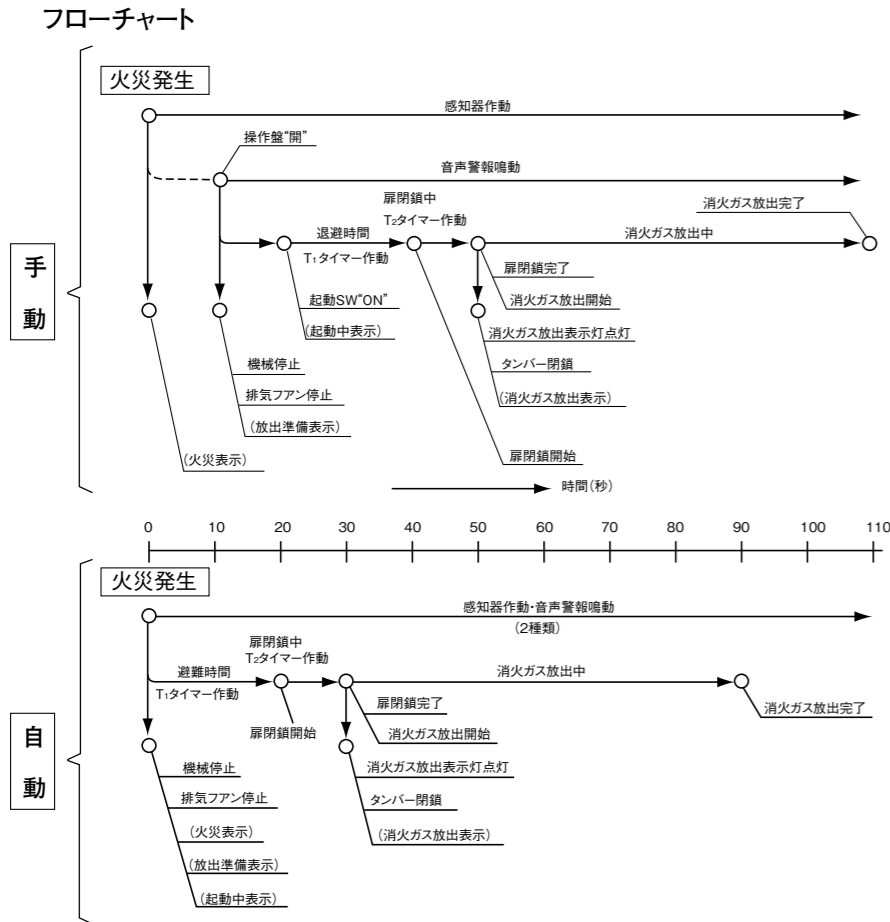
備考:名古屋…+1000 大阪市…+600

#### 備考

1. ボンベ室内有効高さは2,600mmです。
2. ボンベの前面がオープンにできる場合は有効内法幅は800mm(2列配置)以上必要です。
3. ボンベ室には換気ガラリ(ヒューズ付ダンパー)が必要ですが。
4. ボンベ室には出入口扉最小寸法600mm×1,800mm(防火戸)、照明灯FL40W×1灯以上、コンセント100V用×1口以上が必要です。

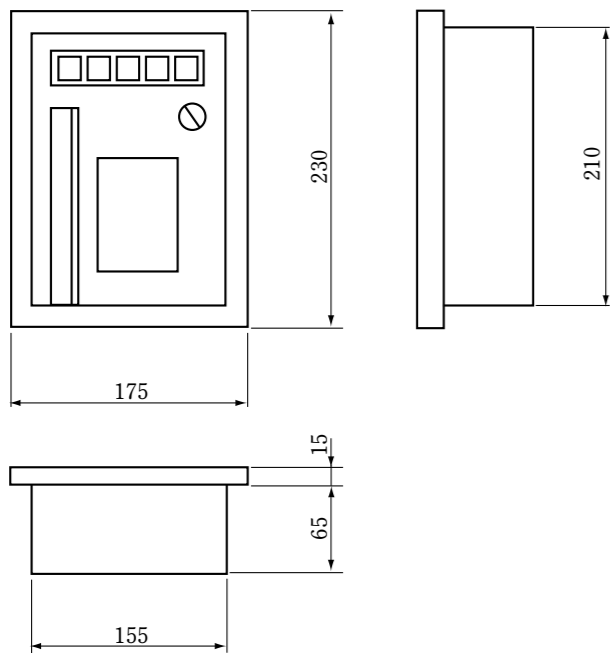
# 付帯設備

## 消火設備フローチャート・操作箱

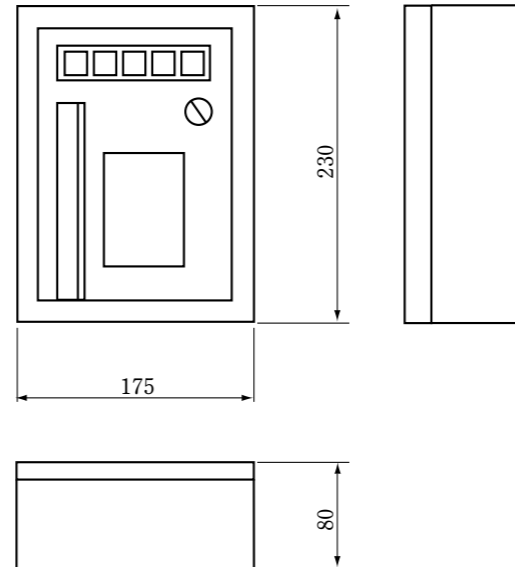


- 備考**
1. 放出方式は原則として手動放出方式とします。
  2. 停電時、扉は電磁トリップにて自動閉鎖します。
  3. 手動時、火災発生→操作蓋“開”、操作蓋“開”→起動SW“ON”はそれぞれ10秒と仮定します。
  4. T<sub>1</sub>、T<sub>2</sub>タイマーは60秒maxを使用します。
  5. T<sub>1</sub>タイマーセット値(退避時間は)は20秒とします。
  6. T<sub>2</sub>タイマーセット値は、10秒とします。
  7. 上記中( )内に表示したフローは、特定行政庁によって必要な場合と不要な場合とがあります。
  8. 自動起動方式は、2種類の感知器が火災信号を受信した時に起動する方式とする必要があります。

操作箱(埋込型)



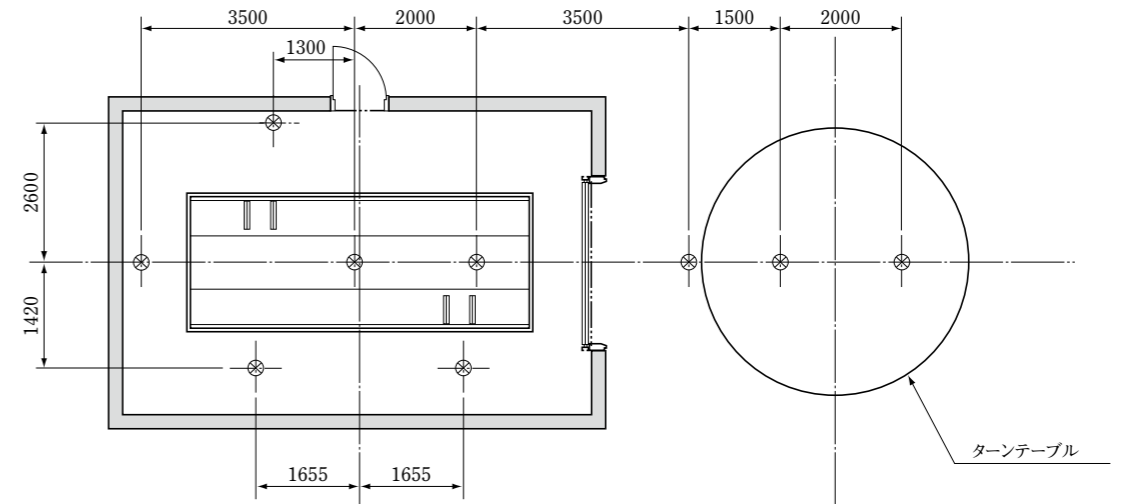
操作箱(壁掛型)



- 備考**
- 操作箱の外装塗装色は消防法施行規則第20条の規定により赤色(マンセル5R4/13)とします。

# 関連資料

## 乗降室仮設用吊り金物配置図(参考)

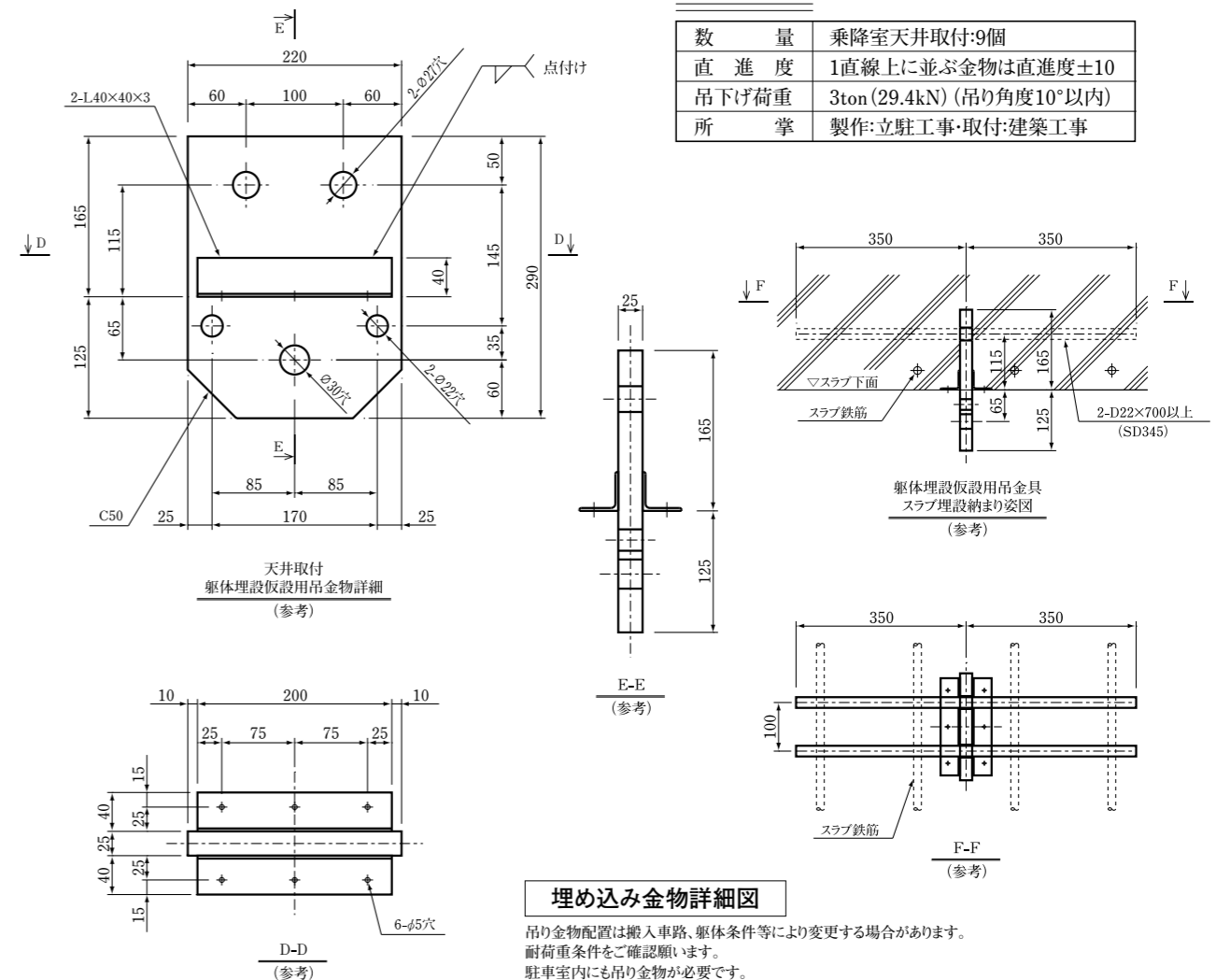


乗降室見上げ図

吊り金物は天井面取り付け  
※駐車室見上げにも盤上やハレットスタッキングシステム上に吊り金物を設置します。

吊り金具配置

数量	乗降室天井取付:9個
直進度	1直線上に並ぶ金物は直進度±10
吊下げ荷重	3ton (29.4kN) (吊り角度10°以内)
所掌	製作:立駐工事 取付:建築工事



# 関連資料

## 標準 工事区分明細表

区分	工事項目	弊社	客先	備考
装置関係	1. パレットの製作・据付工事	○		(TT内蔵型の場合)
	2. リフト装置の製作・据付工事	○		
	3. 駐車室架構・コンベヤ装置の製作・据付工事	○		
	4. 旋回装置の製作・据付工事	○		
	5. 出入口扉、三方枠、敷居の製作・据付工事	○		
	6. 誘導鏡の製作・据付工事	○		
建築関係	1. 出入口扉の開口設置、下部敷居用欠込み設置、差筋取付及びモルタル埋戻し・仕上工事		○	(必要な場合) (必要な場合)
	2. 乗降室出入口扉上部壁面の搬入用開口部設置及び立駐機器搬入後の壁埋戻し工事		○	
	3. 操作盤の箱抜及びモルタル埋戻し・仕上工事		○	
	4. 乗降室スラブ開口部・旋回ピット・格納階リフトピットの造成工事		○	
	5. 乗降室スラブ開口部のコーナーアングル取付用差筋及びモルタル埋戻し・仕上工事		○	
	6. 乗降室スラブ開口部のコーナーアングル製作・取付工事	○		
	7. 非常脱出扉の設置工事(ホテル錠・クローザー付)		○	
	8. 非常脱出用タラップ、ハッチ(ホテル錠・クローザー付)ハッチ上部の手摺の設置工事		○	
	9. リフト及び駐車室架構取付用ケミカルアンカーの製作・据付工事	○		
	10. リフト及び駐車室架構取付用アンカーの無収縮ベースモルタル仕上工事		○	
	11. 旋回装置取付用ケミカルアンカーの製作・据付工事	○		
	12. 旋回装置取付用アンカーの無収縮ベースモルタル仕上工事		○	
	13. リフト及び駐車室架構脚部の機械基礎設置工事		○	
	14. 換気設備工事(換気設備製作、配線、配管、結線、動力盤設置)		○	
	15. 排水設備工事(リフトピット内とも)		○	
	16. 躯体埋設仮設用吊金物の製作	○		
	17. 鉄骨取付仮設用吊金物の製作		○	
	18. 仮設用吊金物の取付(鉄骨取付・躯体埋設とも/埋設用墨出し含む)		○	
	19. 上記金物取付用鉄骨の製作・取付		○	
	20. 立駐出入口前の防火シャッターの製作・据付工事		○	
	21. 躯体計測(出来形・精度確認)		○	
	22. 乗降室の路面仕上工事		○	
	23. 乗降室内装工事		○	
	立駐除外工事			
電気関係	1. 電気機器の製作、取付工事(リフト制御盤、駐車室制御盤) 2. 一次側電源工事 (リフト制御盤及び駐車室制御盤への結線まで) (a)動力用(リフト) 3φ 200V/220V 36kVA(外置TTあり) 31kVA(外置TTなし) リフト制御盤(乗降室)へ供給 (b)動力用(駐車室コンベヤ) 3φ 200V/220V ※kVA 駐車室制御盤(駐車室)へ供給 (c)操作用(リフト) 1φ 100V 3kVA リフト制御盤(乗降室)へ供給	○	○	容量は1基の場合 ※部は29ページ参照のこと

区分	工事項目	弊社	客先	備考
電気関係	3. リフト制御盤及び駐車室制御盤以降の二次側電気工事(露出配管)	○		(必要な場合) (オプション)
	4. 本体操作盤の製作・据付工事(露出配管、配線、結線とも)	○		
	5. 光電管装置の製作・取付工事(露出配管、配線、結線とも) (a) 入口部非常停止用 (b) 車高検出用 (c) 車前後部及び幅検出用	○		
	6. 入庫管制灯の製作・据付工事(配線、結線とも)	○	○	
	7. 出庫警戒灯の製作・据付工事(配線、結線とも)	○	○	
	8. 入庫指示灯の製作・据付工事(露出配管、配線、結線とも)	○	○	
	9. 車路管制工事一式		○	
	10. 場内確認用カメラ/モニターの製作・据付工事(露出配管、配線、結線とも)	○	○	
	11. 乗降室緊急停止用押ボタンの製作・据付工事(露出配管、配線、結線とも)	○	○	
	12. 工所用電力設備(立駐着工より立駐への本受電までの期間) (発電機が必要な場合はその手配及び燃料も含む) (a)動力用 3φ 200V/220V 30kVA (b)照明用 1φ 100V 5kVA		○	
	13. 工所用仮設照明設備		○	
	14. 工所用及び試運転用電力料金(引渡しまで)		○	
	15. アース線のリフト制御盤及び駐車室制御盤への結線		○	
	16. 電気関係埋設配管工事 (a)乗降室～ターンテーブル間		○	
	17. スリーブ埋設工事(抜取工事含む) (a)乗降室～入庫管制灯間 (b)乗降室～駐車室間 (c)乗降室～場内確認用モニター間		○	
	18. 乗降室及び駐車室の照明工事 (照明用分電盤、配線、配管、結線、駐車室用スイッチとも)		○	
	19. 乗降室照明スイッチの接点供給	○		
	20. コンセント設置工事 (a)乗降室に1箇所/基 (b)駐車室に2箇所/基		○	
	21. 遠隔監視システムの製作・取付工事	○		
	22. 遠隔監視システム用光回線の配管工事 (分岐点～ユニットコンピュータ盤まで)		○	
	23. 駐車室室内の閉じ込め時通報用携帯電話の接続環境の確保		○	
	24. 避難口誘導灯の製作・設置工事(電源、配線、配管、結線とも)		○	
	25. 乗降室自動案内放送装置の製作・据付工事	○		
	26. 乗降室無人確認装置の製作・据付工事	○		
	27. 消火装置制御盤から自動火災報知盤(又は警報盤、複合盤)までの配線配管工事(消火設備移報信号用)		○	
	28. 立駐出力報信号の端子供給(2窓)/基	○		
	29. 同上配管配線工事及び警報盤等の窓数確保		○	
	30. 換気設備用電源工事		○	
	31. 地震感知器の製作・取付工事	○		

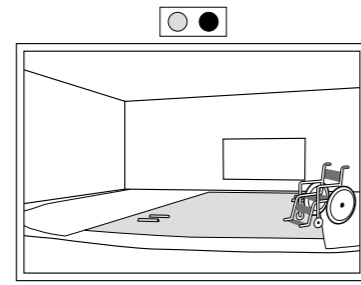




# 車椅子使用者対応型

## 乗降室のフラット化(車停車位置)

スムーズに乗降、移動ができるように乗降室をフラットとしています。



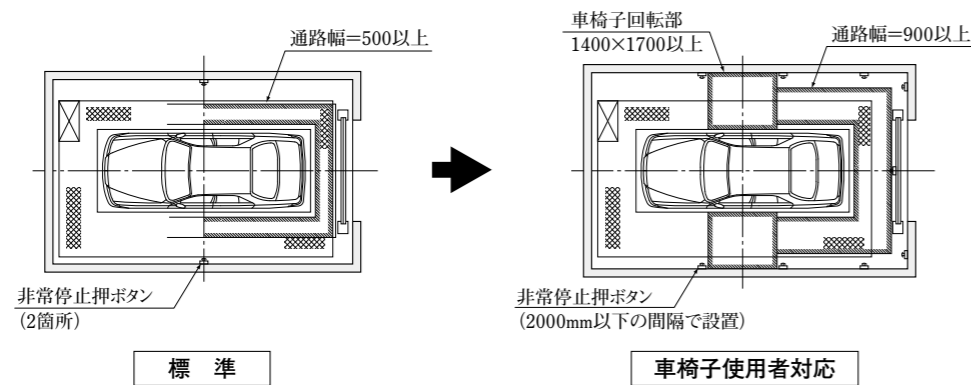
車椅子使用者対応

縁石のないソレットの採用

## 乗降室の通路スペース確保・安全性の確保

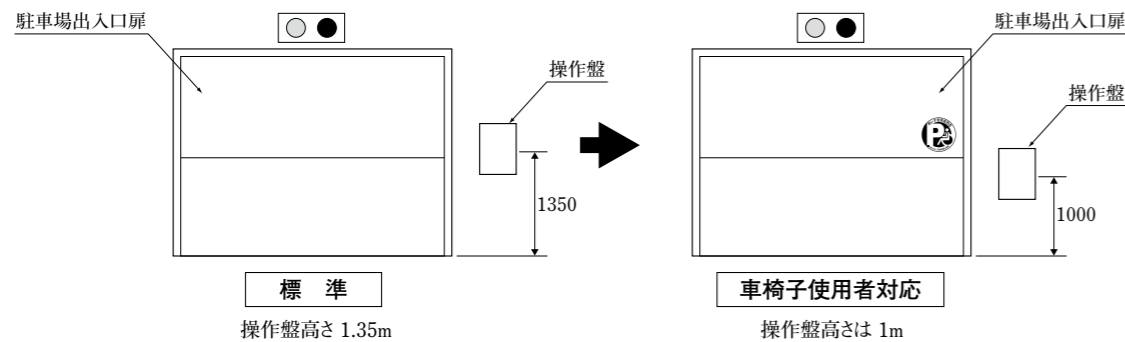
車椅子利用者でも円滑な入・退場ができるように通路幅を900mm以上、車椅子回転部を幅1400mm以上・奥行1700mm以上確保しています。

駐車装置内の非常停止ボタンを2000mm以下の間隔で設置することで安全性を高めています。



## 機械駐車装置の操作

車椅子等の利用者がより操作しやすいように、標準タイプより低い位置に操作盤を設置します。



## 建築工事範囲における認定規定

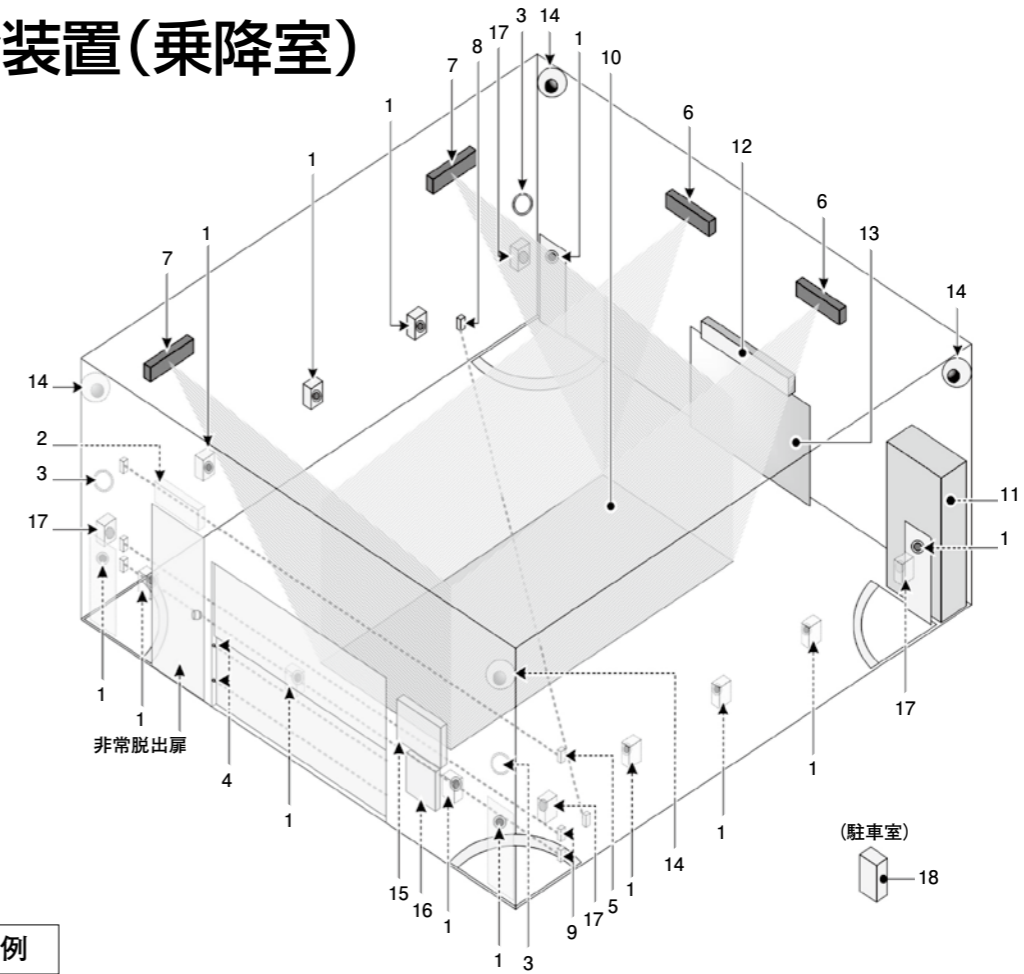
非常脱出扉の幅900mm以上、高さ1900mm以上、段差20mm以下、勾配1/12(傾斜路の高さが160mm以下の場合1/8)以下とし、内側から容易に開けられるよう設置。

機械式駐車装置の出入口付近は段差20mm以下、勾配1/12(傾斜路の高さが160mm以下の場合1/8)以下にて設定。

その他、自治体において個別に定めている場合がありますので、各自治体にお問い合わせ願います。

※仕様・寸法は予告無しに変更する場合があります。

# 安全装置(乗降室)



## 凡例

No.	名称	はたらき
1	非常停止ボタン	非常時にこのボタンを押して、機械を非常停止させます。
2	避難口誘導灯	非常脱出扉のある位置を示します。
3	パッシブセンサ	出入口扉が開いた状態のときに、乗降室内に人など動くものを検知します。
4	三方棒センサ	出入口扉を閉じるときに、出入口扉の下に人や障害物がないか検知します。
5	車高センサ	車高を検知します。
6	車幅センサ	車幅を検知します。
7	車長センサ	車長を検知します。
8	在荷センサ	自動車の有無を検知します。
9	入口部非常停止センサ	何らかの不具合で出入口扉が開いたままになってしまった場合、乗降室の入口部付近に人など動くものがないか検知します。
10	パレット	自動車を載せる台です。自動車を載せた状態で昇降し、棚に収納されます。
11	制御盤	保守員用です。保守員以外は絶対に触らないでください。
12	入庫指示灯	入庫時に自動車をパレット上の停止位置まで誘導するためのランプです。
13	停止位置確認用鏡	入庫時に自動車の停止位置を確認するための鏡です。
14	安全確認用カメラ	乗降室内の無人を確認するためのカメラです。
15	安全確認用モニタ	乗降室内の無人を確認するためのモニタです。
16	操作盤(無人確認入力機能付)	自動車の入出庫のための操作を行うタッチパネル、ボタン等があります。
17	無人確認入力ボタン	安全確認用カメラやモニタが故障したとき、無人確認を行うためのボタンです。
18	地震感知器(オプション)	震度5弱以上の地震を感知すると、機械が自動的に非常停止します。

※建築条件により実際と異なる場合があります。駐車室にも別途安全装置が設置されています。



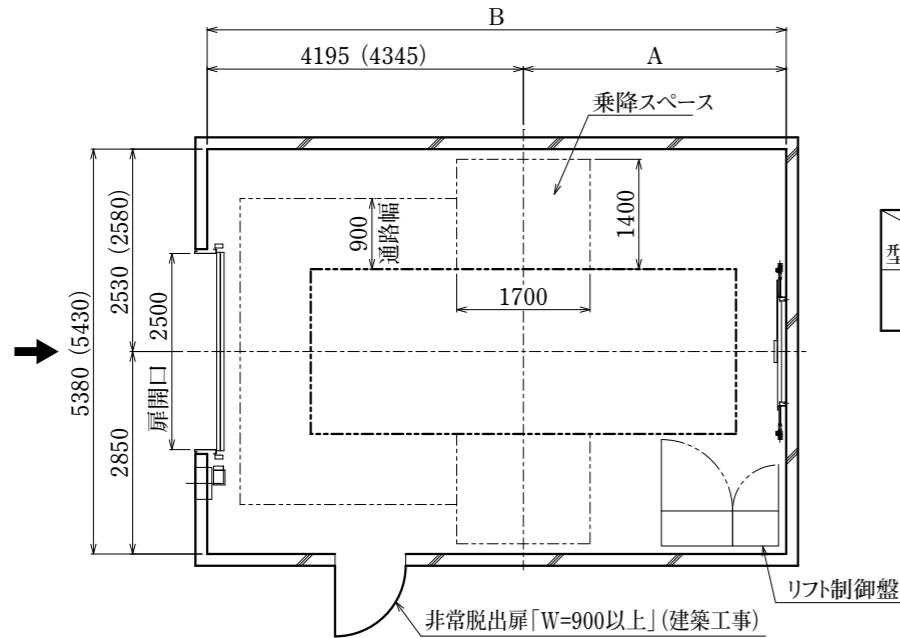
# 車椅子使用者対応型

UK2型

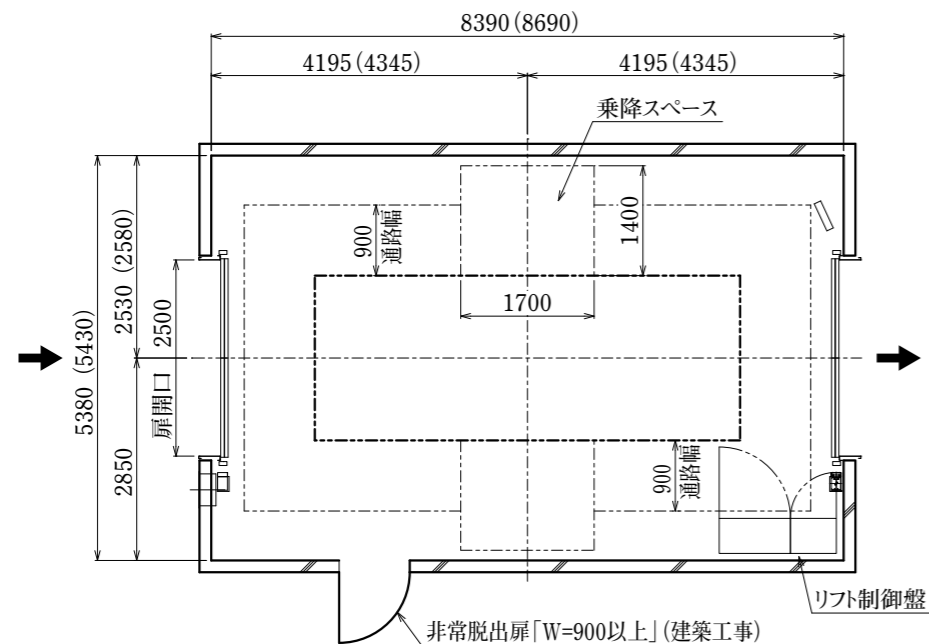
M・Lシリーズ

## 乗降室

外置きターンテーブル  
UK2型



旋回なし通り抜け  
UK2P型



- 注1) 寸法表示は下記によります。  
 カッコなし:Mシリーズ及び各車種共通 ( ) :Lシリーズ  
 記載以外の寸法は、標準型に倣います。  
 2) 本図は、上下開閉2枚扉の場合を示します。扉仕様により必要寸法が異なります。  
 詳細は、付帯設備の扉を参照してください。  
 3) L、Mシリーズ以外の寸法については、お問い合わせください。

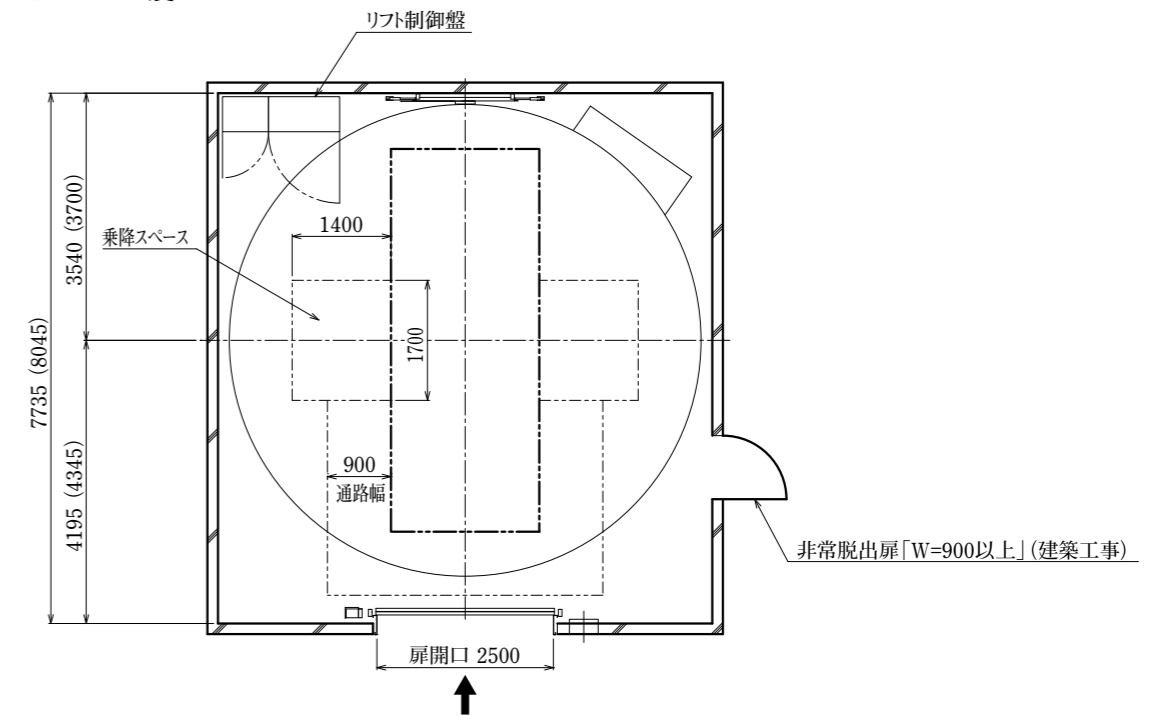
※仕様・寸法は予告無しに変更する場合があります。

UK2型

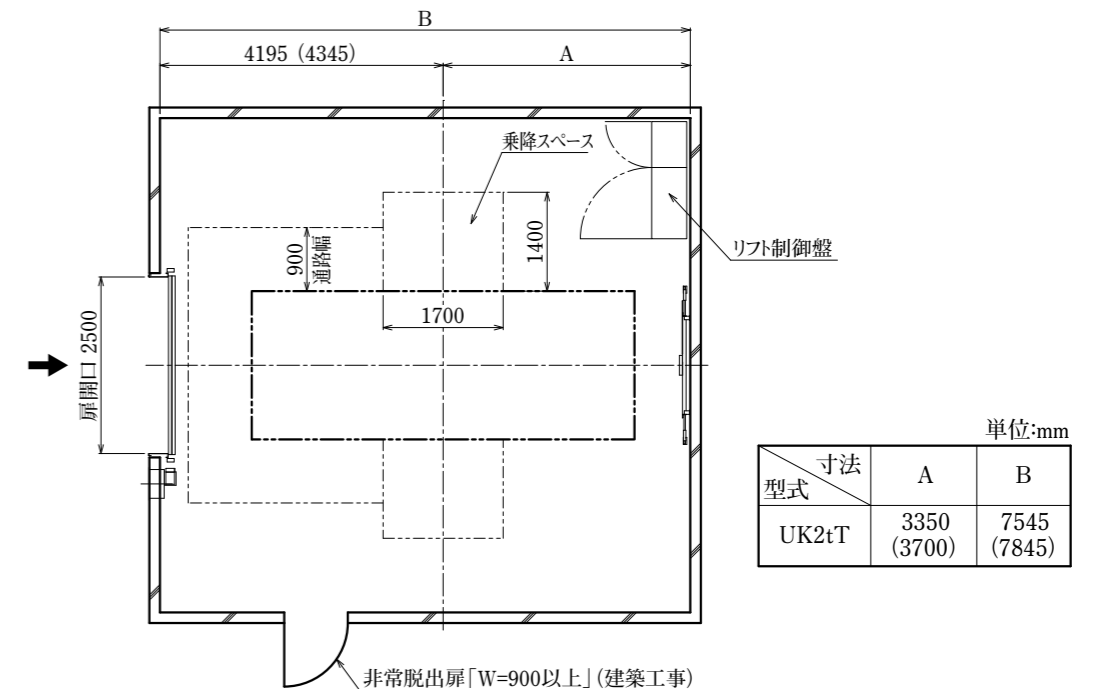
M・Lシリーズ

## 乗降室

内蔵ターンテーブル 90度  
UK2tR型



内蔵ターンテーブル 180度  
UK2tT型

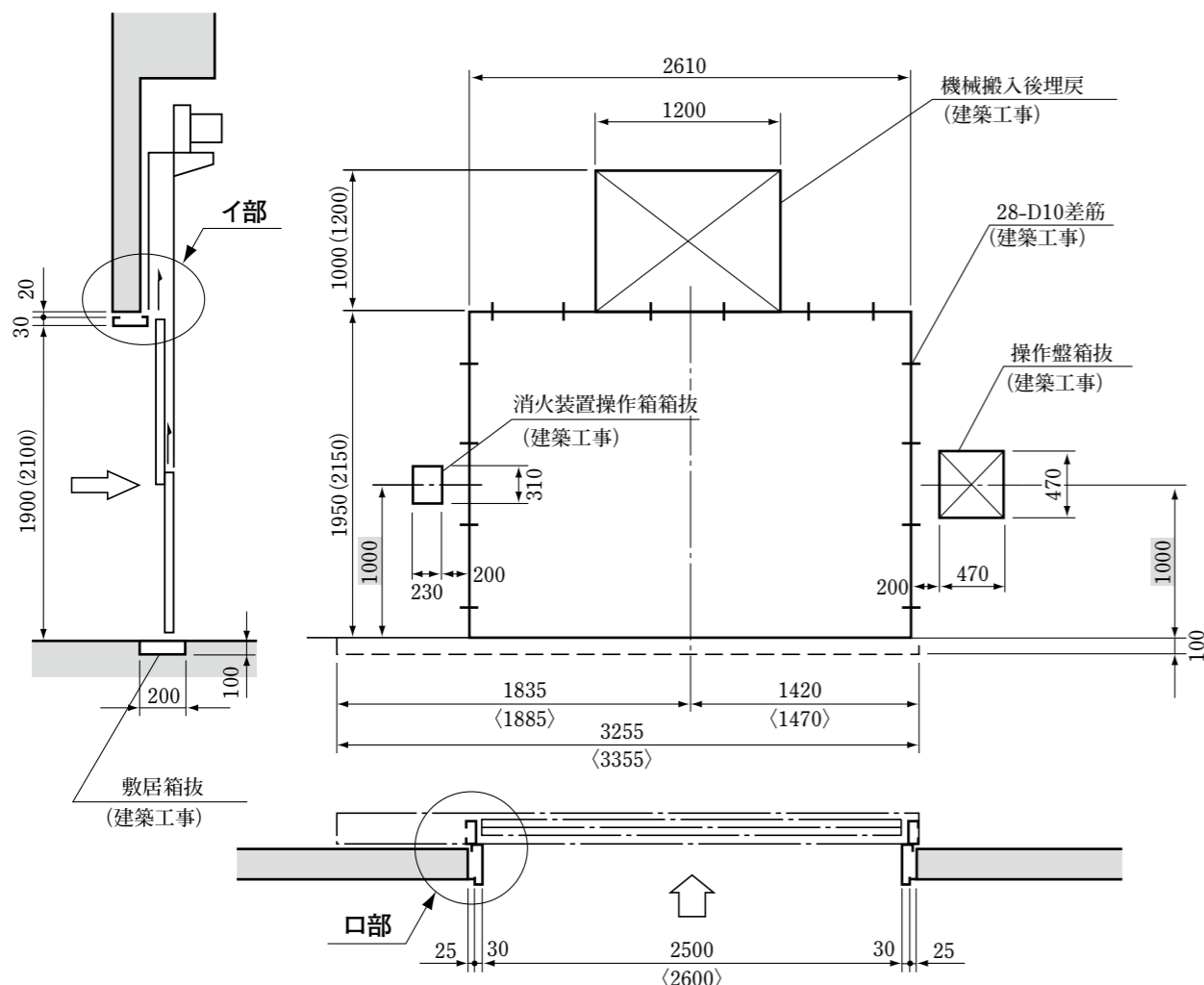


- 注1) 寸法表示は下記によります。  
 カッコなし:Mシリーズ及び各車種共通 ( ) :Lシリーズ  
 記載以外の寸法は、標準型の寸法に倣います。  
 2) 本図は、上下開閉2枚扉の場合を示します。扉仕様により必要寸法が異なります。  
 詳細は、付帯設備の扉を参照してください。  
 3) L、Mシリーズ以外の寸法については、お問い合わせください。

※仕様・寸法は予告無しに変更する場合があります。

## 扉(上下開閉式扉)

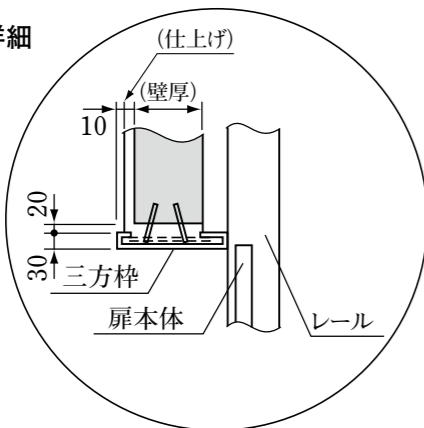
出入口箱抜き寸法



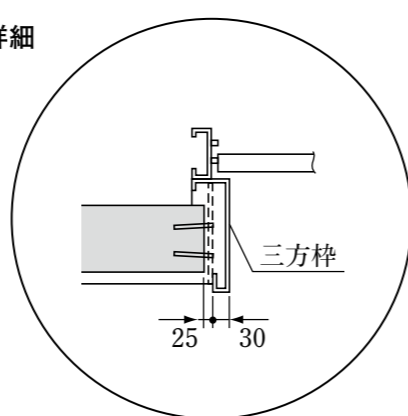
備考

1. ( )内寸法はハイルーフ車用の場合を示します。〈 〉内寸法はLLシリーズを示します。

イ部詳細



口部詳細



上記以外の扉や本図どおりに納まらない場合はお問い合わせ下さい。

※仕様・寸法は予告無しに変更する場合があります。

## 車椅子使用者対応の主な要求事項 (出典: 立体駐車場工業会)

項目	従来の技術基準	車椅子使用者対応の主な要求事項	備考
駐車装置の出入口部	前面空地	自動車2台分の空地を必要とする。	自動車1台分とその左右に車椅子による乗降が容易に行える空地を確保すること。 前面空地とは、駐車場出入口の前面スペースをいう。
	操作盤位置	人および自動車の出入りの状況	人(高齢者・身体障害者等を含む)および自動車の出入りの状況が目視にて確認できる位置。操作面の高さは1000mm程度。 車椅子に座った状態で、容易に操作できる位置とした。
駐車装置の乗降室部	利用者の通路	幅:500mm以上 高さ:1900mm以上	幅:900mm以上、高さ:1900mm以上 但し、自動車への乗降部は幅:1400mm以上、奥行き:1700mm以上 極力平坦とし、勾配は12分1を超えないこと。 通路の幅は車椅子が容易に通れる寸法とし、自動車への乗降部は車椅子の回転を考慮した寸法とした。
	非常口扉の大きさと設置数	建築基準法、消防法等による。	幅:900mm以上、高さ:1900mm以上 設置数:車椅子の通路を考慮して決めること。 設置数は乗降室に通常1箇所。通路が不十分な場合は2箇所。
	通路の段差と隙間	段差:230mm以下 隙間:40mm以下	段差・隙間:20mm以下 隙間:車椅子タイヤが落ち込まない程度の幅。 通路床面の段差および隙間(隙間は20mm以下)
	非常停止装置	数量:1以上 場所:出入口部付近	数量:通路部に2000mm以内の間隔に設置(1以上) 場所:通路部の側面および出入口部付近 車椅子から手を伸ばすと容易に操作できる数量・位置とした。

## 案内標識

車椅子使用者対応駐車場の出入口および場内で移動の方向を示す必要がある箇所には、高齢者、障害者等が見やすい位置に案内標識を設ける必要があります。

<参考例1> 公益社団法人 立体駐車場工業会 車いす使用者対応認定マーク



<参考例2> (注)「道路の移動等円滑化整備ガイドライン」第6章「自動車駐車場」より引用



**有効に駐車できると認められる特殊な装置を用いる駐車施設の  
認定取扱基準**

19新都建建審第14号  
平成19年5月25日  
平成21年9月25日  
(改正)令和4年1月25日

<認定基準>

第1 趣旨

東京都駐車場条例(昭和33年10月1日東京都条例第77号。以下「条例」という。)第17条の5第3項の規定に基づく特殊な装置を用いる駐車施設(以下「機械式駐車施設」という。)の認定にあたり、条例の趣旨を勘案し運用するものとする。

第2 有効に駐車できると認められる機械式駐車施設は、次に掲げる要件を満たすものであることとする。

- ① 駐車場法施行令(昭和32年政令第304号。)第15条に規定する「特殊な装置として国土交通大臣が認定したもの」であること。
- ② 東京都建築安全条例第10条の2、第27条及び第28条の規定に適合すること。なお、自動車車庫又は自動車駐車場の用途に供する部分の床面積には、原則として、敷地内の屋外の駐車施設及び工作物である駐車施設の用途に供する部分の面積を含むものとする。

第3 障害者用車室とみなすことができる機械式駐車施設の基準(車いす使用者が自由に利用できる構造)は、以下に掲げる要件を満たすものであることとする。

- ① 機械式駐車施設がバリアフリータイプとして社団法人立体駐車場工業会の認定を得たものであり、国土交通大臣の認定に記載する名称と同一のものであること。
- ② 車いす使用者が管理人等の介助がなくても自力で乗降できることであること。
- ③ 段差のない昇降室(自動車載せる部分は除く)で幅3.5メートル以上の平面が確保されていること。
- ④ 障害者のための駐車施設であることの表示がなされており、敷地への自動車の入口から障害者のための駐車施設までの誘導表示があること。
- ⑤ その他車いす利用者の利便を考慮した設備を設置したものであること。

附則 本基準は、平成19年5月25日から施行する。

附則 本基準は、平成21年9月25日から施行する。

附則 本基準は、令和4年1月25日から施行する。

**障害者用車室とみなすことができる機械式駐車施設の基準  
チェックシート(車いす使用者が自由に利用できる構造)**

基準	整備項目等	適否
① 機械式駐車施設がバリアフリータイプとして社団法人立体駐車場工業会の認定を得たものであり、国土交通大臣の認定に記載する名称と同一のものであること。	・国土交通省の認定書の写しを添付している。	
	・社団法人立体駐車場工業会の認定書の写しを添付している。	
	・国土交通省の認定書と社団法人立体駐車場工業会の認定書に記載する名称が同一のものであること。	
② 車いす使用者が管理人等の介助がなくても自力で乗降できることであること。	・操作盤の高さが車いす使用者が容易に操作できる位置にある。	
	・自動車の乗降用スペースに1.4m以上の回転スペースがある。	
	・回転スペースから乗り込み口まで車いすがスムーズに移動できる幅0.9m以上の通路が確保している。	
③ 段差のない昇降室(自動車載せる部分は除く)で幅3.5メートル以上の平面が確保されていること。	・段差のない昇降室である。	
	・有効幅が3.5m以上ある。	
④ 障害者のための駐車施設であることの表示がなされており、敷地への自動車の入口から障害者のための駐車施設までの誘導表示があること。	・1台以上、自動車載せる部分には、障害者のための駐車施設であることの表示がある。	
	・誘導表示を設置している。	
⑤ その他車いす利用者の利便を考慮した設備を設置したものであること。	・カーブミラーを設置している。	
	・一時停止線を設置している。	



三菱立体駐車場

セルパーク設計資料

2022年12月作成

## 三菱重工機械システム株式会社

<https://www.mhi-ms.com/jp/>

### パーキング・鉄構営業部

パーキング営業課	〒231-0062	横浜市中区桜木町1-1-8(日石横浜ビル20階)	TEL. 045-319-6240
サービス営業一課・二課	〒231-0062	横浜市中区桜木町1-1-8(日石横浜ビル20階)	TEL. 045-319-6330
名古屋	〒453-0858	名古屋市中村区野田町東堅出3	TEL. 052-412-2299
大阪	〒550-0001	大阪市西区土佐堀1-3-20(三菱重工大阪ビル)	TEL. 06-6446-4084
福岡	〒812-0004	福岡市博多区榎田1-3-3	TEL. 092-452-5077